KENPOKU ART 2016
茨城県北芸術祭

総括報告書

茨城県北芸術祭実行委員会

目　次

１　開催概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２　開催に至る主な経緯　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
３　来場者について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(1)　来場者数
(2)　来場者の傾向
４　芸術祭開催による効果について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(1)　茨城県北芸術祭開催による経済波及効果の推計
(2)　アンケート調査から見た効果
５　作品鑑賞パスポート・個別鑑賞券の販売実績等について　・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
(1)　作品鑑賞パスポート
(2)　個別鑑賞券
(3)　公式グッズ
６　参加アーティスト及びアート作品について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
(1)　アート作品について
(2)　参加アーティスト数及び作品数
(3)　作品・プロジェクト一般公募
(4)　アートハッカソン等
７　イベント等の開催実績について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
(1)　アートイベント・ワークショップ等
(2)　式典
８　関係機関・団体と連携したプログラムの展開等について　・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
(1)　連携プログラム
(2)　関連プログラム
(3)　芸術祭ロゴ付き土産品「KENPOKU セレクション」
(4)　市町によるおもてなし事業
９　広報・PR 活動について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
(1)　企画発表会・各種 PR キャンペーン等
(2)　広報制作物
(3)　メディアツアー等
(4)　パブリシティ実績
(5)　インターネットでの展開
(6)　公式ガイドブック
(7)　公式カタログ
10　誘客対策について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
(1)　芸術祭を組み込んだ旅行商品の造成
(2)　視察・見学等の受入れ
(3)　宿泊割引制度の実施
(4)　各種割引企画・キャンペーン等の実施

(5)　JRと連携した取組み
(6)　関係者間の情報共有
11　交通対策について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
(1)　ダイジェストツアーバスの運行
(2)　会場周遊バスの運行
(3)　渋滞・駐車場対策
(4)　案内・誘導
12　各会場の運営体制について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
(1)　実行委員会事務局の運営体制
(2)　インフォメーションセンター等及び展示会場の運営体制
13　サポーターの活動実績について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
(1)　登録者数
(2)　活動者数
(3)　サポーター説明会の開催
(4)　芸術祭に対する評価
14　実行委員会の収支について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
(1)　実行委員会の収支状況
(2)　助成金
15　協賛金・寄附金等について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
(1)　協賛金・寄附金
(2)　企業からの支援
16　今後の展開について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

<<資料編>>

1　各種アンケート集計結果 ―――― 53
・来場者アンケート結果
・ダイジェストツアーバス参加者アンケート結果
・事業者アンケート結果
・サポーターアンケート結果
2　作品鑑賞パスポート優待施設一覧 ―――― 76
3　会場別参加アーティスト及び作品・プロジェクト一覧　詳細版 ―――― 82
4　アートイベント・ワークショップ等一覧 ―――― 86
5　応援事業一覧 ―――― 98
6　KENPOKUセレクション参加企業・店舗一覧 ―――― 101
7　各種イベント・キャンペーン等を通じたPR活動の実績 ―――― 104
8　メディア掲載実績 ―――― 106
9　芸術祭を組み込んだ旅行商品造成の状況 ―――― 108
10　視察・見学等の受入実績 ―――― 111
11　実施体制 ―――― 112

1　開催概要

名　　　　称	KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭
テ　ー　マ	海か、山か、芸術か？
会　　　　期	2016（平成 28）年 9 月 17 日（土）～11 月 20 日（日）[65 日間]
目　　　　的	・地域文化の振興と創造性の育成 ・茨城県北地域のブランディングと交流人口の拡大 ・地域の産業・経済の活性化
総合ディレクター	南條史生（森美術館館長）
展　示　会　場	32 会場 ①五浦・高萩海浜エリア（6 会場） [茨城県天心記念五浦美術館、六角堂、高戸海岸、穂積家住宅 等] ②日立駅周辺エリア（8 会場） [日立駅、日立シビックセンター、日鉱記念館、常陸多賀駅前商店街 等] ③奥久慈清流エリア（11 会場） [道の駅 常陸大宮 かわプラザ、旧美和中学校、常陸大子駅前商店街、袋田の滝（トンネル） 等] ④常陸太田鯨ヶ丘エリア（7 会場） [鯨ヶ丘地域、旧常陸太田市自然休養村管理センター、道の駅 ひたちおおた 等]
アーティスト数	85 組（22 の国と地域）
作　品　数	109 件
実　施　事　業	①アートプログラム [国内外アーティストによる作品の制作・展示] ②ソーシャルプログラム [作品・プロジェクト一般公募、アートハッカソン 等] ③連携プログラム [国際交流、大学連携プロジェクト 等] ④関連プログラム [美術館等の企画展との連携、地域イベント等との連携]
主　　　　催	茨城県北芸術祭実行委員会（会長：茨城県知事　橋本昌）

2　開催に至る主な経緯

年月日	経緯
平成 26 年 9 月 2 日	第１回（仮）県北アートフェスティバル研究会開催　（※１）
平成 26 年 10 月 29 日	第２回（仮）県北アートフェスティバル研究会開催
平成 26 年 11 月 27 日	県北アートフェスティバル準備委員会設立　（※２）
平成 27 年 5 月 15 日	県北アートフェスティバル準備委員会解散
平成 27 年 5 月 15 日	(仮称) 県北国際アートフェスティバル実行委員会設立総会・第１回総会 ・総合ディレクターの選任
平成 27 年 9 月 25 日	(仮称) 県北国際アートフェスティバル実行委員会第２回総会 (書面表決) ・開催計画の策定 ・茨城県北芸術祭実行委員会へ改称
平成 28 年 5 月 23 日	茨城県北芸術祭実行委員会第３回総会 ・実施計画の策定
平成 28 年 9 月 17 日	KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭 開幕
平成 28 年 11 月 20 日	KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭 閉幕

※１　（仮）県北アートフェスティバル研究会
有識者等を構成メンバーとする研究会を設置し、アートフェスティバルのあり方等について意見交換。
[構成]　　(所属は当時)

所　属	氏　名	所　属	氏　名
水戸芸術館 美術部門芸術監督	浅井俊裕	茨城県近代美術館 館長	尾﨑正明
筑波大学 芸術系教授	齊藤泰嘉	東京大学大学院 特任教授	中川聰
森美術館 館長	南條史生	札幌市立大学 学長	蓮見孝（座長）
茨城デザイン振興協議会 会長	藤代範雄	東京藝術大学 美術学部長	保科豊巳
茨城県 企画部長	野口通		計　９名

[主な意見]
- 話題性のある中核的な作品展示とコミュニティ型の作品展示の両輪で実施
- 企画についてはアートディレクター、エリアディレクター等からなるディレクターズ会議で検討を進める
- 開催時期については平成 28 年秋頃からが良い
- アート関係の企画だけでなく、様々な関連事業を実施し、賑わいの創出や波及効果の拡大を図る必要がある
- 平成 27 年度より地域の気運醸成を図るための事業を進める

※２　県北アートフェスティバル準備委員会
研究会での意見を受け、県及び市町の実務担当者による準備委員会を組織。アートフェスティバル会場候補地の調査等を実施。
[構成]　県及び県北６市町等の実務担当者（委員長：県企画部長）

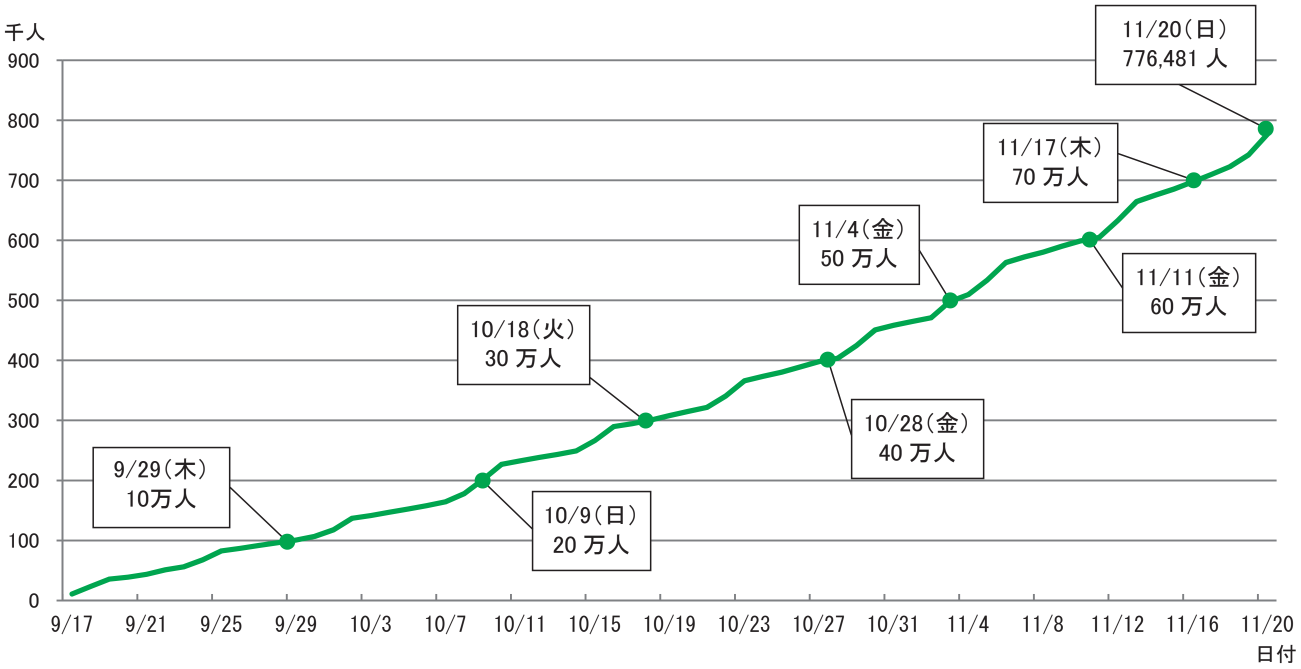
3　来場者について

(1)　来場者数

会期中における芸術祭展示会場（32 会場）の来場者数は、延べ 776,481 人であった。

会期中の土日祝日には１日平均２万人を超える来場があり、最終日の 11 月 20 日（日）には１日の最多来場者数となる 33,930 人の来場があった。

【来場者数の推移（累計）】



【エリア別来場者数】

区分		来場者数（人）
五浦・高萩海浜エリア（北茨城市、高萩市）	[6 会場]	142,393
日立駅周辺エリア（日立市）	[8 会場]	250,782
奥久慈清流エリア（常陸大宮市、大子町）	[11 会場]	257,452
常陸太田鯨ヶ丘エリア（常陸太田市）	[7 会場]	125,854
合　　計		776,481

【月別来場者数】

区分	来場者数
9 月（9/17～9/30・14 日間）	106,755 人（ 7,625 人／日）
10 月（10/1～10/31・31 日間）	351,844 人（11,350 人／日）
11 月（11/1～11/20・20 日間）	317,882 人（15,894 人／日）
合　計　(65 日間)	776,481 人（11,946 人／日）

【平日・休日別来場者数】

区分	1 日当たり平均来場者数
平　日（41 日間）	平均 約 7,037 人／日
土日祝（24 日間）	平均 約 20,332 人／日

【展示会場別来場者数】

会　場		来場者数（人）
日立市	小貝ケ浜緑地（旧美容院 等）	22,592
	うのしまヴィラ	10,262
	御岩神社	21,048
	日立駅	96,880
	日立シビックセンター（天球劇場 等）	47,217
	日立市郷土博物館	8,203
	日鉱記念館	13,372
	常陸多賀駅前商店街（旧銀行 等）	31,208
高萩市	穂積家住宅	27,053
	高戸海岸（前浜、小浜）	35,200
北茨城市	茨城県天心記念五浦美術館	51,658
	六角堂（茨城大学五浦美術文化研究所）	9,203
	旧富士ケ丘小学校	14,318
	ラジコンポート	4,961
常陸太田市	竜神大吊橋　【10 月 15 日～】	19,815
	ふるさとセンター 竜っちゃん乃湯	1,309
	水府地区松平町休耕地付近	21,896
	旧常陸太田市自然休養村管理センター	11,139
	常陸太田市民交流センターパルティホール	12,723
	鯨ヶ丘地域（常陸太田市郷土資料館梅津会館 等）	48,711
	道の駅 ひたちおおた	10,261
常陸大宮市	旧美和中学校	20,139
	旧家和楽青少年の家	21,084
	道の駅 常陸大宮 かわプラザ	17,156
	石沢地区空き店舗（旧衣料品店 等）	21,902
大子町	奥久慈茶の里公園	10,392
	旧初原小学校	9,151
	旧上岡小学校	32,248
	旧浅川温泉　【10 月 15 日～】	11,062
	大子温泉保養センター 森林の温泉	5,844
	常陸大子駅前商店街（麗潤館 等）	51,976
	袋田の滝（トンネル）	56,498
合　計		776,481

※来場者のカウント方法
・係員常駐の会場については、施設入口で受付した来場者数をカウント。
・係員非常駐の会場については、一定時間の計測をもとに来場者数を推計。
・各会場とも、同会場内に複数施設等がある場合はそれぞれの来場者数を合計。

(2)　来場者の傾向

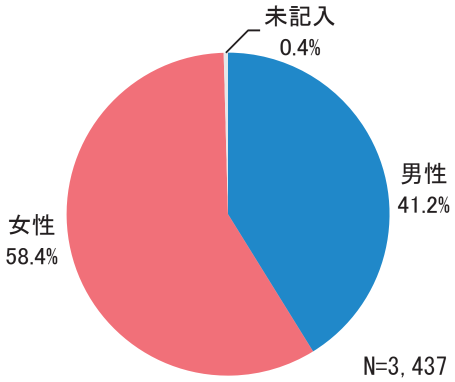
芸術祭会期中の来場者を対象に実施したアンケート調査に基づく来場者の傾向は次のとおりである。[各種アンケート集計結果　資料編 P. 53]

ア　来場者の属性

・男女比では、女性が約 60%、男性が約 40%となっている。
・年代別では、60 歳代以上が 26. 9%、30 歳代から 50 歳代にかけては 20%前後であり、年代による大きな偏りは見られなかった。
・居住地別では、県内からの来場者が 76. 8%、県外からの来場者が 23. 0%であった。

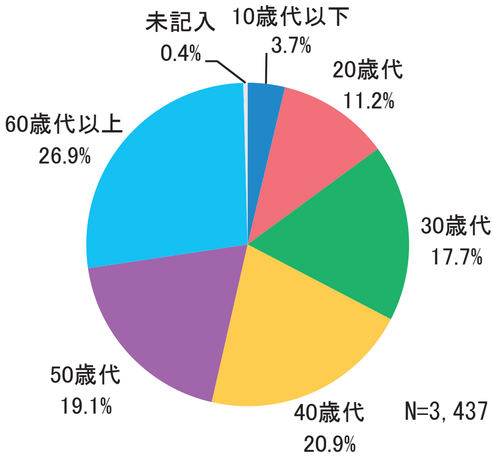
【来場者数（男女別）内訳】

性別	人数	割合
男性	1, 415 人	41. 2%
女性	2, 007 人	58. 4%
未記入	15 人	0. 4%
回答数	3, 437 人	100. 0%



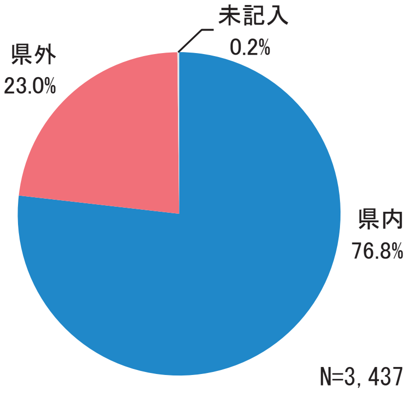
【来場者数（年代別）内訳】

年齢層	人数	割合
10 歳代以下	128 人	3. 7%
20 歳代	385 人	11. 2%
30 歳代	609 人	17. 7%
40 歳代	720 人	20. 9%
50 歳代	655 人	19. 1%
60 歳代以上	925 人	26. 9%
未記入	15 人	0. 4%
回答数	3, 437 人	100. 0%



【来場者数（居住地別）内訳】

居住地	人数	割合
県内	2, 640 人	76. 8%
県外	791 人	23. 0%
未記入	6 人	0. 2%
回答数	3, 437 人	100. 0%



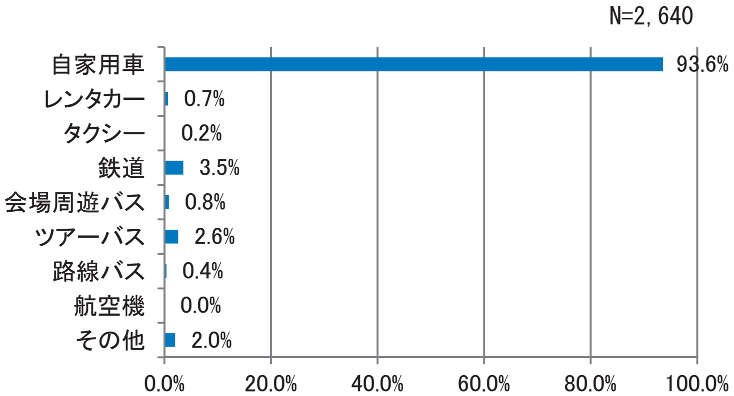
イ　会場への交通手段

・県内からの来場者は、93.6%が自家用車利用となっている。

・県外からの来場者は、自家用車利用が 69.8%、次いで、レンタカー利用が 14.9%、鉄道利用が 13.8%であった。

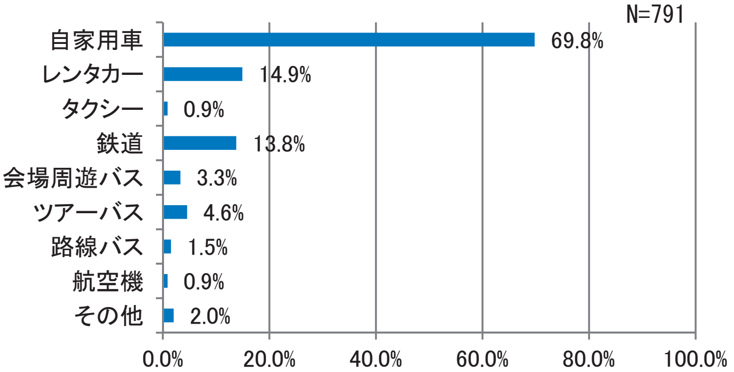
【県内からの来場者】（複数回答）

交通手段	人数	割合
自家用車	2,470 人	93.6%
レンタカー	18 人	0.7%
タクシー	4 人	0.2%
鉄道	93 人	3.5%
会場周遊バス	22 人	0.8%
ツアーバス	68 人	2.6%
路線バス	10 人	0.4%
航空機	0 人	0.0%
その他	53 人	2.0%



【県外からの来場者】（複数回答）

交通手段	人数	割合
自家用車	552 人	69.8%
レンタカー	118 人	14.9%
タクシー	7 人	0.9%
鉄道	109 人	13.8%
会場周遊バス	26 人	3.3%
ツアーバス	36 人	4.6%
路線バス	12 人	1.5%
航空機	7 人	0.9%
その他	16 人	2.0%



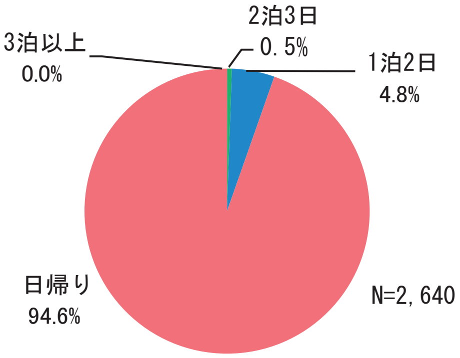
ウ　滞在日数

・県内からの来場者については、日帰りが全体の 94.6%を占めた。

・県外からの来場者については、宿泊者の割合が高く、全体の約６割を占めた。そのうち、１泊２日が 42.5%で最も多かった。

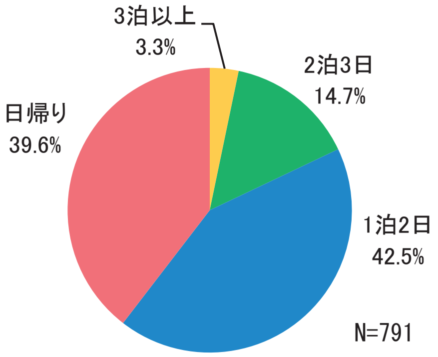
【県内からの来場者】

滞在日数	人数	割合
日帰り	2,498 人	94.6%
1 泊 2 日	128 人	4.8%
2 泊 3 日	13 人	0.5%
3 泊以上	1 人	0.0%
回答数	2,640 人	100.0%



【県外からの来場者】

滞在日数	人数	割合
日帰り	313 人	39.6%
1 泊 2 日	336 人	42.5%
2 泊 3 日	116 人	14.7%
3 泊以上	26 人	3.3%
回答数	791 人	100.0%



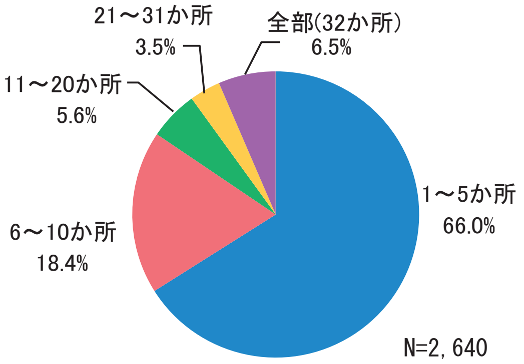
エ　展示会場訪問箇所数

・県内からの来場者については、１回の訪問で鑑賞して回った（または、鑑賞する予定の）作品展示会場の数は、１～５か所が最も多く、全体の 66.0%を占めた。

・県外からの来場者については、１～５か所が 48.3%、次いで、６～10 か所が 30.6%となっている。

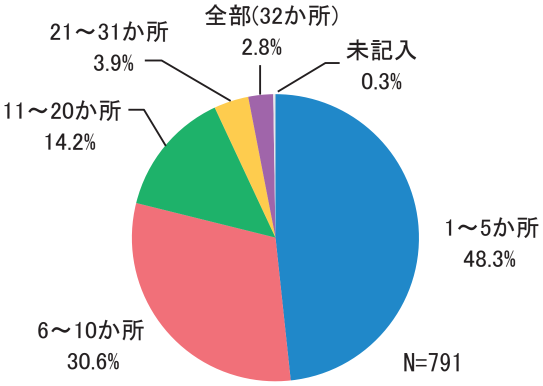
【県内からの来場者】

訪問箇所数	人数	割合
1～ 5 か所	1,743 人	66.0%
6～10 か所	487 人	18.4%
11～20 か所	147 人	5.6%
21～31 か所	92 人	3.5%
全部（32 か所）	171 人	6.5%
未記入	0 人	0.0%
回答数	2,640 人	100.0%



【県外からの来場者】

訪問箇所数	人数	割合
1～ 5 か所	382 人	48.3%
6～10 か所	242 人	30.6%
11～20 か所	112 人	14.2%
21～31 か所	31 人	3.9%
全部（32 か所）	22 人	2.8%
未記入	2 人	0.3%
回答数	791 人	100.0%

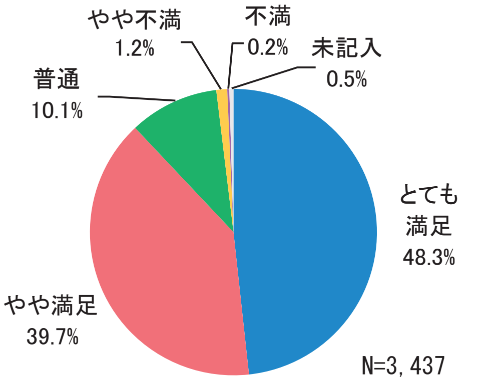


オ　満足度及び再訪意向

・回答者の約９割（「とても満足」48.3%、「やや満足」39.7%）が芸術祭に満足と回答しており、また、次回開催した場合の再訪意向も 83.9%と高くなっている。

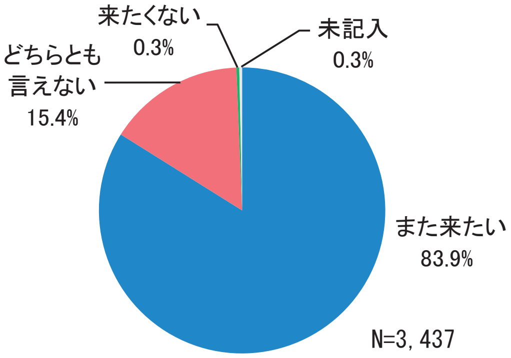
【満足度】

満足度	人数	割合
とても満足	1,659 人	48.3%
やや満足	1,365 人	39.7%
普通	347 人	10.1%
やや不満	42 人	1.2%
不満	8 人	0.2%
未記入	16 人	0.5%
回答数	3,437 人	100.0%



【次回開催した場合の再訪意向】

再訪意向	人数	割合
また来たい	2,884 人	83.9%
どちらとも言えない	531 人	15.4%
来たくない	11 人	0.3%
未記入	11 人	0.3%
回答数	3,437 人	100.0%



4　芸術祭開催による効果について

(1)　茨城県北芸術祭開催による経済波及効果の推計

平成 23 年茨城県産業連関表（40 部門）を用いて産業連関分析を実施した結果、茨城県北芸術祭開催がもたらした経済波及効果は、35.33 億円と推計された。

波及効果を段階別にみると、直接効果が 23.38 億円、第 1 次間接効果が 6.90 億円、第 2 次間接効果が 5.06 億円となった。

産業部門別に見ると、飲食サービスが 5.94 億円（効果全体の 16.8%）と最も大きく、次いで運輸・郵便 5.59 億円、対事業所サービス（委託料等）5.51 億円、宿泊業 4.13 億円の順となっており、第 3 次産業に属する部門を中心に経済波及効果が大きくなっている。

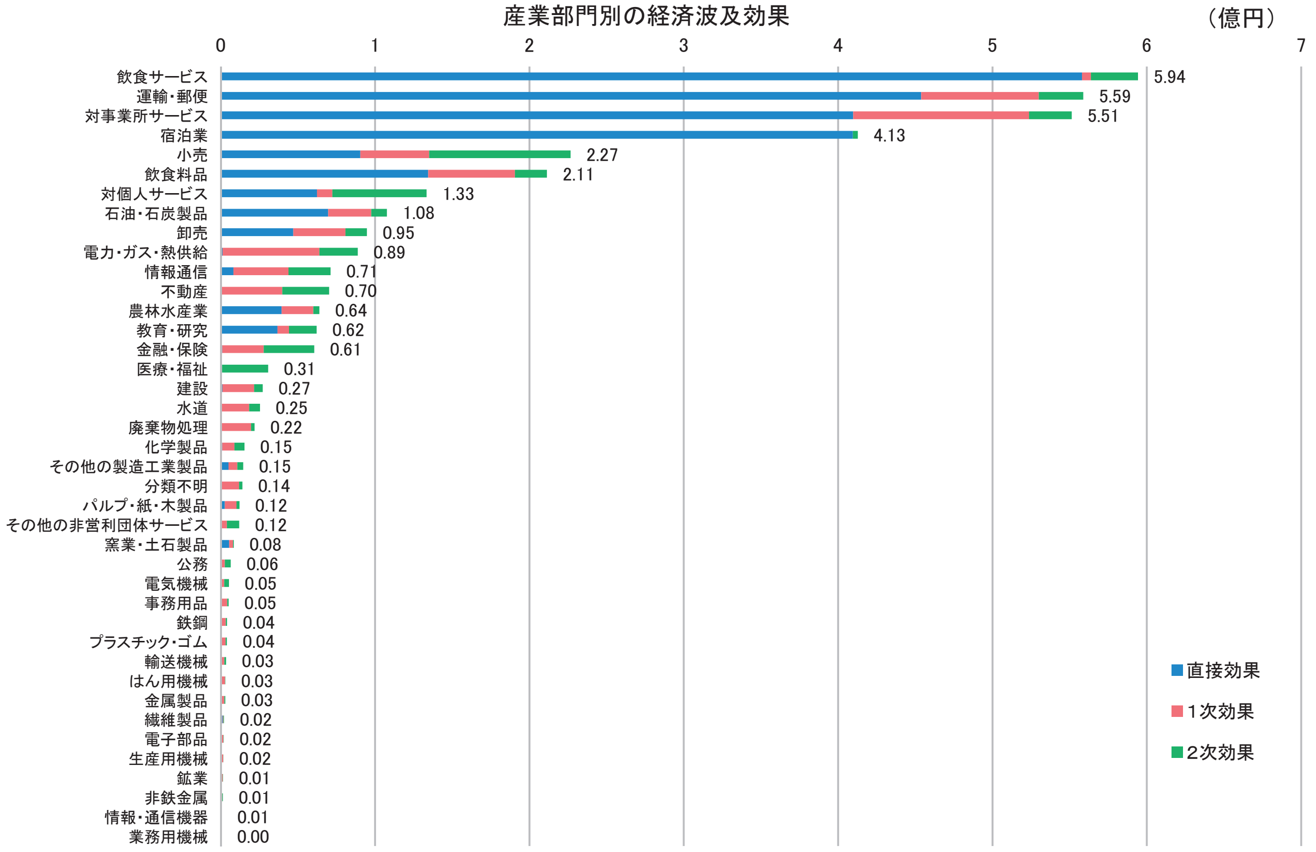
【経済波及効果】

経済波及効果	直接効果	第 1 次間接効果	第 2 次間接効果
35.33 億円	23.38 億円	6.90 億円	5.06 億円

直接効果　　　　：来場者消費額（交通、宿泊、飲食、買い物等）及び開催事業費のうち、県外から調達された財やサービスを除いた県内生産分のこと

第 1 次間接効果：直接効果によって生産が増加した産業で必要となる原材料等を満たすために、新たに発生する生産誘発効果

第 2 次間接効果：直接効果と第 1 次間接効果で増加した雇用者所得のうち、消費にまわされた分により、各産業の商品等が消費されて新たに発生する生産誘発効果



※経済波及効果については、株式会社常陽産業研究所による推計。

(2)　アンケート調査から見た効果

今回の芸術祭が地域経済や地域社会に与えた効果（影響）について把握するため、来場者や地元事業者等を対象にアンケート調査を実施した。[各種アンケート集計結果　資料編 P. 53]

ア　経済効果

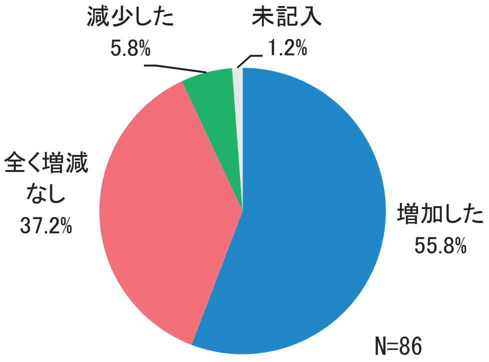
事業者を対象としたアンケートの結果からは、飲食サービス業や小売業において、営業実績や売上に芸術祭による集客の影響が見られた。

一方で、作品展示会場から離れた地域の事業者からは集客が伸びなかったとの意見も寄せられており、県北地域全体へ効果が行き渡る取組みを考える必要がある。

①芸術祭会期中の営業実績・売上の増減

半数以上の事業者が、芸術祭の会期中の営業実績・売上が昨年同期よりも「増加した」と回答している。

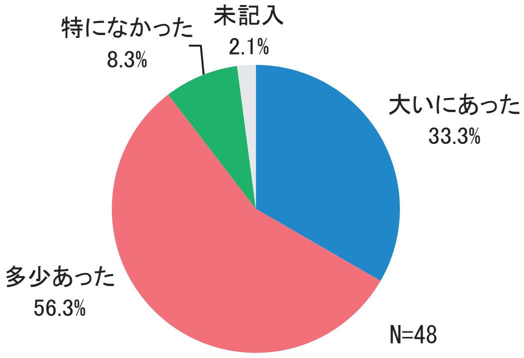
回答	人数	割合
増加した	48 人	55.8%
全く増減なし	32 人	37.2%
減少した	5 人	5.8%
未記入	1 人	1.2%
回答数	86 人	100.0%



②芸術祭による営業実績・売上への効果（影響）

芸術祭会期中の営業実績・売上が「増加した」と回答した事業者のうち、約９割が芸術祭の効果（影響）があったと感じている。

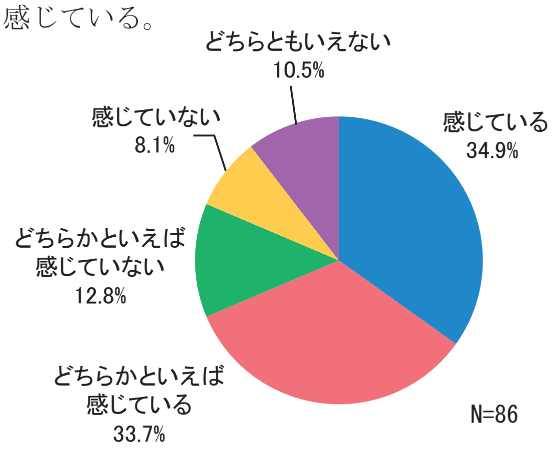
回答	人数	割合
大いにあった	16 人	33.3%
多少あった	27 人	56.3%
特になかった	4 人	8.3%
未記入	1 人	2.1%
回答数	48 人	100.0%



③芸術祭による地域活性化への効果

約７割の事業者が、芸術祭は地域活性化に役立ったと感じている。

回答	人数	割合
感じている	30 人	34.9%
どちらかといえば感じている	29 人	33.7%
どちらかといえば感じていない	11 人	12.8%
感じていない	7 人	8.1%
どちらともいえない	9 人	10.5%
回答数	86 人	100.0%



④芸術祭開催に対する意見等

（好意的な意見）

・たくさんの方に来ていただいたので、売上も増加した。これを機会に当店の商品を知ってもらうためにたくさん試食してもらい、PR に努めた。（小売業）
・パスポート付宿泊プラン利用者が思った以上に多かった。割引クーポンの効果は大きい。（宿泊業）
・ガイドブックを見て来られたお客様が多かった。（飲食業）
・五浦美術館の反響により、売上が上がった。（飲食業）
・２か月間の土日だけのオープンだったが、売上は大幅に増加した。お土産をたくさん紹介することができた。（小売業）

（課題・改善要望等）

・宿泊のお客様は特に増加なし、店舗・飲食施設での集客は多少見受けられた程度。（宿泊業）
・パスポートのスタンプ目的の方がほとんどで利用してもらえなかった。（観光施設）
・日帰りの人が多く、宿泊施設、特産物等の売上は思っていたほどの売上なし。利用者が多かったのは会場の付近で、それ以外まで来る客は少ない。（宿泊業）
・当施設への来場は僅少であったので、施設毎に差が生じたと感じられる。（観光施設）

イ　社会効果について

経済的な効果だけでなく、来場者等へのアンケート結果からは賑わい創出や交流人口の拡大、イメージアップ等に結びつく社会効果も確認できた。

一方で、広報・PR の強化や公共交通の充実等を改善点として要望する声もあった。

①芸術祭開催に対する意見等

（好意的な意見）

・自分の住んでいるところが、このような機会で注目をあびていることがとても嬉しい。来年以降も続けてほしい。（来場者）
・茨城県で素晴らしい美術作品が揃う機会を得て、初めて、茨城を自慢したいと思いました。（来場者）
・魅力度ランキング等で最下位になっているが、全くそんな印象を受けなかった。今回は芸術祭が目的でしたが、有名な観光地を巡る旅でまた訪れたいです。（来場者）
・普段行くことはない地域が身近に感じられ、お客さんや他のサポーターとの交流も新鮮だった。（サポーター）
・芸術祭が地域の活性化になったことは事実。継続することが必要だと思う。（小売業）
・普段、観光客が来ない場所に人が来た。（宿泊業）

（課題・改善要望等）

・商店街にアート作品がない地域では、街の中を回遊している方をほとんど見かけなかった。（小売業）
・会場に来てくれたお客様の声として、①場所が分かりにくい、②移動に時間が掛かりすぎる、③案内を増やしてほしい、という要望があった。まだまだ関心が薄い。もっと地域の人に関心をもってもらいたいと思った。（小売業）
・県北地域に住んでいますが、地元向けの広報が少し足りないかもしれません。もっと地域全体で盛り上がれるといいです。（来場者）
・非常に広域でやっているため、交通手段を充実させてほしい。（来場者）

5　作品鑑賞パスポート・個別鑑賞券の販売実績等について

(1)　作品鑑賞パスポート

ア　料金体系

作品鑑賞パスポートは、「一般」、「学生・高齢者」の２つの券種に分け、７月１日から９月 16 日までは「前売券」を、開幕日である９月 17 日からは「当日券」を販売した。

また、中学生以下は鑑賞料無料とし、県北地域の小中学生には「こどもパスポート」を事前に配布したほか、会期中は、インフォメーションセンターや展示会場において、希望者に配布した。

【作品鑑賞パスポート料金体系】

区　分	一般	学生・高齢者
前売券	2,000 円	1,000 円
当日券	2,500 円	1,500 円

※学生･･･高校生、大学生、専門学校生等。高齢者･･･65 歳以上の方。
※中学生以下及び身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその付き添いの方（ただし１人につき１人まで）は無料。

【前売券（表面）】

一般

学生・高齢者

【作品鑑賞パスポート（表紙面）】

一般

学生・高齢者

こども

イ　販売実績

作品鑑賞パスポートの販売枚数は、前売券 18,026 枚、当日券 7,666 枚であった。

販売チャネル別では、前売券は実行委員会事務局による直接販売の割合が高く、当日券はインフォメーションセンターや有料施設での販売割合が高かった。このほか、来場者の利便性を図るため、コンビニエンスストアやインターネット、高速道路のサービスエリア（友部 SA 上下・守谷 SA 下り）等でも販売した。

【作品鑑賞パスポート販売実績（券種別）】

区　分		枚数（枚）	金額（円）
一般	前売券	15,224	25,650,656
	当日券	6,049	13,005,878
学生・高齢者	前売券	2,802	2,624,420
	当日券	1,617	2,317,440
小計	前売券	18,026	28,275,076
	当日券	7,666	15,323,318
合　計		25,692	43,598,394

※金額については、販売手数料、各種割引料金等を差し引いた額

【作品鑑賞パスポート販売枚数（販売チャネル別）】

区　分	前売券（枚）		当日券（枚）	
	一般	学生・高齢者	一般	学生・高齢者
インフォメーションセンター・ナビスポット・有料施設	—	—	4,171	1,431
委託販売（上記を除く）	4,830	1,193	379	61
作品鑑賞パスポート付宿泊プラン　※	2,011	—	—	—
プレイガイド（コンビニエンスストア・インターネット）	1,507	564	473	122
実行委員会事務局	6,876	1,045	1,026	3
合　計	15,224	2,802	6,049	1,617

※作品鑑賞パスポート付宿泊プランの概要については、本編 P.34「10(3)宿泊割引制度の実施」を参照

ウ　作品鑑賞パスポートを活用した取組み

①芸術祭スタンプラリー

県北地域の周遊を楽しみながら、より多くのアート作品を鑑賞できる仕組みとして、「芸術祭スタンプラリー」を実施したところ、2,300 件を超える応募があり、そのうち、全ての作品展示会場を巡り、46 個のスタンプを集めたコンプリート賞該当者は 1,262 件（応募全体の 54%）にのぼった。

【芸術祭スタンプラリーの概要】

作品鑑賞パスポートのスタンプ押印欄に 30 個以上のスタンプ（各作品展示会場に設置）を集めた方を対象に、応募者の中から抽選で 100 名に県北地域の産品等をプレゼントする企画。さらに、46 個全てのスタンプを集めた方には芸術祭オリジナル手ぬぐいを贈呈。

【芸術祭スタンプラリー応募数】

区分	件数		割合
応募総数（スタンプ 30 個以上）		2,337 件	－
うち、コンプリート賞該当者（スタンプ全 46 個）	県内	1,194 件	51.1%
	県外	68 件	2.9%
	計	1,262 件	54.0%

【作品鑑賞パスポート（中面）】

46 個全てのスタンプを集めた作品鑑賞パスポートの例

②作品鑑賞パスポート優待制度

パスポートの提示により、約 250 の施設・店舗で料金の割引や記念品等の特典が受けられる「作品鑑賞パスポート優待制度」を設けた。対象の施設・店舗には特製のぼり旗を設置するとともに、広報用チラシを展示会場等で配布し、作品鑑賞とあわせて地元の産品や観光施設等を知ってもらう機会とした。［作品鑑賞パスポート優待施設一覧　資料編 P. 76］

【作品鑑賞パスポート優待施設数】

部　門	参加施設数
観光・レジャー	24 件
飲食	96 件
お土産	62 件
宿泊	27 件
レンタカー	49 件
合計（延べ件数）	258 件

※複数部門で登録のあった施設については、部門ごとに、それぞれカウントしている。

(2) 個別鑑賞券

次の８施設を有料施設として設定し、作品鑑賞パスポートを持たない来場者等に対して個別鑑賞券を販売した。販売枚数は、一般 32,613 枚、学生・高齢者 15,180 枚であった。

施設別の販売枚数は、来場者数に比例して、五浦美術館が最も多く、次いで、旧家和楽青少年の家、旧美和中学校の順であった。

【個別鑑賞券料金体系】

有料施設	一般	学生・高齢者
茨城県天心記念五浦美術館　(※)	1,000 円	700 円
日立市郷土博物館	500 円	300 円
日立シビックセンター天球劇場	500 円	300 円
旧家和楽青少年の家	500 円	300 円
旧美和中学校	700 円	500 円
旧浅川温泉　【10 月 15 日～】	300 円	200 円
旧常陸太田市自然休養村管理センター	700 円	500 円
常陸太田市郷土資料館梅津会館	300 円	200 円

※団体割引（20 名以上）：一般 900 円　学生・高齢者 600 円　70 歳以上も有料

【個別鑑賞券販売実績】

区　分	一般		学生・高齢者		合計	
	枚数(枚)	金額（円）	枚数(枚)	金額（円）	枚数(枚)	金額（円）
茨城県天心記念五浦美術館	16,109	13,506,340	8,321	4,980,570	24,430	18,486,910
日立市郷土博物館	547	270,750	320	95,400	867	366,150
日立シビックセンター天球劇場	1,370	672,500	308	89,200	1,678	761,700
旧家和楽青少年の家	5,483	2,637,500	2,667	778,950	8,150	3,416,450
旧美和中学校	4,766	3,239,150	1,523	747,900	6,289	3,987,050
旧浅川温泉　【10 月 15 日～】	959	281,200	417	83,000	1,376	364,200
旧常陸太田市自然休養村管理センター	1,418	971,550	642	319,200	2,060	1,290,750
常陸太田市郷土資料館梅津会館	1,600	424,350	977	174,420	2,577	598,770
実行委員会事務局	361	220,100	5	2,500	366	222,600
合　計	32,613	22,223,440	15,180	7,271,140	47,793	29,494,580

※金額については、販売手数料、各種割引料金等を差し引いた額

(3) 公式グッズ

芸術祭のオフィシャルデザイナーである岡本健氏の監修による公式グッズを展開し、インフォメーションセンターや有料施設等、12 箇所で販売を行った。

また、常陸発酵食品ネットワークと連携し、芸術祭のキーカラーやロゴマークをあしらった日本酒のラベルデザインを制作した。各酒蔵では、これらのオリジナルラベルを貼った地酒８種類が発売された。

【公式グッズ取扱箇所一覧】

施設名	施設名
日立駅情報交流プラザ ぷらっとひたち	北茨城観光案内所
日立シビックセンター	道の駅 ひたちおおた
高萩やすんでっ亭	常陸太田市郷土資料館梅津会館
穂積家住宅観光案内所	道の駅 常陸大宮 かわプラザ
清流の郷 花貫物産センター	道の駅 みわ
茨城県天心記念五浦美術館 特設ショップ	道の駅 奥久慈だいご

【公式グッズ販売実績】

商品名	単価（円）	販売数量	売上金額（円）
缶バッチ２個セット（KENPOKU／海山色／海山白）	250	1,025	256,250
クリアファイル（緑青／デジタイズ）	200	4,884	976,800
マスキングテープ（KENPOKU／海／山）	450	576	259,200
てぬぐい（KENPOKU／６市町）	1,100	510	561,000
Ｔシャツ（ボーダー）Ｓ・Ｍ・Ｌ・LL	2,500	219	547,500
トートバッグ（KENPOKU／ボーダー）	1,500	654	981,000
ポストカード 12 種類	150	2,683	402,450
		小 計 （①）	3,984,200
		販売手数料等（②）	686,242
		合 計（①－②）	3,297,958

【公式グッズ販売の様子】

茨城県天心記念五浦美術館 特設ショップ

公式グッズ

６　参加アーティスト及びアート作品について

(1)　アート作品について

県北６市町の４つのエリア（五浦・高萩海浜エリア、日立駅周辺エリア、奥久慈清流エリア、常陸太田鯨ヶ丘エリア）を中心に、自然と対話する作品、最先端の科学技術を利用する先進的な作品、地域の人々と協働する作品等が、場所と空間にあわせて展示された。その多くは、アーティストによる県北地域の視察や、地域の自然や歴史、文化、産業等に関するリサーチを踏まえたサイト・スペシフィックな新作として制作された。

(2)　参加アーティスト数及び作品数

22 の国と地域※から 85 組のアーティストが参加し、作品数は 109 件であった。

※インド、インドネシア、シンガポール、タイ、韓国、中国、日本、フィリピン、ベトナム、台湾、オーストラリア、米国、ウクライナ、英国、オランダ、ドイツ、フィンランド、フランス、ベルギー、ロシア、イスラエル、チュニジア

【会場別参加アーティスト及び作品・プロジェクト一覧】　　［詳細版　資料編 P. 82］

会場		アーティスト	作品・プロジェクト名
小貝ヶ浜緑地	小貝ケ浜緑地	國安孝昌	朝日立つ浜の産土神の御座（あさひたつはまのうぶすながみのみざ）
	旧美容院	ヴェンザ・クリスト	うつろ舟ミニ博物館
うのしまヴィラ		AKI INOMATA	やどかりに「やど」をわたしてみる — Border —
日立駅		ダニエル・ビュレン	回廊の中で：この場所のための４つの虹 — KENPOKU ART 2016 のために
		村上史明（公募）	風景幻灯機
日立シビックセンター	地階	米谷健 + ジュリア	クリスタルパレス：万原子力発電国産業製作品大博覧会
			３つの願い
	ロビー	和田永	日立電輪塔
	天球劇場	河口洋一郎	グロース：テンドリル
			ハイドロダイナミック：フィッコ（宇宙魚・FICCO）
		榊原澄人	Solitarium
		木本圭子	velvet order（柔らかい秩序）2016 summer night
	屋外	テア・マキパー	ノアのバス
日立市郷土博物館		ティファニー・チュン	日立工場の建物間の何もない場所で、私は未開人と飢饉や戦争の犠牲者たちを織り込んだ詩を読む
		イアン・カルロ・ハウシャン	フィールド・クリスタル
御岩神社		岡村美紀	御岩山雲龍図
		森山茜	杜の蜃気楼
日鉱記念館		タクシナー・ピピトゥクル	Playable Sculpture（遊べる彫刻）
常陸多賀駅前商店街	多賀パルコ	青崎伸孝	スマイリー・バッグ・ポートレート

会場		アーティスト	作品・プロジェクト名
常陸多賀駅前商店街	多賀パルコ	中崎透	看板屋なかざき
		和田永	エレクトロニコス・ファンタスティコス! in 日立
	旧銀行	力石咲	ニット・インベーダー in 常陸多賀
		藤浩志	ポリプラネットカンパニー
		松本美枝子	山のまぼろし
	花金	加藤増田齋藤岩沢（KMSI）(ハッカソン)	A Wonder Lasts but Nine Days —友子の噂—
		松井靖果（公募）	この先、記憶の十字交差あり。
	常陸多賀駅前商店街に点在	山本美希	ヒタチタガ・コンクリート・マンガ・ベンチ・コレクション
穂積家住宅		サンドリーヌ・ルケ	紅毛先生の驚異の部屋
		上野雄次	天を仰ぎ　地に立つ　者として
		伊藤公象	pearl blue の襞 —空へ・ソラから—
		デビー・ハン	ウェブ・オブ・ライフ
高戸海岸	前浜	イリヤ&エミリア・カバコフ	落ちてきた空
		ニティパク・サムセン	テトラパッド
	小浜	スッシリー・プイオック	ソウル・シェルター
茨城県天心記念五浦美術館		チームラボ (※は紫舟 + チームラボ)	チームラボ 小さき無限に咲く花の、かそけき今を思うなりけり　※展覧会タイトル
			小さきものの中にある無限の宇宙に咲く花々
			境界のない群蝶
			増殖する生命 II - A Whole Year per Hour, Dark
			まほろば
			Nirvana
			世界はこんなにもやさしく、うつくしい※
			生命は生命の力で生きている
			空書 円相、無限相
		ミトゥ・セン	ケノプシア（人のいない空間）
		チェ・ジョンファ	Love Me
六角堂（茨城大学五浦美術文化研究所）		須田悦弘	雑草
		ジャン・ワン	Artificial Rock No.109
旧富士ケ丘小学校		柚木恵介（公募）	物々交換プロジェクト
		日比野克彦	HIBINO HOSPITAL（日比野美術研究室付属病院放送部）KENPOKU ART 2016 版「あの日、教室の窓から見ていた風景」
		ミトゥ・セン	ケノプシア（人のいない空間）
		林剛人丸（公募）	今ここにある宙
ラジコンポート		ピーター・フェルメーシュ	Untitled (kenpoku)

<table>
<tr><th colspan="2">会場</th><th>アーティスト</th><th>作品・プロジェクト名</th></tr>
<tr><td colspan="2">竜神大吊橋</td><td>チェ・ジョンファ</td><td>山海魚 LOVE</td></tr>
<tr><td colspan="2">ふるさとセンター 竜っちゃん乃湯</td><td>増田聡子</td><td>庭にて ― 風と森 I</td></tr>
<tr><td colspan="2">水府地区松平町休耕地付近</td><td>井上信太</td><td>「ART ZOO」: サファリパークプロジェクト in 常陸太田</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="6">旧常陸太田市自然休養村管理センター</td><td>オロン&イオナ&マイク</td><td>ケアとコントロールのための容器</td></tr>
<tr><td>石田尚志</td><td>旧展示室</td></tr>
<tr><td>岩崎秀雄 + metaPhorest</td><td>aPrayer まだ見ぬ つくられしものたちの慰霊</td></tr>
<tr><td>三原聡一郎</td><td>空白のプロジェクト#3― 大宇宙の片隅</td></tr>
<tr><td>ヴァイド・インフラ（ハッカソン）</td><td>ヴァイド・インフラ</td></tr>
<tr><td>BCL</td><td>折り紙ミューテーション</td></tr>
<tr><td colspan="2">常陸太田市民交流センターパルティホール</td><td>國安孝昌</td><td>常陸のおお田守る竜神</td></tr>
<tr><td rowspan="5">鯨ヶ丘地域</td><td rowspan="2">常陸太田市郷土資料館梅津会館</td><td>ニパン・オラニウェー</td><td>イ / バ / ラ / キ</td></tr>
<tr><td>深澤孝史（公募）</td><td>常陸佐竹市</td></tr>
<tr><td>旧コウワ</td><td>北澤潤</td><td>リビングルーム鯨ヶ丘</td></tr>
<tr><td>常陸太田市郷土資料館梅津会館窓ほか</td><td>原高史</td><td>サインズ オブ メモリー 2016:鯨ヶ丘のピンクの窓</td></tr>
<tr><td>旧フランス料理店</td><td>SPREAD</td><td>Life Stripe</td></tr>
<tr><td colspan="2">道の駅 ひたちおおた</td><td>内海聖史</td><td>STAR.b</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="15">旧美和中学校</td><td>Sound of Tap Board（ハッカソン）</td><td>Sound of Tap Board</td></tr>
<tr><td rowspan="3">落合陽一</td><td>コロイドディスプレイ</td></tr>
<tr><td>モナドロジー</td></tr>
<tr><td>幽体の囁き</td></tr>
<tr><td>津田翔平</td><td>KYO-ZO</td></tr>
<tr><td>CALAR.ink（ハッカソン）</td><td>Achromatic World ―いろのないせかい―</td></tr>
<tr><td>鈴木浩之 + 大木真人（公募）</td><td>だいちの星座 ―いばらきけんぽく座―</td></tr>
<tr><td>イザベル・デジュー</td><td>茨城インベントリウム</td></tr>
<tr><td rowspan="2">magma</td><td>GREAT TEACHER</td></tr>
<tr><td>WOODSTOCK</td></tr>
<tr><td rowspan="2">村上史明（公募）</td><td>風景幻灯機</td></tr>
<tr><td>Fly Me to the Earth</td></tr>
<tr><td>山本美希</td><td>『爆弾にリボン』の教室</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">旧家和楽青少年の家</td><td>ザドック・ベン=デイヴィッド</td><td>ブラックフィールド</td></tr>
<tr><td>ワン・テユ</td><td>No.85</td></tr>
</table>

会場		アーティスト	作品・プロジェクト名
旧家和楽青少年の家		タワッシャイ・プンサワッ	イレギュラー・テトラヘドロン
		マシュー・ジェンセン	反芻—久慈川にて（S 字）
			Reflecting on Kuji River, Irrigation Canal 1
道の駅 常陸大宮 かわプラザ		塩谷良太	川床／寄り添う人々
石沢地区空き店舗	旧ゲームセンター	ミヒャエル・ボイトラー	ジョイカムの客
	旧衣料品店	レ=トゥア・ティエン	森の記憶
		内海聖史	moon satellite
奥久慈茶の里公園		東京藝術大学	藝大子アートプロジェクト 2016 漆芸交流展 in 大子 大子町の彫刻展
旧初原小学校		東京藝術大学	藝大子アートプロジェクト 2016 大子町の彫刻展
旧上岡小学校		Composit	記憶装置
		田中信太郎	沈黙の教会、あるいは沈黙の境界
		茨城デザイン振興協議会（公募）	KENPOKU ART 2016 日渡の里プロジェクト「40 人のクリエイターの 40 枚のポスター展」里山の人たちの暮らしがそこに在る。
		ピウス・シギット・クンチョロー	嘘つきだった子ども、大子で真実に出会う
旧浅川温泉		妹島和世	Spring
		落合陽一	空気のせせらぎ
大子温泉保養センター 森林の温泉		増田聡子	庭にて — 風と森Ⅱ
常陸大子駅前商店街	麗潤館	木下真理子	茶の本
		secca	japan?
		宮原克人（公募）	Life Record —生成と生業—
		エレナ・トゥタッチコワ	森の音のゆくえを辿って
		干渉する浮遊体（ハッカソン）	干渉する浮遊体
		木本圭子	velvet order（柔らかい秩序） 2016 autumn sunlight
		BCL	折り紙ミューテーション
	地域おこし協力隊事務所	ソンミン・アン	大子 ロスト・アンド・ファウンド
	大子町文化福祉会館「まいん」ほか商店街内店舗等	東京藝術大学	藝大子アートプロジェクト 2016 「8 days in daigo」2016 Kindeco プロジェクト Kindeco 金工展
袋田の滝（トンネル）		ジョン・ヘリョン	連鎖的可能性—袋田の滝
全域		飴屋法水	何処からの手紙
		やくしまるえつこ	わたしは人類
		ラファエル・ローゼンダール	from here to there (selected websites)
		佐藤悠	佐藤悠の KENPOKU SONGS

(3)　作品・プロジェクト一般公募

国際的に活躍する優れたアーティストの招聘に加え、作品・プロジェクトの一般公募を実施した。

茨城県内及び本県にゆかりのある方を対象に創造的、先進的な作品やプロジェクトを募集したところ、93 組 107 作品の応募があり、その中から８組を芸術祭の参加アーティストとして選出した。

【一般公募 実施概要】

応募資格	以下のすべてに該当する方 ・茨城県北芸術祭の趣旨に賛同いただける方 ・茨城県にお住まいの方、通勤・通学している方、出身の方、茨城県内での活動実績（芸術文化、地域振興等）がある方 （グループの場合は、応募資格に該当する方を１名以上含むこととする） ・入選した際に茨城県北芸術祭に必ず参加できる方
会場見学会	実施日：平成 27 年 11 月 14 日（土） 参加者数：18 人 内　　容：作品・プロジェクト一般公募への応募を検討している方を対象に、芸術祭の展示予定会場を巡る見学会を実施した。
応募期間	平成 27 年９月 30 日（金）～12 月 14 日（月）
応募件数	93 組 107 作品
選考結果	８組
審査員	南條史生（総合ディレクター）、四方幸子（キュレーター）、金澤韻（キュレーター）、谷川じゅんじ（クリエイティブディレクター）、林千晶（コミュニケーションディレクター）

(4)　アートハッカソン等

国内の芸術祭では初めて、アート作品の制作方法として、決められたテーマと時間の中で、アーティストやエンジニア等様々なスキルを持つ参加者がグループによる議論と個々の技術やノウハウを基に作品・製品を制作する「ハッカソン」を採用した。平成 27 年秋に、芸術祭参加アーティストを選出するためのアートハッカソン「KENPOKU Art Hack Day」を開催し、３チーム（３作品）の正式参加を決定した。

あわせて、国内で開催されたハッカソンやアワードと連携し、「3331α Art Hack Day 2015」から２チーム（２作品）、「CREATIVE HACK AWARD 2015」から落合陽一、「Bio Art Hackathon 2015」から BCL をそれぞれ招聘した。

【アートハッカソン「KENPOKU Art Hack Day」 実施概要】

申込受付	平成 27 年 10 月６日（火）18:00 まで　※WEB でのみ申込可
定員	60 名　（事前審査制）
参加者数	55 名
内容	・アイディエーション 日鉱記念館、茨城県天心記念五浦美術館、六角堂を視察した後、ゲストによ

	るトークセッション、アイディエーションを実施。 期間：平成 27 年 10 月 24 日（土）～25 日（日） 場所：日立シビックセンター（日立市）等 ・プロトタイプ制作 13 チームに分かれ、作品のプロトタイプを制作し、チームごとに発表。 期間：平成 27 年 11 月 7 日（土）～８日（日） 場所：FabCafe Tokyo（東京都渋谷区） ・審査会 審査員による審査の結果、３チームを芸術祭参加アーティストとして選出。 審査日：平成 27 年 11 月 12 日（木）
ディレクター	林千晶（コミュニケーションディレクター） 青木竜太（3331 alpha ディレクター、VOLOCITEE Inc. 代表取締役社長）
審　査　員	南條史生（総合ディレクター）、谷川じゅんじ（クリエイティブディレクター）、齋藤精一（株式会社ライゾマティクス クリエイティブ＆テクニカルディレクター）、若林恵（『WIRED』日本版 編集長）
公式ウェブサイト	http://www.kenpoku-arthackday.com/

7　イベント等の開催実績について

(1)　アートイベント・ワークショップ等

芸術祭の開幕約１年前となる平成 27 年８月に、プレ企画として「藝大子アートプロジェクト」を開催して以降、トークイベントやワークショップ、シンポジウム等を定期的に開催し、芸術祭に対する理解促進と気運醸成に努めた。会期直前からは、実行委員会主催のイベントを「Meets KENPOKU」（※）と題して統一感を持たせ、積極的な展開を図った。

アーティストと地域住民、来場者が参加し交流できる機会として、会期中も土日祝日を中心に様々なイベントを開催し、イベント総数は 68 件、参加者総数は 10,000 人を超えた。また、回遊型のイベントや食を切り口としたイベント等、県北地域の特性を活かしたイベント内容とすることにより、気軽に、また、何度も足を運んでもらえる仕組みとした。［アートイベント・ワークショップ等一覧　資料編 P.86］

【Meets KENPOKU（ミーツケンポク）ロゴ】

Meets KENPOKU

（※）「Meets KENPOKU」は、「KENPOKU に出会える」ことをコンセプトに、実行委員会が主催するイベント。トーク、ワークショップ、交流会等、参加者との双方向的なコミュニケーションを図る様々なイベントを開催した。

【イベント等の開催件数】　　　　　　（単位：件）

区分	会期前	会期中	計
実行委員会主催イベント	20	32	52
共催イベント	1	−	1
その他（ゲストスピーカー、講師等）	5	10	15
計	26	42	68

【会期中のアートイベント開催の様子】

想像上の市の過去と未来をつなぐ祈願祭・常陸佐竹市祭　（開催日：平成 28 年 11 月 12 日）

エレクトロニコス・ファンタスティコス！～日立通電篇～（開催日：平成 28 年 11 月 19 日）

(2)　式典

ア　レセプション

芸術祭の開会前夜には、参加アーティストや協賛企業をはじめ、メディア、美術関係者、県及び市町関係者等を招待し、レセプションを開催した。

開 催 日：平成 28 年 9 月 16 日（金）
場　　所：ホテル天地閣（日立市）
参加者数：約 500 人

イ　開会式

開会当日は、茨城県天心記念五浦美術館ロビーにおいて、県及び市町関係者や来賓、参加アーティスト等が出席し、テープカット等の開会記念セレモニーを行った。その後、展示室では、チームラボの新作《小さきものの中にある無限の宇宙に咲く花々》について、猪子寿之代表の説明を聞きながら、実際に作品を体験できる機会を提供した。

開 催 日：平成 28 年 9 月 17 日（土）
場　　所：茨城県天心記念五浦美術館
　　　　　（北茨城市）
参加者数：約 100 人

ウ　クロージングナイト

芸術祭の運営を支えたサポーターの方々への慰労会を兼ねて開催したクロージングナイトには、アーティストも多数参加し、お互いの労をねぎらった。常陸大宮市からは、名物の芋煮をはじめ、地元食材を使った様々な料理が振る舞われ、今後の一層のつながりと交流を深める機会となった。

開 催 日：平成 28 年 11 月 20 日（日）
場　　所：道の駅 常陸大宮 かわプラザ（常陸大宮市）
参加者数：約 150 人

8　関係機関・団体と連携したプログラムの展開等について

(1)　連携プログラム

海外を含む様々な組織や機関と連携し、若手アーティストや学生、地域の方々との多様な協働作業を通して、新しい芸術祭の枠組みを提示した。

ア　国際交流プロジェクト

国際交流基金アジアセンターの支援のもと、アーカスプロジェクト(※)で築かれたネットワークやアジア各国の大学等との連携により、ASEANを中心としたアジアのアーティストを招聘した。県北地域の方々との交流、若手アーティストとの共同制作や協働研究等の事業を通じ、相互理解と共感や共生の意識を育むプロジェクトを行った。

国際的な交流活動や共同制作・研究を通じて、地域資源の潜在的な魅力を引き出してもらい、新たな価値を創造するとともに地域の活性化に結びつけるねらいがあった。

シンポジウムや講演会の開催、芸術祭での作品の発表等のほか、東京藝術大学と連携した「藝大子アートプロジェクト」の一環としても、ワークショップやパフォーマンス、作品展示を行った。

【提携機関／ディレクター等】

・シラパコーン大学（タイ）
・インドネシア国立芸術大学デンパサール校（インドネシア）
・ベトナム美術大学（ベトナム）
・ラサール芸術大学（シンガポール）
　ミレンコ・プルバッキ氏（元学長）
・デ・ラ・サール大学（フィリピン）
　ホセリナ・クルス氏（デ・ラ・サール大学付属美術館 館長兼キュレーター）
・アート・サイエンス・ミュージアム（シンガポール）
　オナー・ハーガー氏（エグゼクティブディレクター）

(※)アーカスプロジェクト

茨城県守谷市の廃校を利活用したスタジオを拠点に、20年以上続いているアートプロジェクト。国際的な活躍が期待される外国人アーティストが滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスプログラムを中心に、地域の方々が主体となって関われる場作りやワークショップ等のプログラムを展開している。今回の芸術祭にも、過去にアーカスプロジェクトで招聘した以下の11名のアーティストが参加した。

ソンミン・アン、ヴェンザ・クリスト、ティファニー・チュン、デビー・ハン、ピウス・シギット・クンチョロー、レ=トゥア・ティエン、テア・マキパー、タクシナー・ピピトゥクル、スッシリー・プイオック、タワッシャイ・プンサワッ、ワン・テユ

イ　大学連携プロジェクト

茨城県内にキャンパスのある東京藝術大学、筑波大学、茨城大学と連携したプロジェクトを行った。

①東京藝術大学

芸術祭開催の前年度にあたる平成 27 年８月～９月、東京藝術大学の教員・学生がタイのシラパコーン大学、インドネシア国立芸術大学デンパサール校の教員・学生と協働しながら、大子町内において、小中学校でのワークショップや、旧初原小学校及び常陸大子駅前商店街でのパフォーマンス、作品展示を行った。これらを芸術祭のプレ企画「藝大子アートプロジェクト」として位置づけ、地域の方々から好評を得るとともに、芸術祭への期待を喚起した。

芸術祭開催の平成 28 年度についても、東京藝術大学を中心にシラパコーン大学、ベトナム美術大学から招聘した教員・学生が協力し、大子町内の会場において作品展示を行った。

②筑波大学

筑波大学に所属する芸術祭参加アーティストは、公募による選出も含めて８名にのぼった（國安孝昌、宮原克人、落合陽一、村上史明、山本美希、林剛人丸、塩谷良太（卒業生）、菱田真史（ハッカソン：干渉する浮遊体チーム））。

平成 27 年 12 月には学生を対象に筑波大学芸術系教授の齊藤泰嘉氏の提案で、芸術祭の概要説明とホセリナ・クルス氏によるフィリピンにおける現代美術の特別講義を開催した。また、筑波大学の小野裕子氏のコーディネートのもと、平成 28 年７月にはレクチャーが実施され、キュレーターの金澤韻と参加アーティストが具体的な説明を行い、芸術祭の情報拡散をした。その後、学生たちは作品制作・ワークショップ開催に携わる等、現地での活動も行った。会期中には筑波大学から芸術祭の会場を回るバスツアーや、民間企業の視察ツアーのレクチャーも行った。

③茨城大学

茨城大学の協力のもと、大学が運営する五浦美術文化研究所（六角堂）において、芸術祭参加作品、《Artificial Rock No.109》（ジャン・ワン）、《雑草》（須田悦弘）を展示した。同会場では茨城大学主催で毎年行われる岡倉天心にちなんだ催し「観月会」が芸術祭会期中に行われ、９月４日から 10 月 30 日にかけて茨城大学准教授の片口直樹氏と映像作家の横田将士氏による展覧会＜時の回廊＞が天心邸で行われた。

また、芸術祭参加作品《だいちの星座 ―いばらきけんぽく座―》（鈴木浩之 + 大木真人）の制作過程では、片口氏と茨城大学教授の西野由希子氏、助教の住谷秀保氏の協力のもと、多数の学生が地域住民のワークショップに携わり、作品制作の一役を担った。

ウ　産業連携プロジェクト

県北地域には数多くの伝統工芸や地場産業があり、アーティストは、技術者や生産者との交流を通じ、その素材や技術、歴史や社会的背景等を作品制作に取り込み、新たな創造の可能性を探った。

具体的には、林業（エレナ・トゥタッチコワ）、農業（茨城デザイン振興協議会）、養蜂業（オロン&イオナ&マイク）や発酵産業（岩崎秀雄 + metaPhorest、ヴァイド・インフラ）、家電産業（和田永）等との連携が図られ、その他に、地元の和紙（BCL、木本圭子、木下真理子、増田聡子）や漆（宮原克人、secca）の利活用等も行われた。

⑵　関連プログラム

芸術祭と連携して美術館が独自に開催する企画展や、地域で展開されているイベント等を「関連プログラム」として位置づけ、広報協力等を行った。

ア　美術館との連携

独自の企画展を開催する県内の美術館と連携し、印刷物やホームページに展覧会情報を掲載する等の広報協力や鑑賞券の相互割引を行った。

【連携を図った企画展】

水戸芸術館現代美術ギャラリー	
企画展名	クリストとジャンヌ=クロード アンブレラ 日本=アメリカ合衆国 1984-91
会　　期	平成 28 年 10 月 1 日（土）～12 月 4 日（日）
茨城県近代美術館	
企画展名	奇想天外！アートと教育の実験場 筑波大学〈総合造形〉展
会　　期	平成 28 年 11 月 3 日（木・祝）～平成 29 年 1 月 29 日（日）
茨城県陶芸美術館	
企画展名	華麗なるノリタケの挑戦 −オールドノリタケから現代のマスターピースコレクションへ−
会　　期	平成 28 年 10 月 1 日（土）～12 月 11 日（日）

【鑑賞割引の内容】

区　分	内　容
茨城県北芸術祭での鑑賞割引	上記企画展の鑑賞券の提示により、 ・芸術祭の作品鑑賞パスポート当日券 500 円引き ・芸術祭の個別鑑賞券 100 円引き
美術館等での鑑賞割引	茨城県北芸術祭作品鑑賞パスポートの提示により、 ・各美術館企画展の入場料を団体料金に割引

イ　応援事業

地域の芸術関係の催しをはじめ、各種イベントと広報面で相互協力することにより、誘客促進や地域の魅力発信につなげるため、地域イベントを芸術祭の「応援事業」として募集したところ、市町で行われる産業祭や文化イベント等、幅広い事業から応募があり、認定件数は 79 件であった。

認定した事業には、応援事業ロゴマークを提供し活用を図るとともに、相互に広報協力を行った。［応援事業一覧　資料編 P. 98］

【応援事業ロゴマーク】

カラー用　　モノクロ用

(3)　芸術祭ロゴ付き土産品「KENPOKU セレクション」

各種土産品にロゴシールを貼付することで、芸術祭への気運醸成を図るとともに、参加事業者の一体感醸成及び土産品の販売促進につなげるため、「芸術祭ロゴ付き土産品『KENPOKU セレクション』」を実施した。

県内の土産品販売事業者等に対して参加を募ったところ、地元特産のこんにゃくや奥久慈しゃもをはじめ、納豆や銘菓等、75 事業者から応募があった。参加事業者には、KENPOKU セレクションシールを提供し、参加商品への貼付を依頼したほか、PR 用チラシの作成及び配布、芸術祭公式ウェブサイトでの広報を行った。[KENPOKU セレクション参加企業・店舗一覧　資料編 P.101]

【 KENPOKU セレクションシール デザイン（大・中・小）】

大　　中　　小

(4)　市町によるおもてなし事業

市町独自の取組みとして、来場者をもてなし、芸術祭を盛り上げるための様々なおもてなし事業が展開された。

【おもてなし事業一覧】

市町名	催事名／内容等	時期	場所等
日立市	芸術祭関連商品購入者への記念品プレゼント	9/17～11/20	・日立駅情報交流プラザぷらっとひたち ・日立シビックセンター
	日立シビックセンター及びかみね動物園の無料入場券プレゼント、きららの里入園料無料（芸術祭開催期間中）	9/17～11/20	・日立シビックセンター ・日立市郷土博物館 ・奥日立きららの里
	休憩コーナーの設置	9/17～11/20	・日立駅前 ・常陸多賀駅前 ・日立市郷土博物館
	芸術祭日立市エリアガイドの作成・配布	9/17～11/20	・日立市内の公共施設、各展示会場、インフォメーションセンター等で配布
	観光案内・土産物販売ブース出展	会期中の土日祝日（10/1～11/20）	・御岩神社
高萩市	古民家レストランの開設	9/17～12/4	・穂積家住宅

北茨城市	地元産品の PR・販売ブース出展 （実施団体：北茨城市商工会）	会期中の土日祝日	・茨城県天心記念五浦美術館
	五浦美術館駐車場内無料送迎バスの運行	会期中の土日祝日	・茨城県天心記念五浦美術館
常陸太田市	常陸太田市内会場案内チラシの作成・配布	9/15～11/20	・常陸太田市内の公共施設、各展示会場、インフォメーションセンター等で配布
常陸大宮市	抹茶おもてなしコーナーの設置 （実施団体：表千家河野宗英社中、わを楽しむ会、茶の湯愛好会、表千家茶道教室、裏千家茶道教室、江戸千家茶道教室、美和茶道クラブ）	9/25, 10/2, 10/10, 10/22, 10/23, 10/30, 11/6, 11/13	・旧家和楽青少年の家 ・旧美和中学校 ・旧岡山酒造
	旧美和中学校に“Sunny Side Kitchen”がやってくる（パン・コーヒーおもてなし） （実施団体：Sunny Side Kitchen）	10/14, 10/20, 11/1, 11/11 ※10/15～10/19, 11/2～11/3, 11/5～11/10 は販売を行った。	・旧美和中学校
大子町	藝大子アートプロジェクト 2016 チラシの作成・配布	9/17～11/20	・常陸大子駅前商店街 等
	茨城県北芸術祭大子町オリジナルのしの作成	9/17～11/20	・常陸大子駅前商店街各店舗

北茨城市内特産品等物販ブースの開設（茨城県天心記念五浦美術館敷地内ロータリー周辺）

常陸太田市内会場案内チラシ

大子町オリジナルのしデザイン

９　広報・PR 活動について

(1)　企画発表会・各種 PR キャンペーン等

茨城県北芸術祭開催について広く全国に発信するため、総合ディレクターや参加アーティスト等が出席し、県内及び都内において企画発表会等を行った。

また、各種イベント会場に出向き、地元市町と協力しながら、リーフレット配布やパネル展示、缶バッチづくり等を通じて、芸術祭の周知・PR に努めた。開幕 100 日前となる平成 28 年６月９日からは、カウントダウン企画として、県及び県北６市町の庁舎等にカウントダウンボードや懸垂幕等を設置し、開幕に向けた気運醸成を図った。[各種イベント・キャンペーン等を通じた PR 活動の実績　資料編 P. 104]

【企画発表会等】

開催日	会場	名称／内容
平成 27 年９月 30 日	上野精養軒 （東京都台東区）	開催概要発表会 ・芸術祭の名称、会期、ロゴ等を発表
平成 28 年２月 15 日	ホテルテラスザガーデン水戸 （水戸市）	開催概要説明会 ・開催概要について県内関係者に説明
平成 28 年６月 24 日	三の丸ホテル （水戸市）	企画発表会 ・参加アーティスト、展示会場、チケット・ガイドブック、アクセス情報等を発表
平成 28 年６月 28 日	上野精養軒 （東京都台東区）	

【カウントダウン企画実施の様子】

カウントダウンボード（左）及び横断幕（右奥）を掲示（県庁舎２階）

懸垂幕を掲示（道の駅 常陸大宮 かわプラザ）

(2)　広報制作物

芸術祭のオフィシャルデザイナーである岡本健氏にデザインを依頼し、ポスターやリーフレット等の広報物を制作した。県内の公共施設や商業施設、全国の美術館やギャラリー等に広く配布し、掲出を依頼した。また、缶バッチ等のグッズを制作し、各種イベント会場等で配布した。

【主な広報制作物】

種類	掲出等時期	仕様・作成部数等
ポスター（第１版）	平成 27 年９月～	B1／100 部、B2／3,000 部

ポスター（第２版）	平成 28 年６月～	海／B2／3,000 部
		山／B2／3,000 部
		書／B2／100 部
リーフレット（第１版）	平成 27 年９月～	日英併記／A4／２つ折り／30,000 部
	平成 28 年３月～	繁体字／A4／２つ折り／400 部
	平成 28 年３月～	簡体字／A4／２つ折り／300 部
リーフレット（第２版）	平成 28 年６月～	日英併記／A4／２つ折り／190,000 部
リーフレット（第３版）	平成 28 年９月～	日本語／A4／３つ折り／155,000 部
	平成 28 年 10 月～	英語／A4／３つ折り／5,000 部
缶バッチ	平成 28 年３月～	海・山／各 4,000 個
ステッカー	平成 28 年３月～	県北ロゴ・芸術祭ロゴ／各 1,750 枚
のぼり旗	平成 28 年６月～	1,900 枚
ミニのぼり旗	平成 28 年９月～	700 枚

【ポスターデザイン（山／書／海）】

(3)　メディアツアー等

国内外のメディア関係者や、有名ブロガーや専門家等のインフルエンサーを招待し、芸術祭について取材してもらうツアーを実施した。

【メディアツアー等実績】

開催日	名　称	参加者数
平成 28 年９月 16 日	県内プレスバスツアー	30 人
平成 28 年９月 16 日～17 日	県外プレスバスツアー	58 人
平成 28 年９月 19 日～20 日	ブロガーツアー（首都圏及び茨城空港就航地）	34 人
平成 28 年９月 27 日～28 日	台湾メディアブロガーツアー	6 人
平成 28 年 10 月８日	台湾メディアツアー	7 人
平成 28 年 10 月 15 日	妹島和世及びチェ・ジョンファ新作オープン初日プレスツアー	4 人
平成 28 年 10 月 26 日	妹島和世記者会見プレスツアー	3 人
平成 28 年 10 月 26 日、28 日	ベトナムメディアツアー	8 人
平成 28 年 11 月 11 日～12 日	インフルエンサーツアー（デザイン関係者）	3 人
平成 28 年 11 月 14 日～15 日	インフルエンサーツアー	6 人

(4)　パブリシティ実績

平成 27 年９月 30 日に開催概要発表会を開催して以来、新聞・テレビ・雑誌等の各種メディアで数多く取り上げられ、平成29年１月20日までで、3,042件の掲載・放映があった。これらを広告費に換算すると、約42億円のPR効果となった。［メディア掲載実績　資料編P.106］

【広告換算額】

媒　体	掲載件数（件）	広告費換算（千円）	換算期間
新　　聞	530件	1,090,910千円	平成27年10月1日～平成29年1月20日
雑 誌 等	177件	274,434千円	平成27年10月1日～平成29年1月20日
テ レ ビ	239件	1,967,255千円	平成28年4月1日～平成29年1月20日
ラ ジ オ	32件	25,366千円	平成28年4月1日～平成29年1月20日
W　E　B	2,064件	886,809千円	平成27年9月30日～平成29年1月20日
合　　計	3,042件	4,244,774千円	

※国内分については、事務局で掲載・放映の実績が確認できたものを集計
※海外分については、事務局への申し込みベースで集計
※広告換算額は、株式会社ジャパン通信社、株式会社ハウによる推計

(5)　インターネットでの展開

ア　芸術祭公式ウェブサイトの運用

芸術祭公式ウェブサイトは、スマートフォン対応サイトとし、平成27年９月30日から運用を開始した。

平成 28 年４月から 11 月までの８か月間で、約 51 万件のアクセスがあった。サイトのリニューアル時期が当初の予定より遅れたものの、９月の開幕前後にはアクセス数が大きく伸び、会期中は１日約５千件のアクセスがあった。１日で最もアクセス数が多かったのは、11月13日（日）の12,424件であった。

一方、11 月 17 日から 18 日にかけては、サイトへのアクセスが集中し、サーバーがダウンする事態となった。これは、芸術祭の作品の写真がツイッターで取り上げられ、検索サイトの上位に入ったことから、一時的に閲覧が集中したことが原因の一つと考えられるが、翌日には別のサーバーに切り替えたことで、復旧することができた。

【公式ウェブサイト運営の状況】　URL:kenpoku-art.jp

時期	内容
平成27年9月30日	ティザーサイトを開設
平成28年6月28日	サイトをリニューアル（トップページのデザインを一新し、パスポートやアクセス情報を掲載）
平成28年9月9日	サイトをリニューアル（作品やアーティスト、展示会場等の情報を掲載）

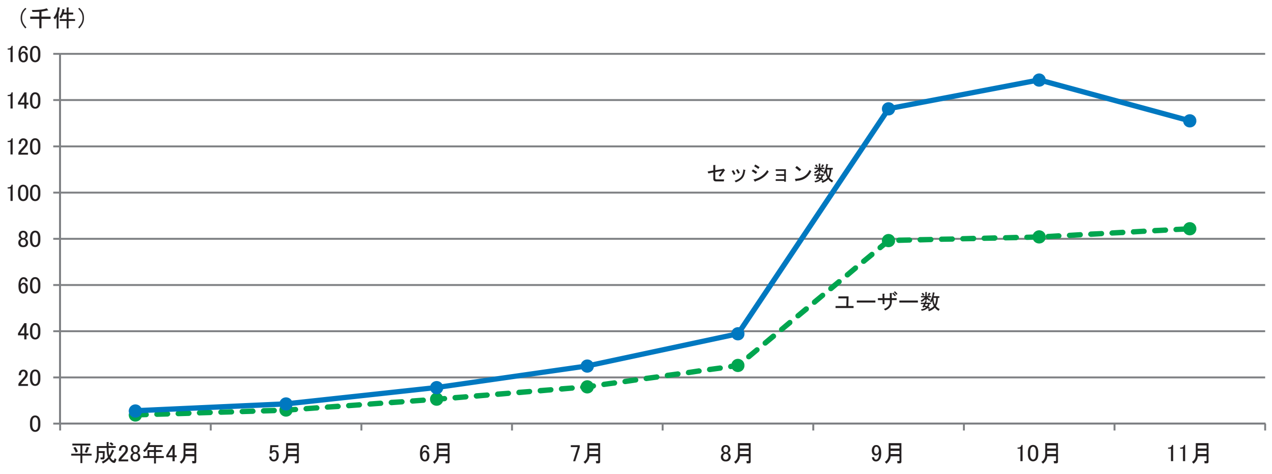
【公式ウェブサイトへのアクセス状況（月別）】

月	ユーザー数（件）	セッション数（件）
４月	3,831	5,555
５月	5,921	8,559
６月	10,613	15,635
７月	16,000	24,986
８月	25,220	38,921
９月	79,277	136,272
10 月	80,825	148,734
11 月	84,371	131,049
合計	306,058	509,711

※最高値は、11/13 の 12,424 件

※Google Analytics による。
※ユーザー数
　･･･ ウェブサイトを訪問した固有のユーザーの数。同一のユーザーが 1 日に何回訪問してもユーザー数は１となる。
※セッション数
　･･･ 集計期間内において、ユーザーが何回ウェブサイトを訪問したのかの延べ合計数。

【公式ウェブサイトのアクセスの推移】



イ　公式 SNS の活用

Twitter（ツイッター）、Facebook（フェイスブック）、Instagram（インスタグラム）をそれぞれ開設し、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報発信を行った。

アートイベント等の最新情報や現場からのリアルタイムな情報を配信し、利用者に臨場感を与え、来場意欲が高まるような展開を図った。

【Twitter（ツイッター）】アカウント：kenpokuart

月	フォロワー数	ツイート数	インプレッション	リツイート数	いいね！数
６月	87	85	81,623	202	134
７月	251	159	160,862	298	355
８月	439	149	149,049	155	302
９月	1,171	188	587,455	742	1,003
10 月	1,550	136	805,657	842	1,130
11 月	1,689	111	702,462	621	931

※Twitter アナリティクスによる。
※インプレッション･･･ツイートを見た人の数。リツイートで増加していく。

【Facebook（フェイスブック）】

月	ページへのいいね！数	合計リーチ数	投稿数
4月	1,649	1,952	10
5月	1,807	1,708	12
6月	2,136	3,138	35
7月	2,574	4,445	58
8月	3,032	5,099	65
9月	4,065	8,672	92
10月	4,529	6,847	64
11月	4,719	5,315	54

※Facebookページインサイトによる。
※ページへのいいね！数
　･･･ ページ自体に「いいね！」ボタンを押してくれた人（ファン）の数。（各月月末時点での数）
※合計リーチ数
　･･･ 当該ページに関連するコンテンツ（投稿やコメント等）がタイムラインに表示されたユニークユーザーの合計数。合計リーチ数（週間）を集計し、月ごとに平均した。

(6)　公式ガイドブック

公式ガイドブックについては、全国の書店やインターネットの販売サイト等で取り扱われたほか、会期中は、インフォメーションセンターや有料施設等においても販売した。

区分	内容
出 版 社	生活の友社
発 行 日	平成28年8月20日
発行部数	20,000部
ページ数	232ページ
サ イ ズ	A5判（210×148mm）
販売価格	1,300円（税込）

(7)　公式カタログ

芸術祭に参加した国内外85組のアーティストによる展示作品等を収録したカタログを作成した。

区分	内容
出 版 社	生活の友社
発 行 日	平成29年3月31日
発行部数	2,500部
ページ数	252ページ
サ イ ズ	A4変形判（275×210mm）
販売価格	3,000円（税込）

10　誘客対策について

(1)　芸術祭を組み込んだ旅行商品の造成

茨城県（観光物産課）や市町と連携しながら、旅行代理店等に対して芸術祭の作品鑑賞を組み込んだ旅行商品の造成を働きかけ、秋の観光シーズンにおける県北地域への誘客促進に努めた。
[芸術祭を組み込んだ旅行商品造成の状況　資料 P. 108]

(2)　視察・見学等の受入れ

県内の小・中学校をはじめ、美術関係者や民間団体等、多方面から 170 件を超える申込みがあり、芸術祭の展示会場や関連施設への視察、見学等の受入れを行った。特に、県北地域の小・中学校については、早い段階から、総合的な学習の時間や学校行事（遠足・校外学習）の一環として芸術祭鑑賞の検討を依頼したことにより、比較的多くの児童・生徒に現代アートに触れる機会を提供することができた。[視察・見学等の受入実績　資料 P. 111]

(3)　宿泊割引制度の実施

茨城県（観光物産課）では、県北地域への誘客促進を目的として、県外居住者の方を対象に、「作品鑑賞パスポート付宿泊プラン」が割引料金となる電子クーポン及び宿泊割引券を合わせて 6,000 枚発行した。電子クーポンには県北地域の 34 施設が、宿泊割引券には 38 施設が、それぞれ対象施設として登録いただき、全体で 3,819 枚が利用された。

【茨城県北芸術祭作品鑑賞パスポート付宿泊プランの概要】

対象プラン	KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭の作品鑑賞パスポート付宿泊プラン ※本事業のために、宿泊施設が新たにプランを造成したもの
発行枚数	電子クーポン：5,500 枚（5,000 円の利用に対し、割引額 2,500 円／枚） 宿泊割引券　：　500 枚（5,000 円の利用に対し、割引額 2,500 円／枚）
利用期間	平成 28 年 9 月 16 日～11 月 20 日宿泊分まで　※チェックアウトは 11/21 （県北芸術祭開催期間の前日から終了日までの宿泊が対象）
対象施設	県北 6 市町（日立市、高萩市、北茨城市、常陸太田市、常陸大宮市、大子町）に所在するホテル・旅館・民宿 【登録数】電子クーポン：34 施設　宿泊割引券：38 施設
対象者	茨城県外居住者のみ　※茨城県内居住者は利用不可
利用方法	電子クーポン：宿泊予約サイトを通じて、宿泊施設へ予約。 宿泊割引券　：往復ハガキによる申込み。応募多数のため、抽選を実施。当選者は直接宿泊施設へ予約。
利用限度	1 人あたり 2 枚（割引額 5,000 円）まで
利用実績	3,819 枚
パスポート引換実績	2,011 枚
その他	作品鑑賞パスポートの引換えは、芸術祭のインフォメーションセンター及び有料施設にて実施。先着 3,000 名様には、公式ガイドブックを贈呈。

(4)　各種割引企画・キャンペーン等の実施

関係者と連携して個別鑑賞券の割引企画やキャンペーン等を展開し、誘客促進に取り組んだ。

【割引企画・キャンペーンの主な内容】

福島県・茨城県・栃木県の高校生無料鑑賞キャンペーン
隣接県と連携し、9月17日から9月30日までの間については、福島県、茨城県及び栃木県の高校生（在住及び在学）を対象に、作品を無料で鑑賞できるキャンペーンを実施した。
「満月BAR」開催に伴う五浦美術館無料鑑賞企画
9月17日及び10月16日に長浜海岸駐車場（北茨城市）において開催された「満月BAR」（主催：茨城県）のチケットを持参した方には五浦美術館の鑑賞料を無料とした。
「いばらき ふるさと 県民証」との連携による割引企画
茨城県に愛着を持ってもらうことを目的として、茨城県が県外在住者を対象に発行している「いばらき ふるさと 県民証」を持参した方には芸術祭の個別鑑賞券を100円引きで提供した。
交通機関との連携による割引企画
ときわ路パス（JR東日本の特別企画乗車券）、茨城空港着の搭乗券（9/17～11/20の全便）を持参した方には芸術祭の個別鑑賞券を100円引きで提供した。

(5)　JRと連携した取組み

芸術祭の開催にあわせて、「気になるイバラキ」茨城県秋期観光キャンペーン 2016 を実施し、JR東日本水戸支社及び茨城県（観光物産課）と連携して誘客促進に取り組んだ。

【キャンペーンの主な内容】

項　目	主な内容
①びゅう旅行商品の展開	「芸術」をメインに、「紅葉」「食」等の秋の茨城の魅力を堪能できる旅行商品を数多く紹介。
②臨時列車の運転	芸術祭及び紅葉の時期にあわせて、水郡線の臨時列車を運転。 （快速）ぶらり奥久慈清流ライン号 水戸～常陸大子間
③イベントの実施	（いばらき産直市） 品川駅、日暮里駅、横浜駅にて、芸術祭を含む県の観光PRと特産品を扱う産直市イベントを開催。 （駅からハイキング） 芸術祭の作品展示会場を組み込んだコースを新たに設定。
④「ときわ路パス」の発売	芸術祭の開催期間にあわせて「ときわ路パス」を発売するとともに、同パスの提示により芸術祭の個別鑑賞券を100円引きで提供。
⑤宣伝展開・情報発信	（全国） ・JR６社の月別重点宣伝地域（11 月）に茨城県が指定され、芸術祭を含む５連貼りポスターをJR６社各駅に掲出。 （首都圏） ・県の観光ガイドブック「いばらき時間」やポスター（B1 ポスター３種「芸術」「紅葉」「コキア」）、観光情報誌「小さな旅（秋）」を首都圏の主要駅に掲出。 ・常磐線特急列車内にポスター（B3 ポスター３種「芸術」「紅葉」「コキア」）を掲出。 ・デジタルサイネージ（首都圏主要駅）やデジタルビジョン（品川駅・上野駅）等を活用して芸術祭の情報を発信。 （県内） ・芸術祭展示会場最寄駅等において、芸術祭ののぼり旗を掲出（磯

	原駅・高萩駅・日立駅・常陸多賀駅)。 ・芸術祭のロゴやキーカラーを使った階段装飾等を実施(磯原駅・高萩駅・常陸多賀駅・水戸駅)。

【駅からハイキング(芸術祭を組み込んだコース)】

開催日	起点駅	コース名
10/7～10/9, 11/12,11/13	常磐線 日立駅	茨城県北芸術祭<海 日立駅周辺エリア会場>めぐり
11/3～11/13	水郡線 常陸大子駅	深紅のもみじ寺～現代アートとレトロな街並み～
11/5～11/13	常磐線 大津港駅	茨城県北芸術祭へ行こう!～天心が惚れた五浦海岸を歩きながら～
11/12	水郡線 袋田駅	恋人の聖地「袋田の滝」とゆず畑散策!

(6) 関係者間の情報共有

上記のほか、茨城県及び県北6市町の観光関係者(担当課、団体)を主要メンバーとする「茨城県北芸術祭開催に係る県内への誘客に向けた関係機関連絡会議」を開催し、芸術祭を契機とした誘客促進の取組み等に関する情報共有・意見交換を行った。

11　交通対策について

(1)　ダイジェストツアーバスの運行

芸術祭の展示会場を１日で効率良く回ることのできるダイジェストツアーバスを、１日３コース、会期中の土日祝日に運行した。また、10 月下旬からは、キュレーター等が添乗して作品を案内する東京駅発着コースの運行も行った。会期中盤以降は満席となるコースもあり、参加者総数は 1,422 人であった。

車内では、やくしまるえつこによるナレーションや芸術祭のテーマソング「わたしは人類」を流し、県北芸術祭ならではの演出を行ったほか、発着地となった水戸駅及び日立駅では、駅員の方々が出発時に手を振って参加者をお見送りする等、心温まるおもてなしの取組みも行われた。

【ダイジェストツアーバス】　運行期間：芸術祭会期中の土日祝日　計 24 日間

コース名	区間	参加者数
きらめき海コース	日立駅（10:00）→日立市郷土博物館→御岩神社→高戸海岸→穂積家住宅→茨城県天心記念五浦美術館→六角堂→日立シビックセンター（16:50 頃）	670 人
じっくり山コース	水戸駅（9:30）→石沢地区空き店舗→旧美和中学校→旧家和楽青少年の家→常陸大子駅前商店街→旧上岡小学校→袋田の滝→道の駅 常陸大宮 かわプラザ→水戸駅（19:00 頃）	488 人
ときめき海と山コース	日立駅（10:00）→御岩神社→水府地区松平町休耕地付近→旧常陸太田市自然休養村管理センター→鯨ヶ丘地域→常陸多賀駅前商店街→日立シビックセンター（16:50 頃）	173 人

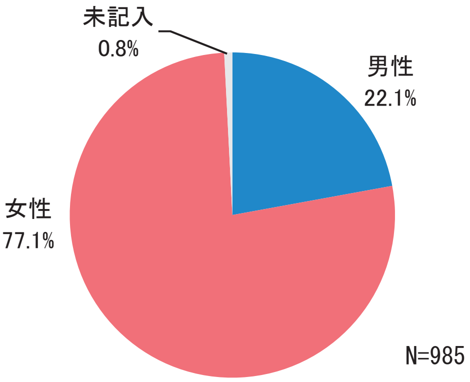
【東京駅発着ダイジェストツアーバス】

コース名	区間	参加者数
芸術祭スタッフと行く！「きらめき海コース」（運行日：10/22, 11/3, 11/13）	東京駅（8:00）→日立市郷土博物館→御岩神社→高戸海岸→穂積家住宅→茨城県天心記念五浦美術館→六角堂→日立シビックセンター→東京駅（20:00 頃）	66 人
芸術祭スタッフと行く！「じっくり山コース」（運行日：10/29）	東京駅（8:00）→石沢地区空き店舗→旧美和中学校→旧家和楽青少年の家→常陸大子駅前商店街→旧上岡小学校→袋田の滝→道の駅 常陸大宮 かわプラザ→東京駅（20:00 頃）	25 人

ダイジェストツアーバス参加者を対象に実施したアンケート結果を見ると、男女比では、女性が約 77%、男性が約 22%と、女性の参加割合が高かった。年代別では、60 歳代以上が 24.5%と比較的高かったものの、全体的に見ると、年代による大きな偏りはなかった。また、県外からの参加者が全体の約６割を占めた。［各種アンケート集計結果　資料編 P.61］

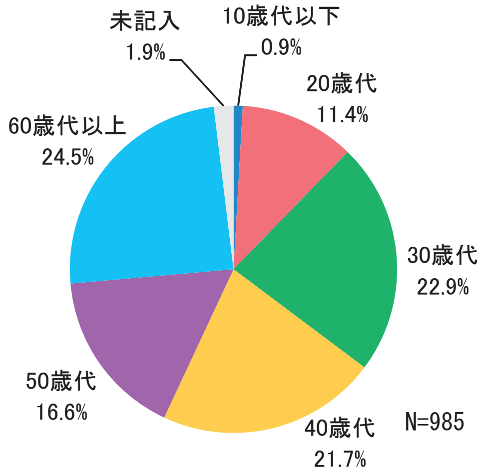
【参加者数（男女別）内訳】

性別	人数	割合
男性	218 人	22.1%
女性	759 人	77.1%
未記入	8 人	0.8%
回答数	985 人	100.0%



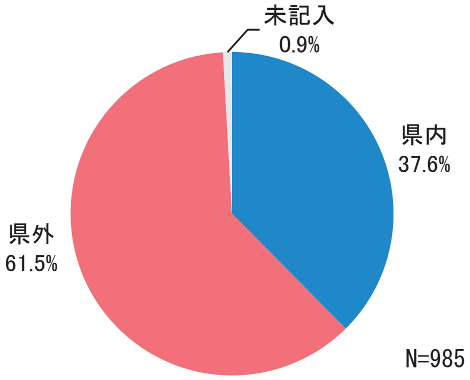
【参加者数（年代別）内訳】

年齢層	人数	割合
10 歳代以下	9 人	0.9%
20 歳代	112 人	11.4%
30 歳代	226 人	22.9%
40 歳代	214 人	21.7%
50 歳代	164 人	16.6%
60 歳代以上	241 人	24.5%
未記入	19 人	1.9%
回答数	985 人	100.0%



【参加者数（居住地別）内訳】

居住地	人数	割合
県内	370 人	37.6%
県外	606 人	61.5%
未記入	9 人	0.9%
回答数	985 人	100.0%



【芸術祭に対する意見・要望等】

（好意的な意見）

・交通の不便なところにある作品が多いので、ダイジェストツアーがあるのは助かった。（東京・30 代・女性）

・以前から訪れてみたいと思っていた観光地をアート鑑賞もできるツアーで回ることができて公共交通機関利用者としてはありがたかったです。（県内・40 代・女性）

・今まで、一度も来たことがなかったのですが、想像以上に魅力のある街だと感じました。今度はツアーではなく個人でゆっくり来たいと思います。（東京・20 代・女性）

・茨城県北地域に来たのは初めてですが、自然も残っており、また地域独自に育まれてきた文化も感じられました。（宮城・30 代・男性）

・規模が想像以上に大きく、たくさんのアートと自然を満喫することができた。ツアーではガイドさんから、もっと地元の話、芸術祭の裏話等、聞いてみたかった。（東京・30 代・女性）

・チームラボの作品は時間が足りないと思う程、充実していた。その他の作品は茨城の知らない所へ沢山行けたので満足。（大阪・30 代・女性）
・既存の建物や自然を利用し調和した作品が多く、他地域では成し得ない芸術祭だったと思う。（千葉・60 代以上・男性）

（課題・改善要望等）
・１ヶ所あたりの滞在時間が短く、チームラボの所では行列ができている作品があったため、全ては見られなかった。ツアーの出発時間を早くするか、あと１ヶ所回る所を減らすとかして見学時間を長めに取ってほしい。（東京・30 代・女性）
・作品鑑賞に時間がかかり、時間が足りなくなることが多かった。（静岡・20 代・男性）
・少々残念だったのは、ツアーバスの中での昼食でした。山道走行中の食事は食べづらさがありました。またその土地のものを食べられると良いなと思いました。（東京・30 代・女性）
・２日つづけて同じお弁当でした。（東京・50 代・男性）
・バスツアーでは地元料理を食べたかった。町の紹介があると良い（ガイドさん）。これらは芸術祭の目的のひとつ。（県内・60 代以上・男性）
・作品はよかったが、ホスピタリティがよくない。バスの運転手が雑。（東京・40 代・女性）
・バスツアー自体は満足ですが、申込みの手続きの悪さ（ネットでは空き情報があるのに電話すると埋まっている。電話対応の悪さなど）には不満でした。（不明・30 代・男性）

⑵　会場周遊バスの運行

各市町の拠点となる駅を発着し、半日程度で複数箇所の作品を鑑賞できる会場滞在型の周遊バス等を市町ごとに運行した。利用者総数は 4,615 人であった。

また、市町独自の取組みとして、展示会場と臨時駐車場や地元観光地を結ぶ巡回バスの運行が行われ、来場者の利便性向上に貢献した。

【会場周遊バス】

コース名	区間	運行日	本数／日	利用者数
日立コース	日立駅→日鉱記念館→御岩神社→日立駅	土日祝日	5	2,201 人
高萩コース	高萩駅→穂積家住宅→高戸海岸（前浜）→高戸海岸（小浜）→高萩駅	土日祝日	3	389 人
北茨城コース（五浦方面）	磯原駅→茨城県天心記念五浦美術館→六角堂→磯原駅	平日	4	240 人
		土日祝日	5	535 人
北茨城コース（富士ケ丘方面）	磯原駅→大津港駅→旧富士ケ丘小学校→大津港駅→磯原駅	土日祝日	2	131 人
常陸太田コース	常陸太田駅→鯨ヶ丘地域→旧常陸太田市自然休養村管理センター→水府地区松平町休耕地付近→常陸太田市民交流センターパルティホール→常陸太田駅	土日祝日	2	331 人
常陸大宮コース	常陸大宮駅→旧美和中学校→旧家和楽青少年の家→道の駅 常陸大宮 かわプラザ→石沢地区空き店舗→常陸大宮駅	土日祝日	2	463 人

大子コース	常陸大子駅→旧上岡小学校→旧初原小学校→奥久慈茶の里公園→常陸大子駅	土日祝日	2	325 人

【市町によるバスの運行状況】

コース名	区間	運行日	本数／日	利用者数
北茨城コース	大津港駅→茨城県天心記念五浦美術館→六角堂→よう・そろー→大津港駅 大津港駅⇔旧富士ケ丘小学校	土日祝日	6	1,117 人
西塩子回り舞台コース	常陸大宮駅→石沢地区空き店舗→道の駅 常陸大宮 かわプラザ→西塩子回り舞台会場→道の駅 みわ→旧美和中学校→旧家和楽青少年の家→常陸大宮駅	10/15（土）	1	7 人
大子コース	袋田滝本⇔常陸大子駅 (※)	土日祝日	2	233 人

（※）会場周遊バス（大子コース）の発着にあわせて運行。

(3) 渋滞・駐車場対策

ア 渋滞対策

県北６市町の担当各課（企画、観光、土木関係課）、県北６市町を所管する警察署や県土木事務所、国道事務所、東日本高速道路（株）等を構成メンバーとする「茨城県北芸術祭開催に係る県北地域主要観光地等における渋滞対策連絡調整会議」を開催し、案内誘導看板の設置箇所等について情報を共有するとともに、渋滞予想箇所や迂回路等について協議、検討を行った。

これを受け、渋滞予想区間や迂回路情報をアクセスガイドに盛り込むとともに、芸術祭の公式ホームページやフェイスブック、県及び関係市町のホームページにおいて情報発信を行い、来場者への事前周知に努めた。また、会期中には、ラジオ放送を通じ、県北地域の道路交通情報を提供した。

【ラジオ放送による道路交通情報の発信状況】

放送局	放送日	時間帯
IBS 茨城放送	10 月 8 日から 11 月 20 日まで	・土曜日 11:20～, 12:37～, 13:51～ ・日曜日・祝日 11:55～, 13:55～, 14:55～

イ 駐車場対策

展示会場敷地内にある既存の駐車場に加え、来場者が利用する車両台数を勘案して臨時駐車場を開設した。また、必要に応じて駐車場周辺に警備員を配置し、適切な誘導を行うことで、事故防止に努めた。

このほか、御岩神社及び日鉱記念館、茨城県天心記念五浦美術館では、土日祝日に臨時駐車場と展示会場の間を結ぶ無料送迎バスを運行（日立市、北茨城市）し、来場者の利便性の確保を図った。

また、開幕当初は雨天が続いたことから、学校の校庭（グラウンド）を駐車場として利用していた会場については泥濘化に対応するため、関係市町等と協力して代替の臨時駐車場を確保した。

【芸術祭用臨時駐車場】

駐車場名称	台数	駐車場名称	台数
奥日立きららの里臨時駐車場	約 100 台	水府地区松平町休耕地臨時駐車場	約 10 台
中里スポーツ広場駐車場	約 150 台	鯨ヶ丘地域臨時駐車場	約 15 台
穂積家住宅臨時駐車場	約 80 台	美和山村開発センター駐車場	約 40 台
五浦美術館臨時駐車場①	約 40 台	石沢地区空き店舗臨時駐車場	約 40 台
五浦美術館臨時駐車場②	約 42 台	浅川温泉臨時駐車場①	約 15 台
五浦美術館臨時駐車場③	約 24 台	浅川温泉臨時駐車場②	約 50 台
五浦美術館臨時駐車場④	約 50 台		

【臨時駐車場巡回バス】

コース名	区間	運行日	本数／日	利用者数
日立会場臨時駐車場巡回	きららの里→日鉱記念館→きららの里→御岩神社　(※)	土日祝日	10～20	6,601 人
五浦美術館臨時駐車場巡回①	臨時駐車場①⇔五浦美術館	土日祝日	随時	5,294 人
五浦美術館臨時駐車場巡回②	臨時駐車場③→臨時駐車場②→五浦美術館→臨時駐車場②→臨時駐車場③	土日祝日	12	1,080 人

(※) 日鉱記念館休館日 (9/19, 9/22, 10/10, 10/30, 11/3) は、きららの里－御岩神社間を運行。

ウ　その他

上記のほか、混雑が予想される箇所については、市町の協力により、駐車場周辺への係員の追加配置（日立市、高萩市、北茨城市）を行ったほか、狭隘道路の整備（高萩市）や枝木の伐採（常陸大宮市）、案内看板の追加設置等を行った。また、県（土木部）においても、県管理道路の除草や路面清掃をはじめ、街路樹の剪定、案内看板の設置、道路情報掲示板への案内表示等が芸術祭の会期にあわせて実施された。

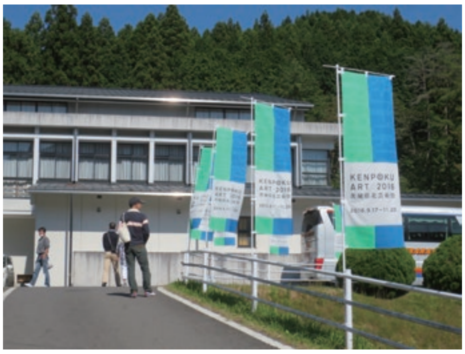
(4)　案内・誘導

ア　案内誘導看板の設置

来場者を安全かつ正確に目的地へ誘導するため、主要道路、展示会場及びその周辺、駐車場等に約 560 基の案内誘導看板や注意喚起看板を設置した。また、誘導看板を補完する役割を担うとともに、会場周辺の盛り上がり醸成のため、のぼり旗を約 1,400 本設置した。

展示会場が県北地域の広範囲に点在することから、看板の設置方法には課題も多かったが、会期中も見直しを重ね、土地勘のない来場者が目的地まで迷うことなく辿り着けるよう、見やすく分かりやすい看板設置に努めた。

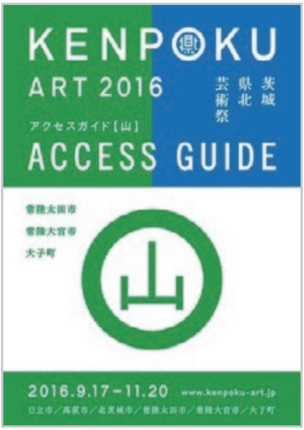
【案内誘導看板・のぼり旗設置の様子】



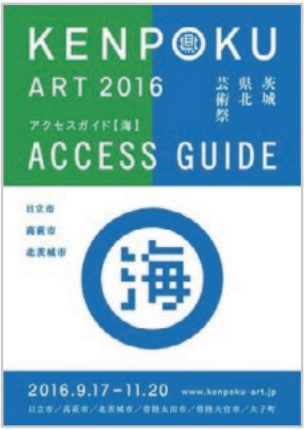
イ　アクセスガイドの作成・配布

自家用車利用者のための会場周辺地図や駐車場情報のほか、バスやタクシー等の二次交通情報を紹介する冊子として、「海」と「山」の２種類のアクセスガイドを作成した。渋滞予想区間やマップコード、バスの時刻表やタクシー利用料金の目安等の交通情報を盛り込み、インフォメーションセンターや展示会場等において無料で配布した。

【アクセスガイド 海／山】



アクセスガイド 山（表紙面）



アクセスガイド 海（表紙面）

アクセスガイド 山（広域マップ面）

12　各会場の運営体制について

(1)　実行委員会事務局の運営体制

茨城県企画部県北振興課内に設置した実行委員会事務局において芸術祭全体を統括したほか、迅速かつ円滑に会期中の会場運営を進めるため、茨城県常陸太田合同庁舎内に現地事務所を設置した。

現地事務所においては、会場巡回や運営スタッフの業務管理、作品トラブルへの対応やサポーターのシフト調整等を行った。

(2)　インフォメーションセンター等及び展示会場の運営体制

インフォメーションセンター及びナビスポットでの案内業務や、展示会場での作品管理等の運営業務については、サポーター、県及び市町の動員職員、雇用者等により体制を整備し、来場者への対応にあたった。

運営スタッフの配置については、平日の人員確保や急な欠席者への対応、混雑時のスタッフ増員等、苦慮することも多かったが、関係市町と連携して運営スタッフの確保に努めたほか、リーダー的サポーターや動員職員の活躍により、毎日の運営体制を維持することができた。

ア　インフォメーションセンター及びナビスポットの運営体制

県北６市町及び水戸市内において、交通の要所となる鉄道駅や道の駅を中心に、合計 11 箇所のインフォメーションセンターを設置し、作品鑑賞パスポート等の販売をはじめ、来場者に対して芸術祭の総合案内を行った。

また、来場者の導線上のインフォメーションセンターを補足する箇所にナビスポットを設け、リーフレットやチラシ類を配布する等、芸術祭の関連情報を広く提供した。

インフォメーションセンター等を設置した施設の関係機関・団体が場所の提供だけでなく、運営にも直接携わるなど、全面的な協力の下で、円滑な運営を行うことができた。

【インフォメーションセンター及びナビスポットの設置箇所】

インフォメーションセンター	ナビスポット
日立駅情報交流プラザ　ぷらっとひたち	日立シビックセンター
道の駅　日立おさかなセンター	JR 常磐線常陸多賀駅
高萩やすんでっ亭	マイクロクリエイションオフィス　かどや
茨城県天心記念五浦美術館	穂積家住宅観光案内所
北茨城観光案内所	清流の郷　花貫物産センター
道の駅　ひたちおおた	JR 水郡線常陸太田駅　コミュニティスペース
茨城県常陸太田合同庁舎	常陸太田市郷土資料館梅津会館
道の駅　常陸大宮　かわプラザ	JR 水郡線常陸大宮駅
道の駅　みわ	JR 水郡線常陸大子駅
大子町観光協会	
水戸観光案内所	

【インフォメーションセンター及びナビスポットの配置人員数】　（単位：人）

施設名	区分	職員		雇用者		計
		県	市町	県	市町	
日立駅情報交流プラザ ぷらっとひたち	平日	1		1		2
	土日祝	1		1		2
道の駅 日立おさかなセンター	平日		1			1
	土日祝		1			1
高萩やすんでっ亭	平日					
	土日祝	1				1
茨城県天心記念五浦美術館	平日	2		2		4
	土日祝	2		2		4
北茨城観光案内所	平日			1		1
	土日祝			1		1
道の駅 ひたちおおた	平日	1	1	1		3
	土日祝	1	1	1		3
大子町観光協会	平日				1	1
	土日祝		1		1	2
水戸観光案内所	平日			1		1
	土日祝			1		1
JR 水郡線常陸太田駅 コミュニティスペース	平日	1		1		2
	土日祝	1		1		2
計	平日	5	2	7	1	15
	土日祝	6	3	7	1	17

※インフォメーションセンター及びナビスポットに配置した１日当たりの平均的な配置人員数。
※インフォメーションセンター及びナビスポットの運営については、上記の人員配置のほか、以下の関係機関・団体の方にご協力をいただいた。

（一社）日立市観光物産協会[日立駅情報交流プラザ ぷらっとひたち]、久慈町漁業協同組合、日立おさかなセンター直販店組合、（株）マリンピア日立[道の駅 日立おさかなセンター]、森のパン工房、Café.Cream、Digital Dish[マイクロクリエイションオフィス かどや]、高萩市商工会[高萩やすんでっ亭]、（一社）高萩市観光協会[穂積家住宅観光案内所]、花貫物産センター利用組合[清流の郷 花貫物産センター]、北茨城市商工会[北茨城市観光案内所]、特定非営利活動法人結[常陸太田市郷土資料館梅津会館]、元気な郷づくり（株）[道の駅 常陸大宮 かわプラザ]、（株）ふるさと活性化センターみわ[道の駅 みわ]、大子町観光協会[大子町観光協会]、（一社）水戸観光協会[水戸観光案内所]

イ　展示会場の運営体制

屋外作品については、事務局の定期巡回により、作品の看視等を行った。

屋内作品については、展示会場 20 箇所に運営スタッフを配置し、来場者に対して作品の案内や交通アクセス情報等、芸術祭に関する各種情報を提供するとともに、展示作品の看視や施設の維持管理等を行った。

本芸術祭の特徴の一つとしてメディアアート作品の展示があり、電子機器を使用した作品が多く、開場前のセッティング作業や長時間稼働することへの耐久性の確保、暗室での作品看視等、会場運営に大変苦慮した面もあったが、各会場にマニュアルを整備し、事務局によるサポート体制を充実させること等により適切な対応が図られた。また、芸術祭を開催した９月から 11 月にかけては、気候や気温の変化、日没時間の早まり等を考慮しながら運営する必要があり、来場者が快適に鑑賞できるよう、また、運営スタッフが安心して業務を行えるように、環境を整えることが不可欠であった。

【展示会場の配置人員数】　（単位：人）

展示会場名	区分	サポーター	職員		雇用者		警備員（駐車場等）	計
			県	市町	県	市町		
小貝ケ浜緑地	平日	1						1
	土日祝	1					1	2

展示会場名	区分	サポーター	職員		雇用者		警備員 (駐車場等)	計
			県	市町	県	市町		
うのしまヴィラ	平日		1					1
	土日祝		1				1	2
日立シビックセンター	平日	2	3	1	1			7
	土日祝	3	3	1	1			8
日立市郷土博物館	平日		1	1				2
	土日祝		1	1				2
御岩神社	平日			2				2
	土日祝			7			3	10
日鉱記念館	平日		1					1
	土日祝		1					1
常陸多賀駅前商店街	平日	4	2	1				8
	土日祝	4	2	1				8
穂積家住宅	平日	2	1			1		4
	土日祝	2	1	4		1		8
高戸海岸	平日							
	土日祝						3	3
茨城県天心記念五浦美術館	平日	3	3		4		1	11
	土日祝	5	6	11	4		2	28
六角堂 (茨城大学五浦美術文化研究所)	平日	1						1
	土日祝	1						1
旧富士ケ丘小学校	平日	3	1					4
	土日祝	3	2					5
ラジコンポート	平日							
	土日祝						2	2
旧自然休養村管理センター	平日	2	1		1			4
	土日祝	2	1		1			4
鯨ヶ丘地域	平日	2	2					4
	土日祝	2	2					4
旧美和中学校	平日	2	2	2	1			7
	土日祝	5	2		1			8
旧家和楽青少年の家	平日	4	2		1			7
	土日祝	5	2		1			8
石沢地区空き店舗	平日	1	2					3
	土日祝	1	2					3
旧初原小学校	平日		1			1		2
	土日祝		1			1		2
旧上岡小学校	平日	1	0.5	1		1		3.5
	土日祝	1	0.5	1		1		3.5
旧浅川温泉	平日		1		1	1		3
	土日祝	1	1		1	1		4
常陸大子駅前商店街	平日	1	0.5	1		4		6.5
	土日祝	1	0.5	1		4		6.5
現地事務所 緊急時対応スタッフ	平日		7					7
	土日祝		6					6
計	平日	29	32	9	9	8	1	88
	土日祝	37	35	27	9	8	12	128

※作品展示会場及び周辺駐車場に配置した1日当たりの平均的な配置人員数。

※作品展示会場及び周辺駐車場の運営については、上記の人員配置のほか、以下の関係者・団体の方にご協力をいただいた。

うのしまヴィラ[うのしまヴィラ]、シーバーズカフェ[日立駅]、(公財) 日立市民科学文化財団[日立シビックセンター]、御岩神社、(公財) 日立市公園協会[御岩神社]、JX 金属 (株) [日鉱記念館]、創価学会高萩文化会館[穂積家住宅]、茨城大学五浦美術文化研究所[六角堂]、(株) 水府振興公社[竜神大吊橋／ふるさとセンター 竜っちゃん乃湯]、特定非営利活動法人結 [常陸太田市郷土資料館梅津会館]、常陸太田市産業振興 (株) [道の駅 ひたちおおた]、上岡小跡地保存の会[旧上岡小学校]、(一財) 大子町振興公社[大子温泉保養センター 森林の温泉／袋田の滝]、NPO 法人麗潤館[麗潤館]、daigo cafe[daigo cafe]、柴すみ子氏[街かど美術館]、NPO 法人まちの研究室[シェアオフィス 大子フロント]、茶の里公園組合[奥久慈茶の里公園]

13　サポーターの活動実績について

(1)　登録者数

平成 28 年４月１日から募集を開始したボランティアサポーターの登録者数は、平成 29 年３月末時点で 1,491 人となった。個人だけでなく、企業や地域団体、地元高校から団体での申し込みもあり、会期前の作品制作補助から会期中の会場運営、会期後の撤収作業等において、多くのサポーターが芸術祭を支えた。

個人登録者の平均年齢は 41.9 歳であり、特に 20 歳代の登録者数が多く、全体の約 23%を占めた。地域別では、地元住民の方の登録が多く、県北６市町在住者が全体の約 46%を占めている。

【サポーター登録者数】

区分	登録数	
	企業団体等数	人数
個人		556 人
企業・団体	18 社・団体	765 人
高校	9 校	170 人
合計		1,491 人

【サポーター（個人）の男女別年代別内訳】

年代	男性	女性	計	
			人数	割合
10 歳代	7 人	29 人	36 人	6.5%
20 歳代	38 人	88 人	126 人	22.7%
30 歳代	24 人	67 人	91 人	16.4%
40 歳代	34 人	57 人	91 人	16.4%
50 歳代	28 人	48 人	76 人	13.7%
60 歳代	42 人	48 人	90 人	16.2%
70 歳代	11 人	5 人	16 人	2.9%
不明	14 人	16 人	30 人	5.4%
合計	198 人	358 人	556 人	

【サポーター（個人）の地域別内訳】

地　域			登録人数	割合
県内	県北６市町	日立市	108 人	19.4%
		高萩市	16 人	2.9%
		北茨城市	46 人	8.3%
		常陸太田市	29 人	5.2%
		常陸大宮市	45 人	8.1%
		大子町	13 人	2.3%
		小　計	257 人	46.2%
	県北以外	水戸市	95 人	17.1%
		ひたちなか市	25 人	4.5%
		つくば市	19 人	3.4%
		那珂市	17 人	3.1%
		東海村	13 人	2.3%
		その他	63 人	11.3%
		小　計	232 人	41.7%
県　　外			41 人	7.4%
住所不明			26 人	4.7%
合　　計			556 人	

（平成 29 年３月末現在）

(2)　活動者数

会期前の作品制作補助や展示会場の清掃をはじめ、会期中の会場受付や作品の看視、会期後の作品撤去等、活動に携わったサポーターは 792 人（実数）、延べ人数では 2,947 人であり、多くの方々が芸術祭のサポーターとして活躍した。

【サポーターの活動人数】

登録人数	実働人数（実数）	活動人数（延べ）
1,491 人	792 人	2,947 人

【活動内容別内訳】

実働人数	作品制作	会場受付
792 人	253 人	616 人

※作品制作と会場受付の両方の活動に参加したサポーターがいるため、合算しても実働人数とは合致しない。

(3)　サポーター説明会の開催

サポーター登録者及びサポーター活動に興味・関心がある方を対象に、本県で初めて開催する芸術祭の概要やサポーターの活動内容について説明するとともに、サポーター同士の交流を深めるための説明会を開催した。

【サポーター説明会開催状況】

回数	開催日／場所	内容
第１回	(海側会場) 開催日：平成 28 年７月 16 日（土） 場　所：日立シビックセンター	・概要説明（芸術祭の開催概要、運営サポーター業務等） ・制作サポーターの募集 ・サポーター同士の交流
	(山側会場) 開催日：平成 28 年７月 17 日（日） 場　所：おおみやコミュニティセンター	
第２回	開催日：平成 28 年９月 11 日（日） 場　所：おおみやコミュニティセンター	・運営サポーター業務（展示会場ごとの運営方法、作品看視の方法等）の詳細説明
第３回	開催日：平成 28 年９月 25 日（日） 場　所：常陸太田市民交流センター	同上

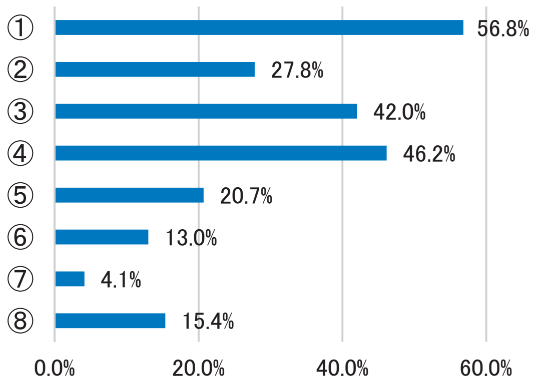
(4)　芸術祭に対する評価

サポーター登録者を対象に実施したアンケート調査に基づく芸術祭に対する評価は次のとおりである。［各種アンケート集計結果　資料編 P. 71］

ア　サポーターに登録した理由（複数回答）

サポーターに登録した理由は、「茨城県北芸術祭に関心があった」が 56.8％で最も多く、次いで、「地域に貢献したかった」(46.2％)、「ボランティア活動に関心があった」(42.0％）が続いた。

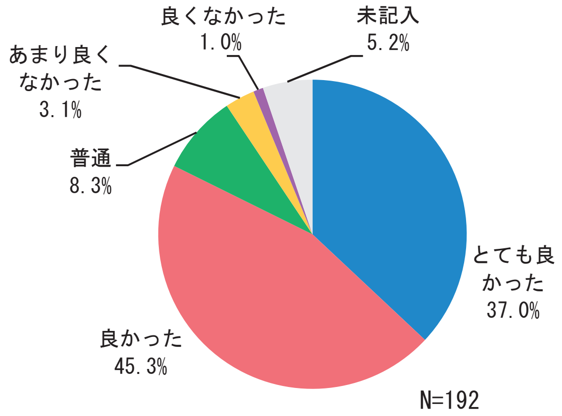
登録理由	人数	割合
①茨城県北芸術祭に関心があった	96 人	56.8%
②現代アートに関心があった	47 人	27.8%
③ボランティア活動に関心があった	71 人	42.0%
④地域に貢献したかった	78 人	46.2%
⑤色々な人と交流したかった	35 人	20.7%
⑥友人・知人に誘われて	22 人	13.0%
⑦自分の特技を生かしたかった	7 人	4.1%
⑧その他	26 人	15.4%



イ　サポーター活動に参加した感想

サポーター活動に参加した感想は、「とても良かった」が 37.0%、「良かった」が 45.3%と、肯定的な意見が全体の８割超を占めた。

感想	人数	割合
とても良かった	71 人	37.0%
良かった	87 人	45.3%
普通	16 人	8.3%
あまり良くなかった	6 人	3.1%
良くなかった	2 人	1.0%
未記入	10 人	5.2%
回答数	192 人	100.0%

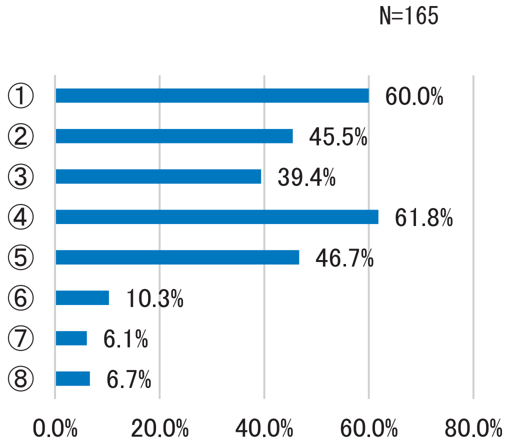


ウ　サポーター活動に参加して良かった点・悪かった点（複数回答）

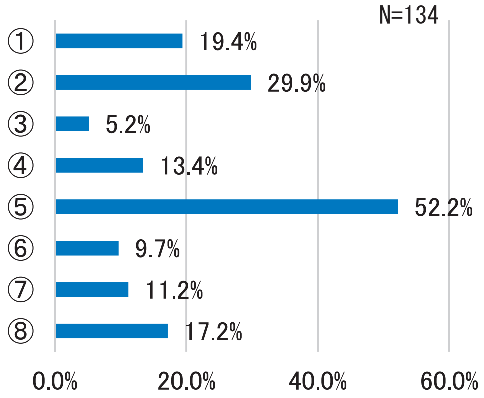
サポーター活動に参加して良かった点については、「来場者と交流できた」(61.8%)、「アートについて知ることができた」(60.0%) との回答が多く、次いで、「サポーター同士で交流できた」(46.7%)、「県北地域について知ることができた」(45.5%) との回答が続いた。

悪かった点については、「活動に必要な説明や情報が不十分だった」(52.2%) との回答が最も多く、次いで、「会場までの交通手段が不便だった」(29.9%)、「作品や企画の内容が難しかった」(19.4%) の順であった。

良かった点	人数	割合
①アートについて知ることができた	99 人	60.0%
②県北地域について知ることができた	75 人	45.5%
③県北地域の活性化に貢献できた	65 人	39.4%
④来場者と交流できた	102 人	61.8%
⑤サポーター同士で交流できた	77 人	46.7%
⑥自分の特技や能力を生かせた	17 人	10.3%
⑦活動に対する報酬が十分だった	10 人	6.1%
⑧その他	11 人	6.7%



悪かった点	人数	割合
①作品や企画の内容が難しかった	26 人	19.4%
②会場までの交通手段が不便だった	40 人	29.9%
③仕事量が多くて大変だった	7 人	5.2%
④会場の環境が良くなかった	18 人	13.4%
⑤活動に必要な説明や情報が不十分だった	70 人	52.2%
⑥期待していた活動内容ではなかった	13 人	9.7%
⑦活動に対する報酬が不十分だった	15 人	11.2%
⑧その他	23 人	17.2%



【サポーター活動の様子】

サポーター説明会

第１回サポーター説明会（山側会場）
（おおみやコミュニティセンター）

第１回サポーター説明会（海側会場）
（日立シビックセンター）

会期直前の活動

作品制作サポート
（旧家和楽青少年の家　体育館）

会場整備
（旧美和中学校）

会期中の活動

会場受付
（旧富士ケ丘小学校）

作品看視
（旧美和中学校）

14　実行委員会の収支について

(1)　実行委員会の収支状況

実行委員会の収支状況は、次のとおりである。

【収入】　　　　（単位:千円）

区　分	26年度	27年度	28年度	合計
負担金	5,000	246,472	269,335	520,807
茨城県	2,500	198,972	269,335	470,807
（財）グリーンふるさと振興機構	2,500	47,500	0	50,000
補助金・助成金	0	10,674	12,248	22,922
協賛金・寄附金	0	18,005	56,878	74,883
入場料等収入	0	0	79,919	79,919
諸収入	0	33	1,705	1,737
小　計	5,000	275,184	420,086	700,270
前年度繰越金	0	4,542	58,870	－
合　計	5,000	279,726	478,956	－

【支出】　　　　（単位:千円）

区　分	26年度	27年度	28年度	合計
事業企画費	0	204,970	310,751	515,721
企画制作費	0	185,921	286,973	472,894
国際交流事業費	0	19,049	13,778	32,827
大学等連携事業費	0	0	10,000	10,000
広報関係費	0	15,308	50,597	65,905
運営管理費	0	0	59,954	59,954
委員会運営費等	458	578	798	1,834
小　計	458	220,856	422,101	643,415
次年度繰越金	4,542	58,870	56,855	－
合　計	5,000	279,726	478,956	－

※「小計」及び「合計」は四捨五入により一致しない場合がある。

(2)　助成金

年度	助成団体	助成額
平成27年度	・国際交流基金アジアセンター「アジア・文化創造協働助成」	10,674千円
平成28年度	・国際交流基金アジアセンター「アジア・文化創造協働助成」 ・損保ジャパン日本興亜「SOMPOアート・ファンド」（企業メセナ協議会 2021 Arts Fund）	12,248千円

15　協賛金・寄附金等について

(1)　協賛金・寄附金

芸術祭の開催に対し多くの方々の賛同を得、総額 74,883 千円の協賛・寄附があった。

【協賛金・寄附金の内訳】

区分		平成 27 年度		平成 28 年度		計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
協賛金	企業・団体	13 件	6,950 千円	33 件	40,550 千円	46 件	47,500 千円
寄附金	企業・団体	8 件	11,050 千円	8 件	16,250 千円	16 件	27,300 千円
	個人	1 件	5 千円	7 件	78 千円	8 件	83 千円
小　計		22 件	18,005 千円	48 件	56,878 千円	70 件	74,883 千円
現物協賛（※）	企業・団体	0 件		5 件		5 件	
合　計		22 件	18,005 千円	53 件	56,878 千円	75 件	74,883 千円

※現物協賛

展示作品の材料提供（１件）、運営用自動車の貸与（２件）、インフォメーションセンターへの Wi-Fi 通信設備の設置（２件）

(2)　企業からの支援

協賛金・寄附金のほか、様々な形で企業からの支援があり、円滑な運営につながった。

・サポーター活動への参加

・作品鑑賞パスポートの一括購入

・新聞紙面、ラジオ番組、社内報、ホームページ等での広報・PR

・芸術祭ののぼり旗やカウントダウンボードの掲出

・協賛・寄附に係る振込手数料の無料化

等

16　今後の展開について

茨城県北地域６市町を会場に、平成 28 年９月 17 日から 11 月 20 日までの 65 日間にわたって開催した、今回の「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」には、延べ 77 万６千人もの大変多くの方々の来場があり、盛況のうちに閉幕を迎えることができた。

今回の芸術祭がきっかけとなって、初めて県北地域を訪れたという方も多く、県北地域の魅力を知ってもらう良い機会になったということも含め、地域全体のイメージアップにつなげることができた。また、地元の方々との交流も活発に行われたことで地域の活力の維持・向上につながったところである。

会期中、会場で実施したアンケートにおいても、「規模が想像以上に大きく、たくさんのアートと自然を満喫することができた。」、「たくさん素敵な場所があると知り、また訪れたいと思っている。」といった感想が数多く寄せられている。また、閉幕後に地元事業者やサポーターを対象に実施したアンケート結果を見てみると、期間中の売上げが増加したという意見のほか、「普段、観光客が来ない場所に人が来た。」、「県北の活性化になった。」、「お客様やサポーター同士の交流が新鮮だった。」など、芸術祭の開催は多くの方々から好意的に受け止められており、芸術祭は地域の活性化に一定の役割を果たすことができたものと考えている。

さらに、テレビや新聞等で数多く取り上げられ、大きなパブリシティ効果が出ており、こうしたことを踏まえると、今回の芸術祭は、アートという新たな切り口で県北地域の振興を図る取り組みとして成功裏に終えることができたものと考える。

この成果を一過性のものに終わらせることなく、さらなる地域振興につなげていくためには、芸術祭を継続的に開催していくことが重要である。また、このためには、今回の芸術祭を通して培われたさまざまなネットワークや、地元における気運の高まりを絶やすことなく、しっかりと次につないでいくことも大変重要である。

このため、今後も引き続き、現代アートの普及啓発、気運の醸成・維持、人材育成、効果的な情報発信など、次回開催を見据えた取り組みを進めるとともに、地元市町における主体的な取り組みも始まろうとしており、これらとも連携を図りながら、県北地域の新たな振興策として、地域一体となった取り組みとしていく。

資　料　編

1　各種アンケート集計結果

■　来場者アンケート結果

【アンケート実施概要】

実施期間　平成 28 年 10 月 1 日～11 月 6 日

実施場所　作品展示会場 9 箇所（日立シビックセンター、穂積家住宅、茨城県天心記念五浦美術館、旧富士ケ丘小学校、旧常陸太田市自然休養村管理センター、常陸太田市郷土資料館梅津会館、旧美和中学校、旧家和楽青少年の家、旧上岡小学校）

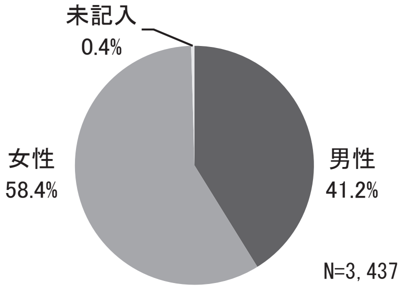
実施方法　芸術祭への来場者に対して調査票を配布し、その場で記入、回収。

回収件数　3, 437 件

問 1　あなたの性別・年齢・お住まいについて教えてください。

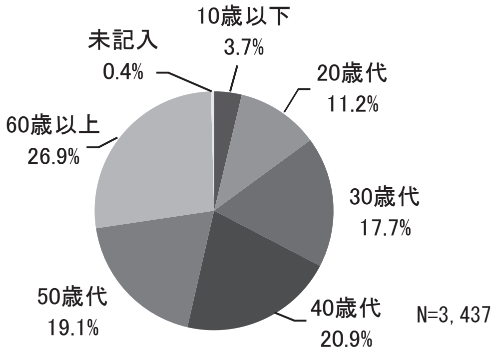
①性別

性別	人数	割合
男性	1, 415 人	41. 2%
女性	2, 007 人	58. 4%
未記入	15 人	0. 4%
回答数	3, 437 人	100. 0%



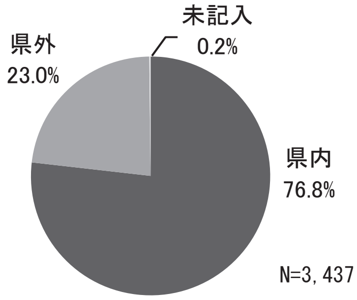
②年齢

年齢層	人数	割合
10 歳代以下	128 人	3. 7%
20 歳代	385 人	11. 2%
30 歳代	609 人	17. 7%
40 歳代	720 人	20. 9%
50 歳代	655 人	19. 1%
60 歳代以上	925 人	26. 9%
未記入	15 人	0. 4%
回答数	3, 437 人	100. 0%



③お住まい

居住地	人数	割合
県内	2, 640 人	76. 8%
県外 ※	791 人	23. 0%
未記入	6 人	0. 2%
回答数	3, 437 人	100. 0%



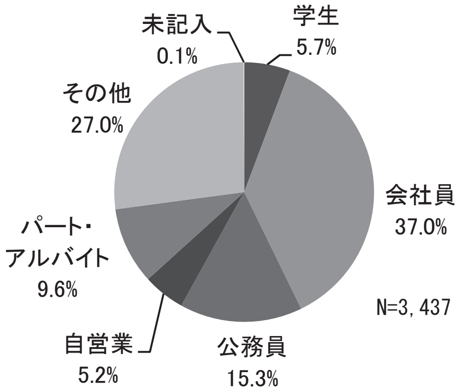
※県外の内訳

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
東京都	240	宮城県	20	富山県	5	奈良県	2	鳥取県	1
千葉県	99	山形県	12	長野県	4	岡山県	1	北海道	1
神奈川県	73	大阪府	12	山梨県	3	沖縄県	1	海外 ※	4
埼玉県	72	兵庫県	9	秋田県	3	宮崎県	1	不明	40
福島県	69	愛知県	8	高知県	2	京都府	1	合計	791
栃木県	64	新潟県	7	鹿児島県	2	広島県	1		
群馬県	25	静岡県	6	長崎県	2	石川県	1		

※海外･･･韓国、中国、台湾、ドイツ

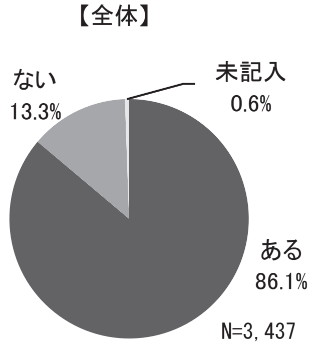
問２　あなたの職業について教えてください。

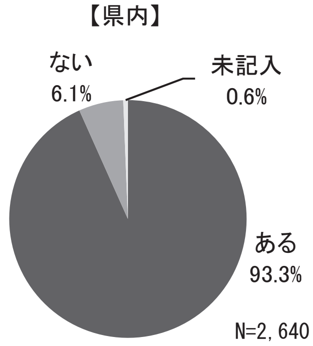
職業	人数	割合
学生	197 人	5.7%
会社員	1,273 人	37.0%
公務員	525 人	15.3%
自営業	180 人	5.2%
パート・アルバイト	330 人	9.6%
その他	929 人	27.0%
未記入	3 人	0.1%
回答数	3,437 人	100.0%

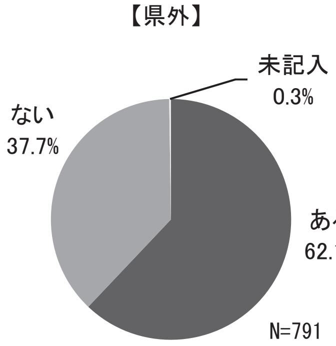


問３　今までに茨城県北地域を訪れたことがありますか。

訪問経験	全体	県内	県外
ある	2,960 人 (86.1%)	2,463 人 (93.3%)	491 人 (62.1%)
ない	458 人 (13.3%)	160 人 (6.1%)	298 人 (37.7%)
未記入	19 人 (0.6%)	17 人 (0.6%)	2 人 (0.3%)
回答数	3,437 人	2,640 人	791 人

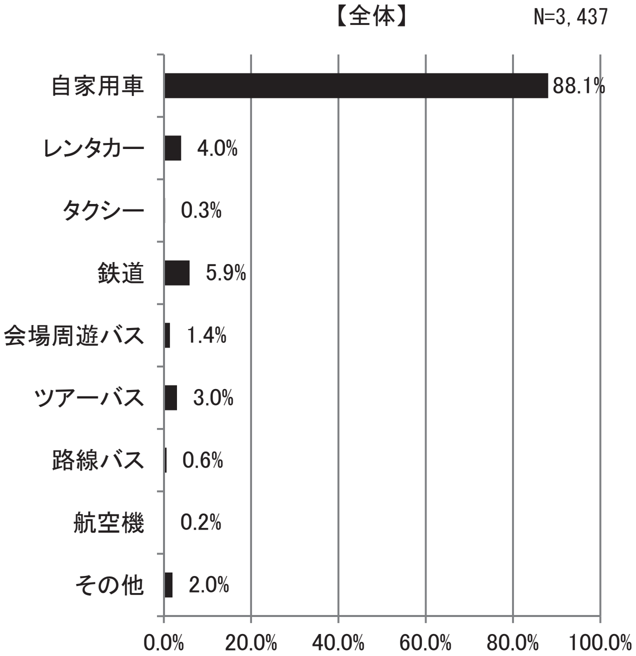


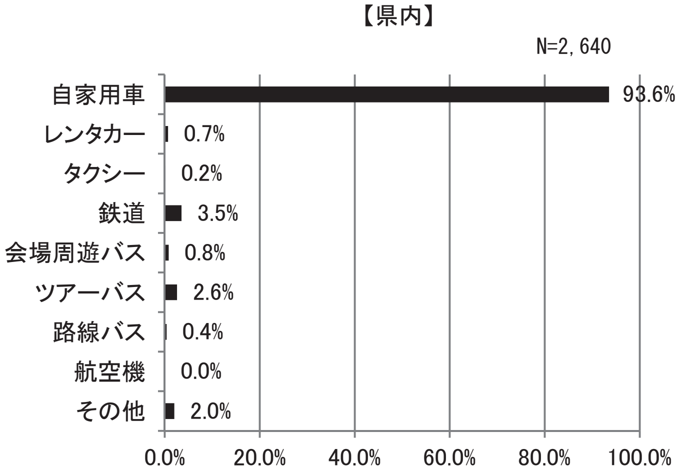


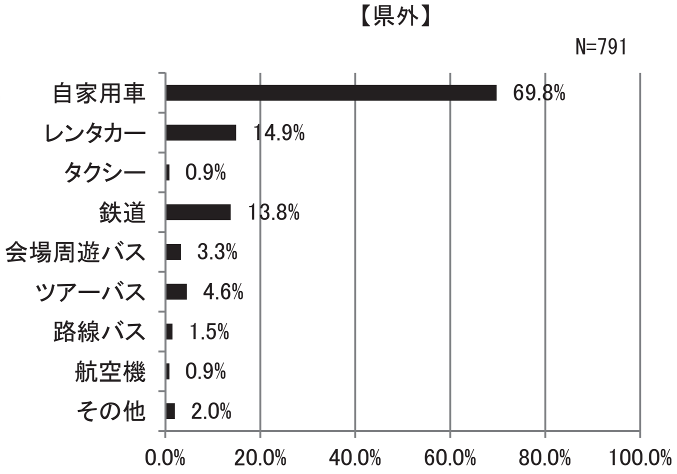


問４　どのような交通手段を利用してお越しになりましたか。（複数回答）

交通手段	全体	県内	県外
自家用車	3,027 人 (88.1%)	2,470 人 (93.6%)	552 人 (69.8%)
レンタカー	136 人 (4.0%)	18 人 (0.7%)	118 人 (14.9%)
タクシー	11 人 (0.3%)	4 人 (0.2%)	7 人 (0.9%)
鉄道	203 人 (5.9%)	93 人 (3.5%)	109 人 (13.8%)
会場周遊バス	48 人 (1.4%)	22 人 (0.8%)	26 人 (3.3%)
ツアーバス	104 人 (3.0%)	68 人 (2.6%)	36 人 (4.6%)
路線バス	22 人 (0.6%)	10 人 (0.4%)	12 人 (1.5%)
航空機	7 人 (0.2%)	0 人 (0.0%)	7 人 (0.9%)
その他	69 人 (2.0%)	53 人 (2.0%)	16 人 (2.0%)







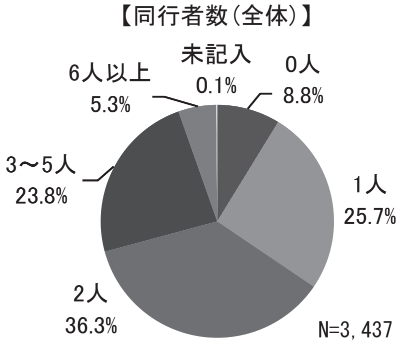
問５　何人でお越しになりましたか。同行者の人数及び関係を教えてください。

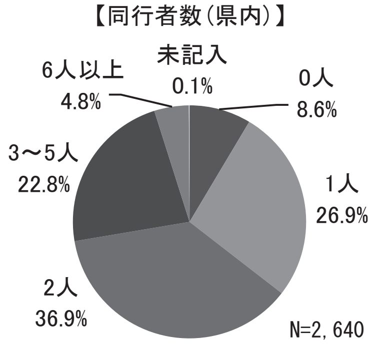
①同行者数

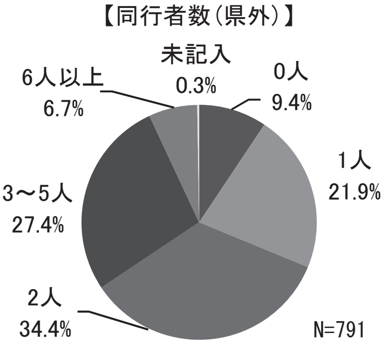
同行者数	全体	県内	県外
0 人	301 人 (8.8%)	226 人 (8.6%)	74 人 (9.4%)
1 人	884 人 (25.7%)	711 人 (26.9%)	173 人 (21.9%)
2 人	1,248 人 (36.3%)	973 人 (36.9%)	272 人 (34.4%)
3～5 人	818 人 (23.8%)	601 人 (22.8%)	217 人 (27.4%)
6 人以上	181 人 (5.3%)	127 人 (4.8%)	53 人 (6.7%)
未記入	5 人 (0.1%)	2 人 (0.1%)	2 人 (0.3%)
回答数	3,437 人	2,640 人	791 人

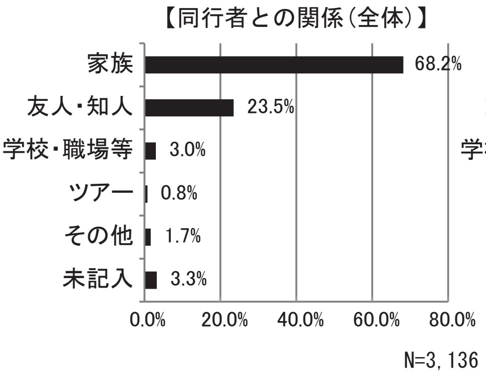
②同行者との関係（複数回答）

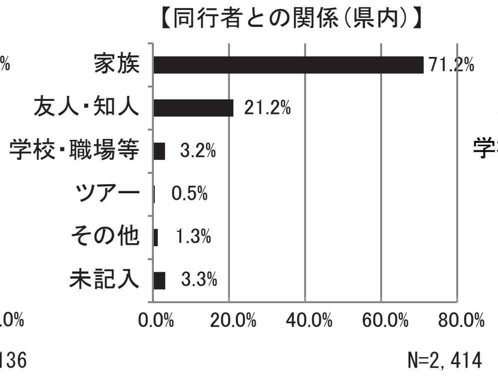
関係	全体	県内	県外
家族	2,139 人 (68.2%)	1,718 人 (71.2%)	420 人 (58.6%)
友人・知人	736 人 (23.5%)	511 人 (21.2%)	223 人 (31.1%)
学校・職場等の団体	95 人 (3.0%)	77 人 (3.2%)	17 人 (2.4%)
ツアー	26 人 (0.8%)	12 人 (0.5%)	14 人 (2.0%)
その他	54 人 (1.7%)	32 人 (1.3%)	22 人 (3.1%)
未記入	105 人 (3.3%)	80 人 (3.3%)	45 人 (6.3%)

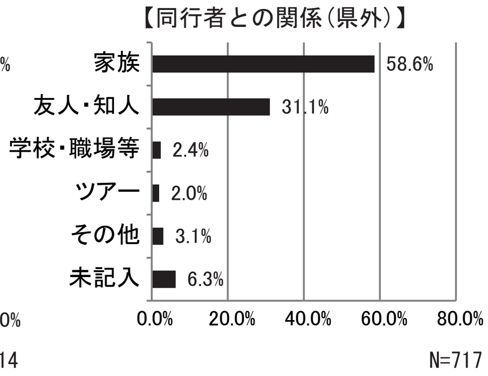






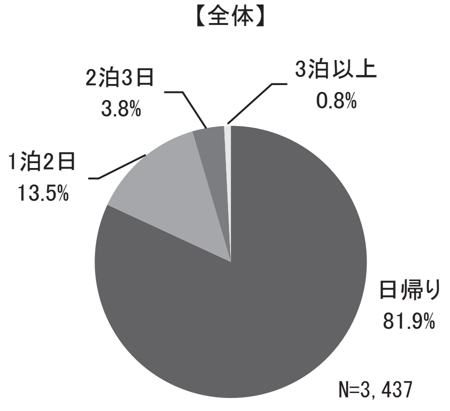


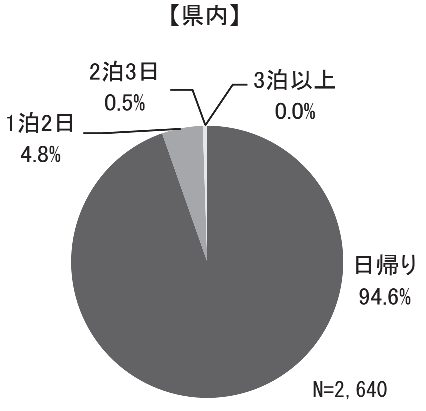


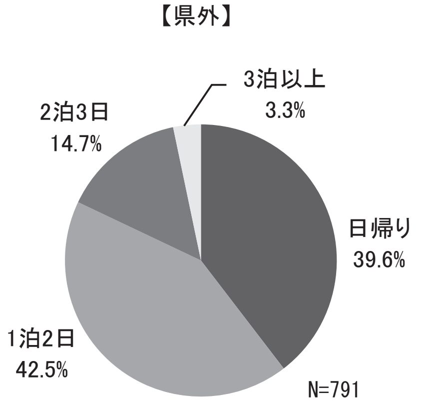


問６　今回の滞在日数を教えてください。

滞在日数	全体	県内	県外
日帰り	2,815 人 (81.9%)	2,498 人 (94.6%)	313 人 (39.6%)
1 泊 2 日	465 人 (13.5%)	128 人 (4.8%)	336 人 (42.5%)
2 泊 3 日	130 人 (3.8%)	13 人 (0.5%)	116 人 (14.7%)
3 泊以上	27 人 (0.8%)	1 人 (0.0%)	26 人 (3.3%)
回答数	3,437 人	2,640 人	791 人

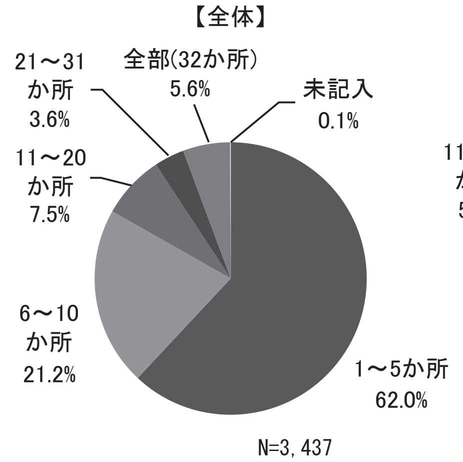


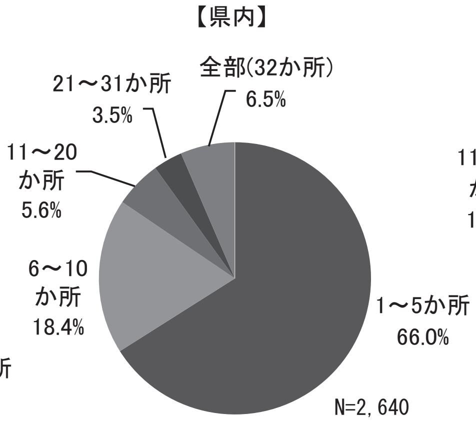


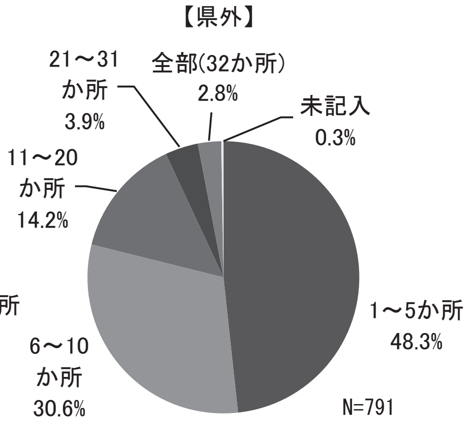


問７　今回、展示会場を何か所巡る予定ですか。

訪問箇所数	全体	県内	県外
1～ 5 か所	2,130 人 (62.0%)	1,743 人 (66.0%)	382 人 (48.3%)
6～10 か所	730 人 (21.2%)	487 人 (18.4%)	242 人 (30.6%)
11～20 か所	259 人 (7.5%)	147 人 (5.6%)	112 人 (14.2%)
21～31 か所	123 人 (3.6%)	92 人 (3.5%)	31 人 (3.9%)
全部(32 か所)	193 人 (5.6%)	171 人 (6.5%)	22 人 (2.8%)
未記入	2 人 (0.1%)	0 人 (0.0%)	2 人 (0.3%)
回答数	3,437 人	2,640 人	791 人

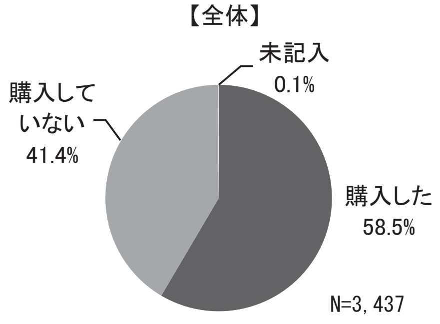


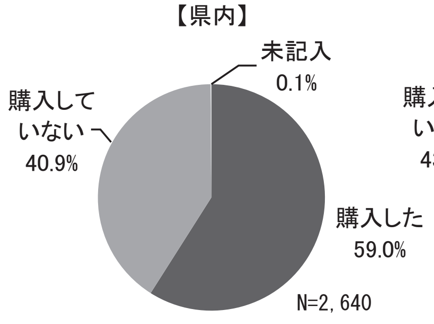


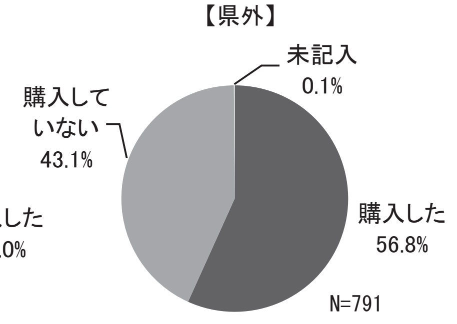


問８　作品鑑賞パスポートを購入しましたか。

パスポート購入	全体	県内	県外
購入した	2,009 人 (58.5%)	1,557 人 (59.0%)	449 人 (56.8%)
購入していない	1,424 人 (41.4%)	1,080 人 (40.9%)	341 人 (43.1%)
未記入	4 人 (0.1%)	3 人 (0.1%)	1 人 (0.1%)
回答数	3,437 人	2,640 人	791 人

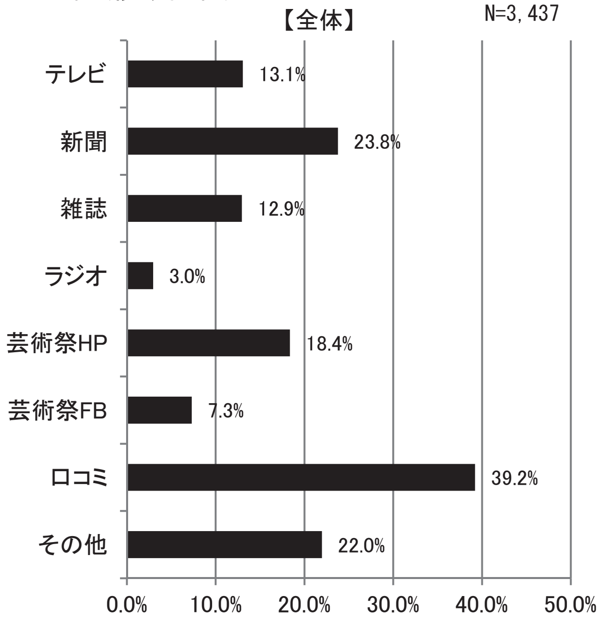


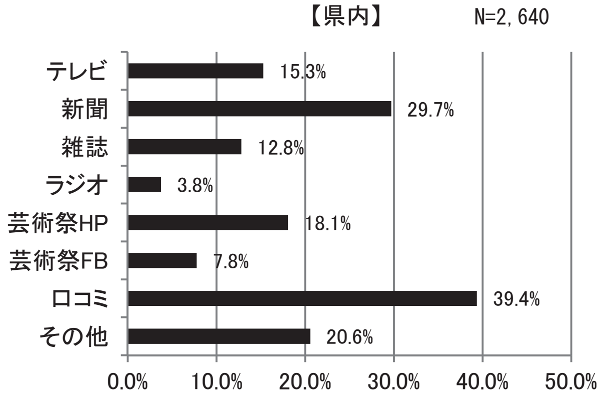


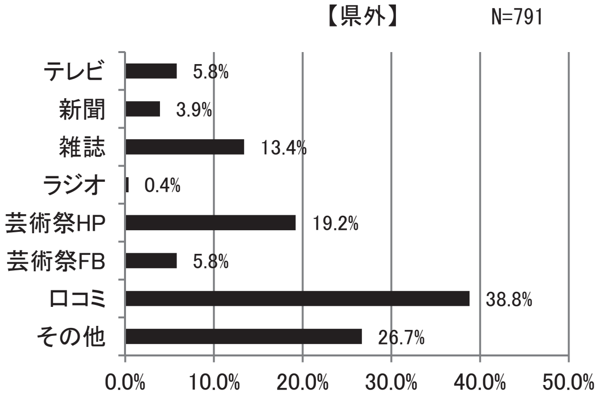


問９　茨城県北芸術祭はどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答)

情報入手手段	全体	県内	県外
テレビ	449 人 (13.1%)	403 人 (15.3%)	46 人 (5.8%)
新聞	817 人 (23.8%)	784 人 (29.7%)	31 人 (3.9%)
雑誌	445 人 (12.9%)	338 人 (12.8%)	106 人 (13.4%)
ラジオ	102 人 (3.0%)	99 人 (3.8%)	3 人 (0.4%)
芸術祭の HP	631 人 (18.4%)	477 人 (18.1%)	152 人 (19.2%)
芸術祭の FB	251 人 (7.3%)	205 人 (7.8%)	46 人 (5.8%)
家族・知人等からの口コミ	1,348 人 (39.2%)	1,039 人 (39.4%)	307 人 (38.8%)
その他	755 人 (22.0%)	543 人 (20.6%)	211 人 (26.7%)





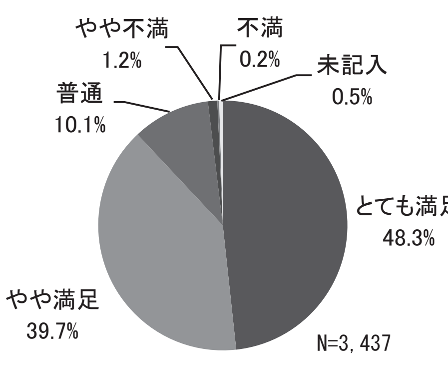


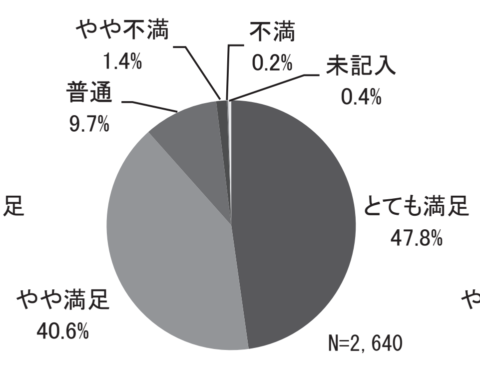
問 10　芸術祭を鑑賞する今回の旅行の中で使われた金額、またはこれから使う予定の金額を教えてください。(回答者一人当たりの平均消費額)

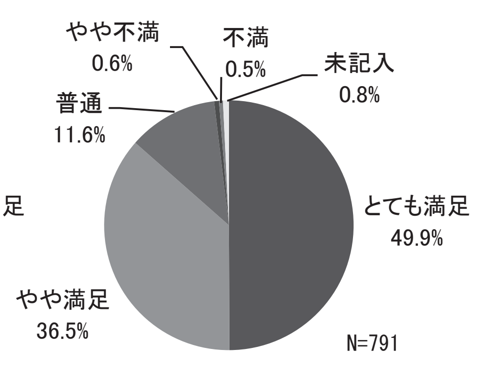
項目	県内		県外	
	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊
①芸術祭の作品・施設鑑賞費	1,692 円	1,882 円	1,640 円	2,149 円
②交通費	2,154 円	3,738 円	4,823 円	8,509 円
③宿泊費	0 円	9,780 円	0 円	10,551 円
④飲食費	2,101 円	3,776 円	2,228 円	4,977 円
⑤お土産等	1,226 円	2,311 円	1,394 円	2,793 円
⑥その他の入館料	290 円	516 円	338 円	656 円
⑦その他	48 円	229 円	267 円	174 円
合計	7,511 円	22,232 円	10,690 円	29,809 円

問 11　茨城県北芸術祭を鑑賞された感想を教えてください。

満足度	全体	県内	県外
とても満足	1,659 人 (48.3%)	1,261 人 (47.8%)	395 人 (49.9%)
やや満足	1,365 人 (39.7%)	1,073 人 (40.6%)	289 人 (36.5%)
普通	347 人 (10.1%)	255 人 (9.7%)	92 人 (11.6%)
やや不満	42 人 (1.2%)	37 人 (1.4%)	5 人 (0.6%)
不満	8 人 (0.2%)	4 人 (0.2%)	4 人 (0.5%)
未記入	16 人 (0.5%)	10 人 (0.4%)	6 人 (0.8%)
回答数	3,437 人	2,640 人	791 人

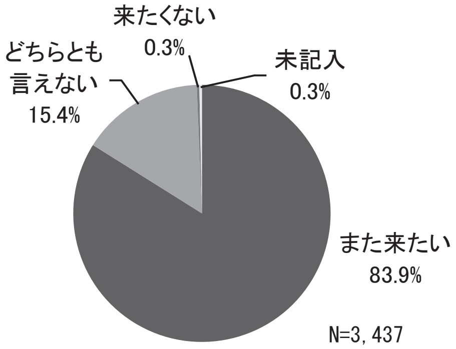


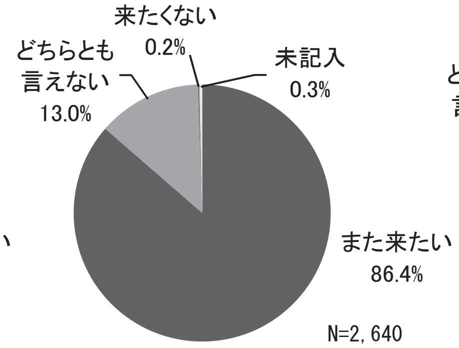


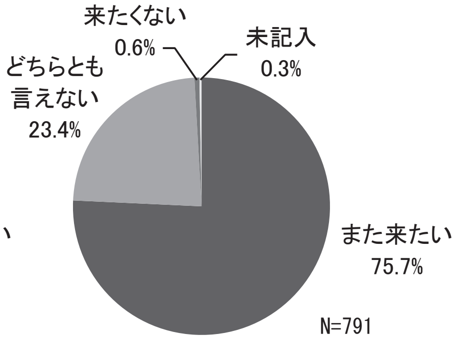


問12　最後に、次回、茨城県北芸術祭を開催するとした場合、また来たいですか。

再訪意向	全体	県内	県外
また来たい	2,884人 (83.9%)	2,281人 (86.4%)	599人 (75.7%)
どちらとも言えない	531人 (15.4%)	344人 (13.0%)	185人 (23.4%)
来たくない	11人 (0.3%)	6人 (0.2%)	5人 (0.6%)
未記入	11人 (0.3%)	9人 (0.3%)	2人 (0.3%)
回答数	3,437人	2,640人	791人







※居住地未記入の方がいるため、「県内」と「県外」の合計は、「全体」と一致しません。

その他、ご意見、ご感想がございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述。以下、回答より抜粋）

（好意的な意見）

・自分の住んでいるところが、このような機会で注目をあびていることがとても嬉しい。来年以降も続けてほしい。（県内・男性・20代）

・茨城県で素晴らしい美術作品が揃う機会を得て、初めて、茨城を自慢したいと思いました。（県内・女性・30代）

・県内に住んでいても、それぞれの町などに訪れることがありませんでした。芸術祭を通して、県北の魅力を発見できたのがうれしいです。町並みであったり、自然であったり、そこに合ったテーマでの芸術作品も、どれもすばらしく思いました。（県内・女性・20代）

・町を上手に利用した作品があって楽しいです。この様な機会でしか作れない作品もあるので鑑賞できて嬉しいです。（神奈川・女性・20代）

・母校がこのような形で使用されるのはとても喜ばしい事でうれしく思った。（県内・女性・40代）

・何もない〝田舎〟のイメージが強かったが、こういったイベントがあると、近場でも出かける楽しみができて嬉しいです。（県内・女性・30代）

・魅力度ランキング等で最下位になっているが、全くそんな印象を受けなかった。今回は芸術祭が目的でしたが、有名な観光地を巡る旅でまた訪れたいです。（長崎・男性・20代）

・場所が離れているのですが、そこに行くまでの道中の景色が楽しい。日本の原風景が味わえるし、今まで来たことのない所にもこの機会に訪れることができる。新しいものを発見できることはとても楽

しいです。（県内・女性・60 代）
・作品数が多いので見て回るのも楽しい。（埼玉・男性・40 代）
・各広報誌等で、写真付きで掲載されていたので、つい行きたくなった。無料でみられる所も沢山あり、実際に来てみて良かったと思う。（県内・女性・50 代）
・都心からアクセスがよく、来やすい。（東京・女性・20 代）
・特典(飲食店や博物館)などが充実していてパスポートがとてもお得だと感じた。（東京・女性・30 代）
・たくさん素敵な場所があると知り、また訪れたいと思っています。（千葉・女性・40 代）

（課題・改善要望等）
・9/17～11/20 の期間が意外と短いなと思いました。県北地域に住んでいますが、地元向けの広報が少し足りないかもしれません。もっと地域全体で盛り上がれるといいです。（県内・女性・20 代）
・案内用のパンフレットの内容を充実させてほしい。展示内容が不明の所が多い。地図の内容を詳しくしてほしい。（県内・男性・50 代）
・案内看板に距離を記入してもらえると行きやすい。ガイドブックでもう少し作品の紹介をしてもらえると良かったです。（山形・男性・30 代）
・全体(海・山)の範囲が広すぎる。駐車場が分かりにくい。１ヶ所あたりの会場の展示数が少ない。（東京・男性・50 代）
・交通の便がもっといいとさらに良いです。メンテナンス中が多い印象。（千葉・女性・30 代）
・もっとお土産を買いたい。ツアーバスで回っているので、作品展示会場でしか買えない。（県内・女性・40 代）
・分かりやすい言葉での説明が欲しい。（県内・女性・60 代）
・10 月中旬開始とか、会期途中から展示を始めるのはやめてほしい。レストランに入らないと見られないのもやめてほしい。（東京・女性・20 代）
・パスポートの使用方法が、ホームページだけでは、いまいち理解できない。無料でも見られることが分かりづらかった。（県内・男性・30 代）
・再入場料をもっと安くしてほしい。（県内・男性・30 代）
・別途入館料をとられるのは納得いかない。（県内・男性・50 代）
・協賛のイベントや出店があったりすると良いと思う。子どもも楽しめるイベントも一緒に開催すると良いと思う。（県内・女性・40 代）
・４年に１度やったら面白いと思います。あと飲食スペースがもっとほしい所(施設)もあります。（県内・男性・30 代）
・ホームページが少し見にくかったので改善してほしいです。（県内・女性・20 代以下）
・他のトリエンナーレと開催年が重なっていて、来づらいです。（新潟・女性・40 代）
・茨城出身のアーティストの作品をもっと活用してもいいのではないか？とも思えた。（県内・女性・40 代）
・スタッフの対応で、嫌々やっている態度があらわれている人を見ると、とても残念な気持ちになりました。（県内・男性・30 代）

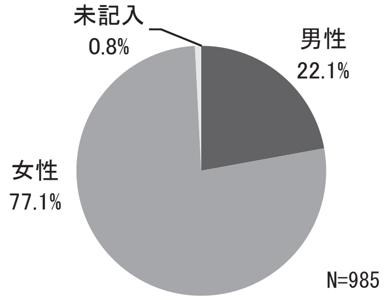
■　ダイジェストツアーバス参加者アンケート結果

【アンケート実施概要】
実施期間　平成28年9月17日～11月20日の土日祝日
対 象 者　ダイジェストツアーバス参加者(1,422件)
実施方法　ダイジェストツアーバス参加者に対して調査票を配布し、ツアー終了後に回収。
回収件数　985件(回収率69.3%)

問１　あなたの性別・年齢・お住まいについて教えてください。

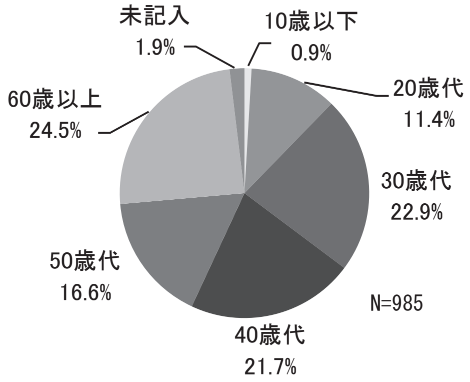
①性別

性別	人数	割合
男性	218人	22.1%
女性	759人	77.1%
未記入	8人	0.8%
回答数	985人	100.0%



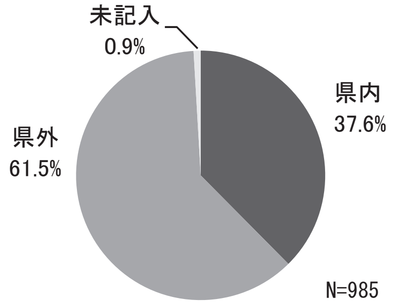
②年齢

年齢層	人数	割合
10歳代以下	9人	0.9%
20歳代	112人	11.4%
30歳代	226人	22.9%
40歳代	214人	21.7%
50歳代	164人	16.6%
60歳代以上	241人	24.5%
未記入	19人	1.9%
回答数	985人	100.0%



③お住まい

居住地	人数	割合
県内	370人	37.6%
県外 ※	606人	61.5%
未記入	9人	0.9%
回答数	985人	100.0%

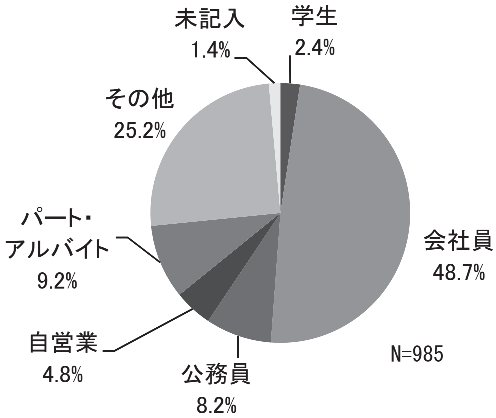


※県外の内訳

都道府県名	人数	都道府県名	人数	都道府県名	人数
東京都	318	群馬県	6	愛媛県	1
神奈川県	83	福島県	5	三重県	1
千葉県	63	兵庫県	3	山形県	1
埼玉県	39	北海道	3	福井県	1
静岡県	12	宮城県	2	不明	34
愛知県	10	京都府	2	合計	606
栃木県	10	山口県	2		
大阪府	8	新潟県	2		

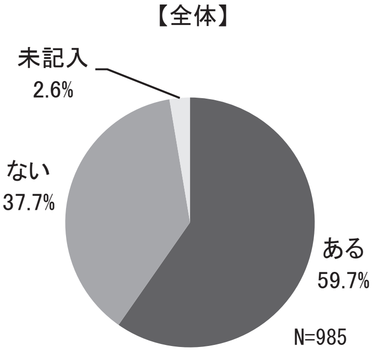
問２　あなたの職業について教えてください。

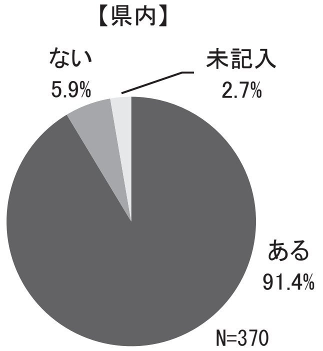
職業	人数	割合
学生	24 人	2.4%
会社員	480 人	48.7%
公務員	81 人	8.2%
自営業	47 人	4.8%
パート・アルバイト	91 人	9.2%
その他	248 人	25.2%
未記入	14 人	1.4%
回答数	985 人	100.0%

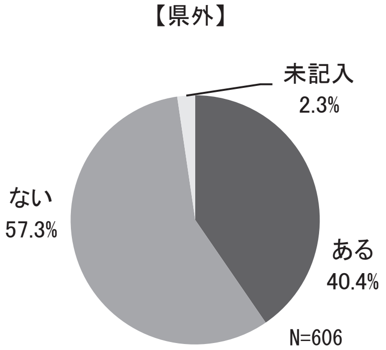


問３　今までに茨城県北地域を訪れたことがありますか。

訪問経験	全体	県内	県外
ある	588 人 (59.7%)	338 人 (91.4%)	245 人 (40.4%)
ない	371 人 (37.7%)	22 人 (5.9%)	347 人 (57.3%)
未記入	26 人 (2.6%)	10 人 (2.7%)	14 人 (2.3%)
回答数	985 人	370 人	606 人

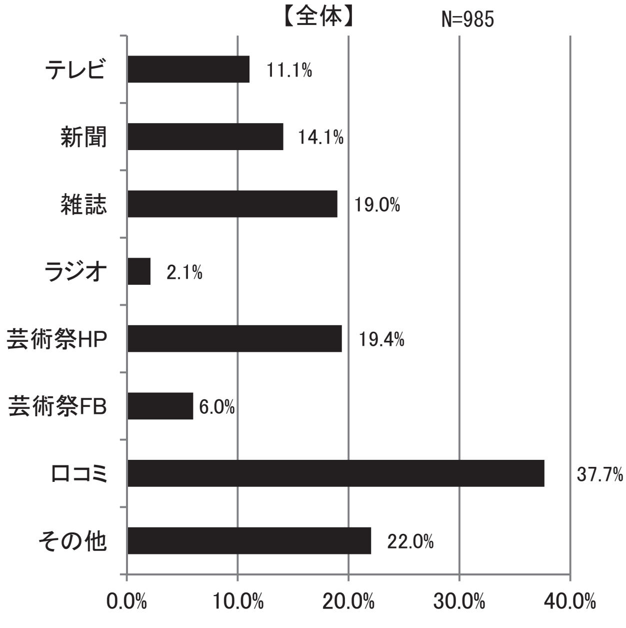


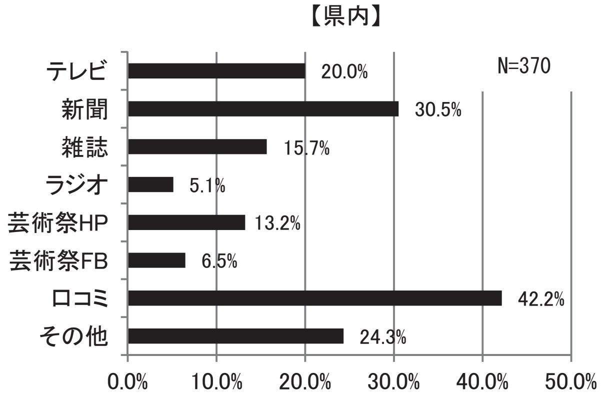


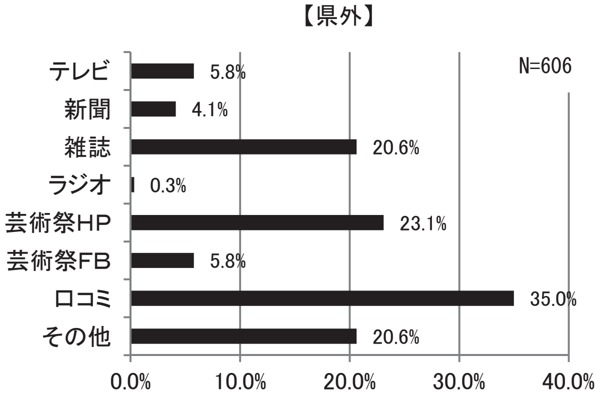


問４　茨城県北芸術祭はどのようにしてお知りになりましたか。（複数回答）

情報入手手段	全体	県内	県外
テレビ	109 人 (11.1%)	74 人 (20.0%)	35 人 (5.8%)
新聞	139 人 (14.1%)	113 人 (30.5%)	25 人 (4.1%)
雑誌	187 人 (19.0%)	58 人 (15.7%)	125 人 (20.6%)
ラジオ	21 人 (2.1%)	19 人 (5.1%)	2 人 (0.3%)
芸術祭の HP	191 人 (19.4%)	49 人 (13.2%)	140 人 (23.1%)
芸術祭の FB	59 人 (6.0%)	24 人 (6.5%)	35 人 (5.8%)
家族・知人等からの口コミ	371 人 (37.7%)	156 人 (42.2%)	212 人 (35.0%)
その他	217 人 (22.0%)	90 人 (24.3%)	125 人 (20.6%)

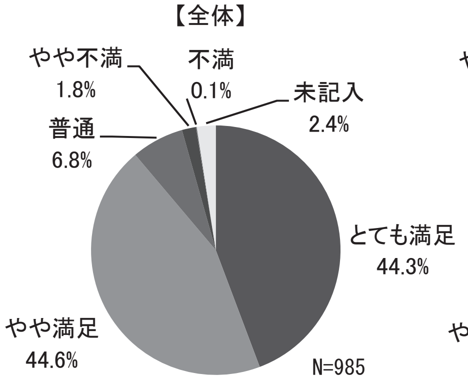


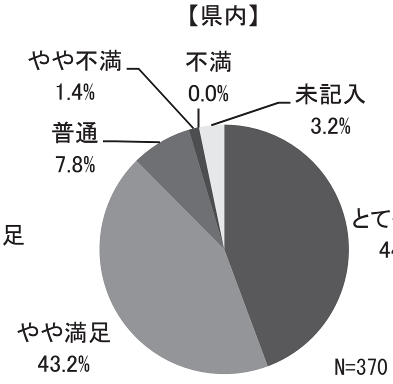


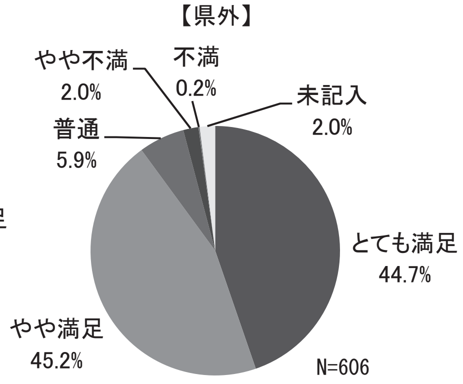


問５　茨城県北芸術祭を鑑賞された感想を教えてください。

満足度	全体	県内	県外
とても満足	436 人 (44.3%)	164 人 (44.3%)	271 人 (44.7%)
やや満足	439 人 (44.6%)	160 人 (43.2%)	274 人 (45.2%)
普通	67 人 (6.8%)	29 人 (7.8%)	36 人 (5.9%)
やや不満	18 人 (1.8%)	5 人 (1.4%)	12 人 (2.0%)
不満	1 人 (0.1%)	0 人 (0.0%)	1 人 (0.2%)
未記入	24 人 (2.4%)	12 人 (3.2%)	12 人 (2.0%)
回答数	985 人	370 人	606 人



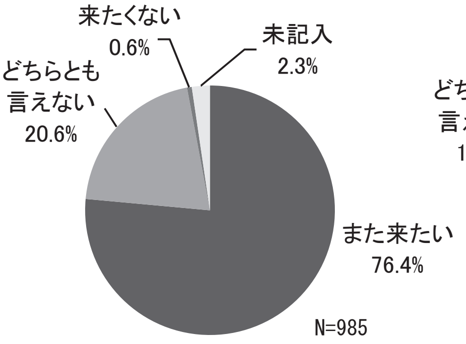




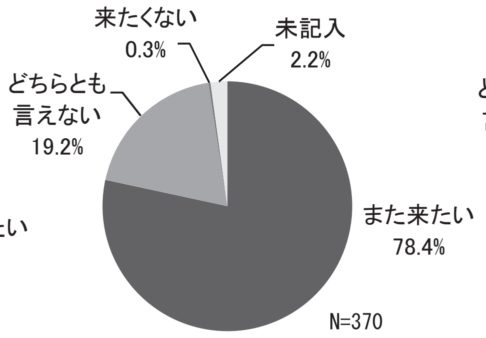
問６　最後に、次回、茨城県北芸術祭を開催するとした場合、また来たいですか。

再訪意向	全体	県内	県外
また来たい	753 人 (76.4%)	290 人 (78.4%)	459 人 (75.7%)
どちらとも言えない	203 人 (20.6%)	71 人 (19.2%)	127 人 (21.0%)
来たくない	6 人 (0.6%)	1 人 (0.3%)	5 人 (0.8%)
未記入	23 人 (2.3%)	8 人 (2.2%)	15 人 (2.5%)
回答数	985 人	370 人	606 人

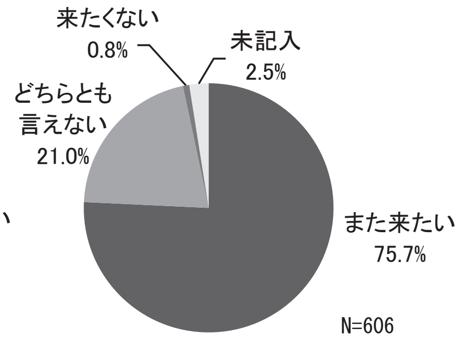
【全体】



【県内】



【県外】



※居住地未記入の方がいるため、「県内」と「県外」の合計は、「全体」と一致しません。

その他、ご意見、ご感想がございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述。以下、回答より抜粋）

（好意的な意見）

- 今まで、一度も来たことがなかったのですが、想像以上に魅力のある街だと感じました。今度はツアーではなく個人でゆっくり来たいと思います。（東京・20代・女性）
- 茨城の海がここまで素晴らしいとは思いませんでした。茨城、今までバカにしててごめんなさい！！山の紅葉も美しかったのでまた遊びにきます。（東京・30代・女性）
- 訪問前は茨城のイメージがつかめなかったが、自然の多い、美しいところという印象をもった。（愛知・40代・女性）
- 近くに住んでいてもなかなか来られなかったので、今回は良い機会でした。（県内・50代・女性）
- 規模が想像以上に大きく、たくさんのアートと自然を満喫することができた。とても美しい県でした。ツアーではガイドさんから、もっと地元の話、芸術祭の裏話等、聞いてみたかった。（東京・30代・女性）
- 地元の住民としては、たくさんの人に来ていただいて、うれしく思います。それぞれの地域での作品なので、どの作品も愛着がわきました。（県内・50代・女性）
- 何の変哲もない田舎の街に新しい風が入ってきているようでうれしい。（神奈川・30代・女性）
- 各所のスタッフの方々の物腰がやわらかく気持ちよく観て回れました。（千葉・60代以上・女性）
- チームラボの作品は時間が足りないと思う程、充実していた。その他の作品は茨城の知らない所へ沢山行けたので満足。（大阪・30代・女性）
- 過疎化の印象が強い県北ですが、このような取り組みで活性化されるといいと思う。（県内・30代・男性）
- 茨城県北地域に来たのは初めてですが、自然も残っており、また地域独自に育まれてきた文化も感じられました。（宮城・30代・男性）
- 作品よりもまわりの環境が良く、自然や古い建物自体に感動しました。（県内・30代・男性）
- 県北の多様性（地形、地勢、自然、歴史、文化など）をこの芸術祭で初めて知ることができました。県北のイメージがすっかり変わり、奥深い魅力的な地域に変わりました。芸術祭のコンセプトが

きちんと練り上げられていて、それを実現可能にした地域の様々な方々の活力を大変感じました。（東京・50 代・男性）

・既存の建物や自然を利用し調和した作品が多く、他地域では成し得ない芸術祭だったと思う。（千葉・60 代以上・男性）

・交通の不便なところにある作品が多いので、ダイジェストツアーがあるのは助かった。（東京・30 代・女性）

・以前から訪れてみたいと思っていた観光地をアート鑑賞もできるツアーで回ることができて公共交通機関利用者としてはありがたかったです。（県内・40 代・女性）

（課題・改善要望等）

・リーフレット等がもう少し充実しているといいと思います。（千葉・30 代・女性）

・１ヶ所あたりの滞在時間が短く、チームラボの所では行列ができている作品があったため、全ては見られなかった。ツアーの出発時間を早くするか、あと１ヶ所回る所を減らすとかして見学時間を長めに取ってほしい。（東京・30 代・女性）

・少々残念だったのは、ツアーバスの中での昼食でした。山道走行中の食事は食べづらさがありました。またその土地のものを食べられると良いなと思いました。（東京・30 代・女性）

・非常に広域でやっているため、交通手段を充実させてほしい。（神奈川・30 代・男性）

・地元の名産品などをもっと知りたかった。（東京・30 代・女性）

・２日つづけて同じお弁当でした。（東京・50 代・男性）

・作品はよかったが、ホスピタリティがよくない。バスの運転手が雑。（東京・40 代・女性）

・作品鑑賞に時間がかかり、時間が足りなくなることが多かった。（静岡・20 代・男性）

・東京からのバスツアーが増えるとうれしい。茨城までの移動がなかなか大変。（東京・40 代・男性）

・バスツアー自体は満足ですが、申込みの手続きの悪さ（ネットでは空き情報があるのに電話すると埋まっている。電話対応の悪さなど）には不満でした。（不明・30 代・男性）

・バスツアーでは地元料理を食べたかった。町の紹介があると良い（ガイドさん）。これらは芸術祭の目的のひとつ。（県内・60 代以上・男性）

・この芸術祭が継続し、当地域が発展してほしい。山と海そして文化、アートがあるのにそれを活かしきれていない。芸術祭をきっかけに県北全体及び各市町は地域のブランディングを考えるべき。（千葉・50 代・男性）

・運行が小型バスで少し窮屈でした。（県内・60 代以上・男性）

■　事業者アンケート結果

【アンケート実施概要】

実施期間　平成28年11月21日～12月６日

対 象 者　茨城県北芸術祭作品鑑賞パスポート優待制度及び KENPOKU セレクション参加事業者(229件)

内訳：日立市30件、常陸太田市26件、高萩市24件、北茨城市31件、常陸大宮市19件、大子町50件、６市町以外49件

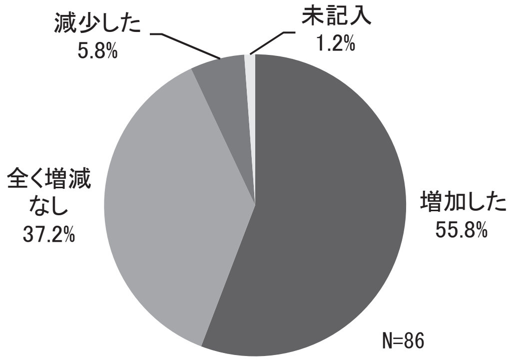
実施方法　上記対象者に対してメール・郵送・FAXで回答を依頼し、調査票(メール・郵送・FAX)を回収。

回収件数　86件(回収率37.6%)

内訳：日立市12件、常陸太田市12件、高萩市14件、北茨城市10件、常陸大宮市３件、大子町18件、６市町以外17件

問１　茨城県北芸術祭会期中の営業実績・売上は、前年の同時期に比べて、増減がありましたか。

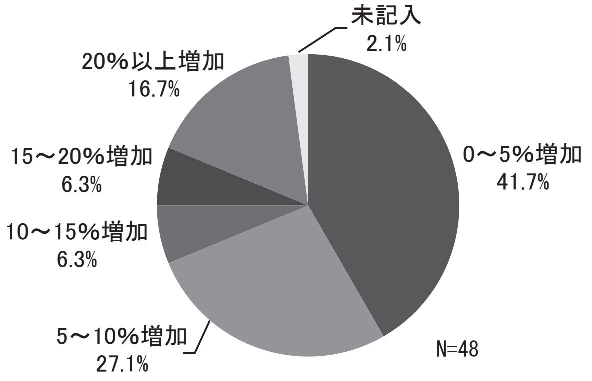
回答	人数	割合
増加した	48人	55.8%
全く増減なし	32人	37.2%
減少した	5人	5.8%
未記入	1人	1.2%
回答数	86人	100.0%



問２　(問１で「増加した」または「減少した」と答えた方)増減の割合はどの程度ありましたか。

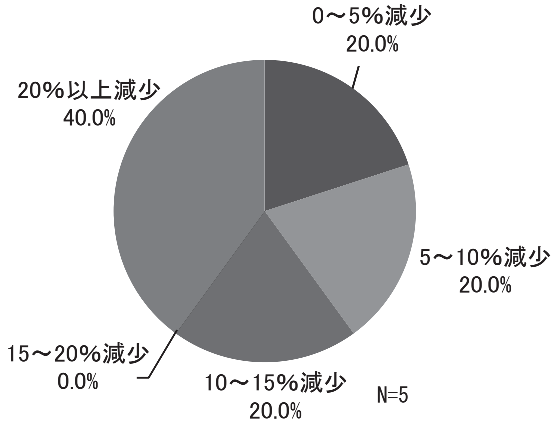
・「増加した」と答えた方

回答	人数	割合
０～５%増加	20人	41.7%
５～10%増加	13人	27.1%
10～15%増加	3人	6.3%
15～20%増加	3人	6.3%
20%以上増加	8人	16.7%
未記入	1人	2.1%
回答数	48人	100.0%



・「減少した」と答えた方

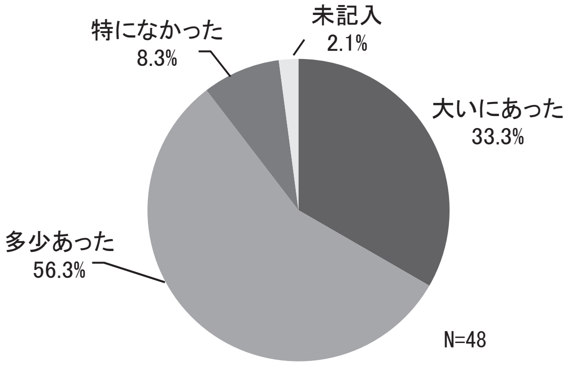
回答	人数	割合
０～５%減少	1人	20.0%
５～10%減少	1人	20.0%
10～15%減少	1人	20.0%
15～20%減少	0人	0.0%
20%以上減少	2人	40.0%
回答数	5人	100.0%



問３　（問１で「増加した」または「減少した」と答えた方）営業実績・売上の増減には、芸術祭の効果（影響）があったと考えていますか。

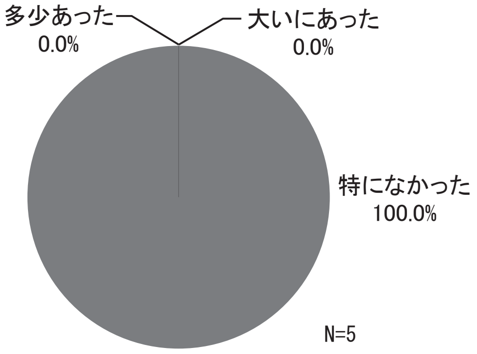
・「増加した」と答えた方

回答	人数	割合
大いにあった	16 人	33.3%
多少あった	27 人	56.3%
特になかった	4 人	8.3%
未記入	1 人	2.1%
回答数	48 人	100.0%



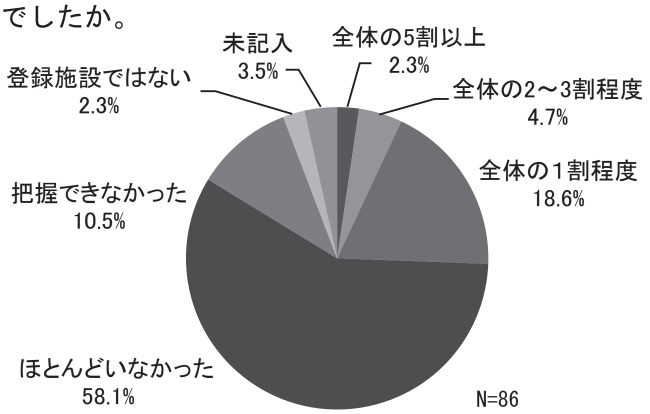
・「減少した」と答えた方

回答	人数	割合
大いにあった	0 人	0.0%
多少あった	0 人	0.0%
特になかった	5 人	100.0%
回答数	5 人	100.0%



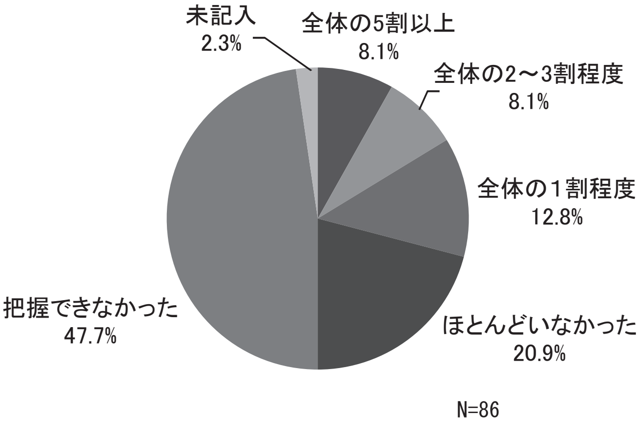
問４　「作品鑑賞パスポート優待制度」を利用されたお客様及び「KENPOKU セレクション」商品を購入されたお客様の割合は、全体のおよそ何割程度でしたか。

回答	人数	割合
全体の５割以上	2 人	2.3%
全体の 2～3 割程度	4 人	4.7%
全体の１割程度	16 人	18.6%
ほとんどいなかった	50 人	58.1%
把握できなかった	9 人	10.5%
登録施設ではない	2 人	2.3%
未記入	3 人	3.5%
回答数	86 人	100.0%



問５　芸術祭期間中に来られた県外からのお客様の割合は、全体のおよそ何割程度だったでしょうか。

回答	人数	割合
全体の５割以上	7 人	8.1%
全体の 2～3 割程度	7 人	8.1%
全体の１割程度	11 人	12.8%
ほとんどいなかった	18 人	20.9%
把握できなかった	41 人	47.7%
未記入	2 人	2.3%
回答数	86 人	100.0%

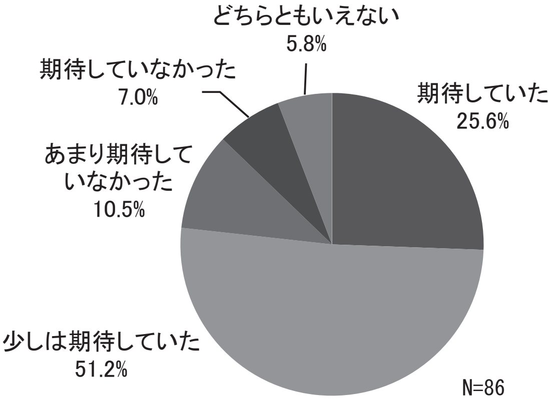


問６　茨城県北芸術祭会期中の、施設の売り上げ、集客状況などに特筆すべきこと（お気づきの点）がありましたら、ご記入ください。（自由記述。以下、回答より抜粋）

・集客状況は良かったが、パスポート優待客が少なかった。（飲食業）
・宿泊のお客様は特に増加なし、店舗・飲食施設での集客は多少見受けられた程度。（宿泊業）
・パスポートのスタンプ目的の方がほとんどで利用してもらえなかった。（観光施設）
・たくさんの方に来ていただいたので、売上も増加した。これを機会に当店の商品を知ってもらうためにたくさん試食してもらい、PR に努めた。（小売業）
・色々とお話もできたが、茨城県のアピール不足を感じた。すごく良い物とお客様は言っていた。（飲食業）
・パスポート付宿泊プラン利用者が思った以上に多かった。割引クーポンの効果は大きい。（宿泊業）
・日帰りの人が多く、宿泊施設、特産物等の売上は思っていたほどの売上なし。利用者が多かったのは会場の付近で、それ以外まで来る客は少ない。（宿泊業）
・ガイドブックを見て来られたお客様が多かった。（飲食業）
・自店の場合は、「パスポート持参の方にプレゼント」ということだったので、それだけもらいに来た人が 10 人くらいであった。1,000 円以上（のお買上げ）でとしたら 2～3 人だったのでは。（小売業）
・２か月間の土日だけのオープンだったが、売上は大幅に増加した。お土産をたくさん紹介することができた。（小売業）
・芸術祭を見に来ているお客様が公園施設を散策している様子がうかがえた。（観光施設）
・県外、特に、隣接する栃木や福島からもっと訪問されてもよかったのではないか。（小売業）
・芸術祭での観光客（若い方 20 代）、パスポート利用者が多かった。（小売業）
・五浦美術館の反響により、売上が上がった。（飲食業）

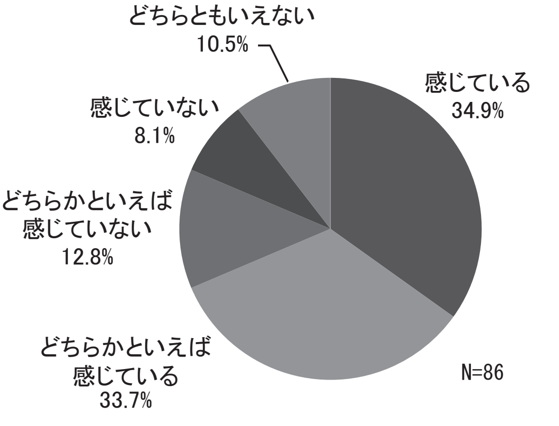
問７　芸術祭の開催前、芸術祭が地域活性化（賑わい創出、交流の拡大など）に役立つ（効果がある）と期待していましたか。

回答	人数	割合
期待していた	22 人	25.6%
少しは期待していた	44 人	51.2%
あまり期待していなかった	9 人	10.5%
期待していなかった	6 人	7.0%
どちらともいえない	5 人	5.8%
回答数	86 人	100.0%



問８　芸術祭が終わった現在、芸術祭が地域活性化（賑わい創出、交流の拡大）に役立った（効果があった）と感じていますか。

回答	人数	割合
感じている	30 人	34.9%
どちらかといえば感じている	29 人	33.7%
どちらかといえば感じていない	11 人	12.8%
感じていない	7 人	8.1%
どちらともいえない	9 人	10.5%
回答数	86 人	100.0%

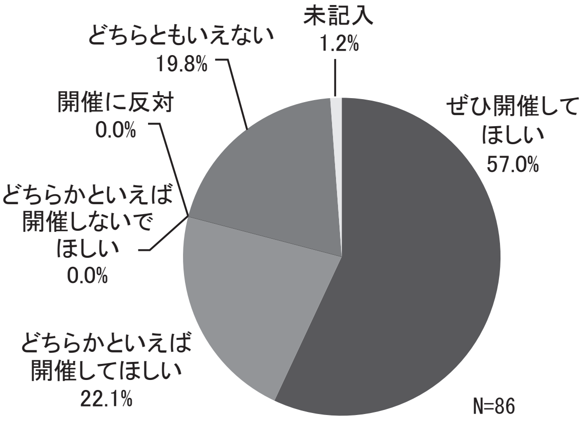


問９　問７及び問８の回答の理由等がありましたら、ご記入ください。（自由記述。以下、回答より抜粋）

・効果はあったと思う。たくさん人も来る中でおみやげ、施設利用は多少あったし、食事もしてもらえたとは思う。（観光施設）
・街を見ていただき、これを機会にまた来たいというお客様はたくさんいた。（小売業）
・茨城を知ってもらうために良いと思う。車じゃないと移動ができないのが、残念。すごく良かったと思う。（飲食業）
・人通りの少なくなる土曜日、祝日に人出が増えたことは、芸術祭開催によるものであることは明らかであった。（飲食業）
・芸術祭があったから、この地域に来てくれた人もいれば、多分行かないだろう地域に行ってみたということはあると思う。そこで人はいろいろな事に出会い、発見もあったと思う。（小売業）
・県内のお客様でも、芸術祭の話が出たり、市内の活性化にはよかったと思う。（宿泊業）
・普段、観光客が来ない場所に人が来た。（宿泊業）
・作品鑑賞パスポートを見ると沢山ハンコが押してあり、各方面へ人が動いているのが良くわかったし、普段閑散としている町中も、休日に出かけると沢山の人が歩いていた。（観光施設）
・２か月の間、毎日（特に、土日は）沢山のお客様が来てくれた。（飲食業）
・当施設への来場者は僅少であったので、施設毎に差が生じたと感じられる。（観光施設）
・芸術祭を目的としたお客様も多かったが、知らない方も多く、メディアの宣伝などを開催前からもう少し行なってもよかったと思う。（宿泊業）
・商店街にアート作品がない地域では、街の中を回遊している方をほとんど見かけなかった。（小売業）
・芸術祭そのものに関しての魅力度は存分にあり大成功だが、個々の開催地が継続性を持つ魅力創生の土台として連動したとは言い難いところもある。（食品製造業）
・開催される前までは、どの程度の来県・来場者があるものかまったく予想できずにいたが、マスメディア等々の報道で、かなりの来場があったと知った。（小売業）

問 10　芸術祭の次回の開催の是非、どのようにお考えですか。

回答	人数	割合
ぜひ開催してほしい	49 人	57.0%
どちらかといえば開催してほしい	19 人	22.1%
どちらかといえば開催しないでほしい	0 人	0.0%
開催に反対	0 人	0.0%
どちらともいえない	17 人	19.8%
未記入	1 人	1.2%
回答数	86 人	100.0%



問 11　芸術祭に対するご意見・ご感想がありましたら、ご記入ください。（自由記述。以下、回答より抜粋）

・宣伝や会場への動線作りに工夫が必要と感じた。具体的には、前夜祭の参加者が少なく、内向き（市内の人向け）のアピールが足りないように感じた。周遊ルートの案内がなく、周囲にどんな会場・作品があるかわからないようだった。（飲食業）
・県外への広報、周知徹底をしてほしい。（小売業）
・会場があまりに広く１日では回り切れないとの声があった。海山を交代で実施した方がよいと思う。芸術祭が地域の活性化になったことは事実。継続することが必要だと思う。（小売業）
・街の中を回遊するような位置にアート作品を展示してもらいたい。（小売業）
・この様なイベントは少ないので、また実施して欲しい。もう少し PR 手法を考えてほしい。（飲食業）
・すばらしい内容の作品の数々。もう少し開催期間を長くして欲しかった。又、県北とはいえ広範囲なので、海バージョン、山バージョンの開催でもよかったと思う。又、事前の PR、告知が遅く非常に残

念。この２か月間、大変、県北の活性化になった。是非、定期的な芸術祭開催を強く希望する。（宿泊業）

・会場に来てくれたお客様の声として、①場所が分かりにくい、②移動に時間が掛かりすぎる、③案内を増やしてほしい、という要望があった。まだまだ関心が薄い。もっと地域の人に関心をもってもらいたいと思った。今回限りではもったいないと思う。（小売業）

・開催地の盛り上がりが分からなかった。開催地にいなかったのでどのようなパンフレットだったか分からなかった。せめてパスポート優待制度に参加している所にだけでもパンフレットがほしかった。（小売業）

・来場者が県内の人だけでは意味がない。県外から来てこそ開催する意味がある。（小売業）

・次回の開催を希望するが、企画段階での意見交換をもう少しお願いしたい。（小売業）

・オリンピックの様に４年に１回など、間隔を空けて開催した方が良いと思う。（小売業）

・開催には賛成だが、11 月の繁忙期は避けてほしい。説明に時間が掛かり、他のお客様に迷惑をかけてしまった。アートに触れるいい機会だったと思う。今回出た反省点など、改善し、次回にも生かしてほしい。（前売券を）パスポートに交換できる場所が少ない。開催内容の説明をわかりやすく。（観光施設）

■　サポーターアンケート結果

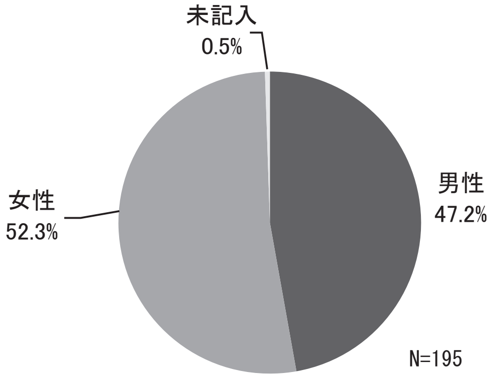
【アンケート実施概要】

実施期間　平成 28 年 12 月 14 日～12 月 25 日
対 象 者　茨城県北芸術祭サポーター登録者(897 件)
（個人登録者 556 人、企業・団体・高校の団体登録者 341 人(抽出)）
実施方法　上記対象者に対し、メール・郵送・FAX で回答を依頼。いばらき電子申請・届出サービスまたは調査票(メール・郵送・FAX)により回収。
回収件数　195 件(回収率 21.7%)

問１　あなたの性別・年齢・お住まいについて教えてください。

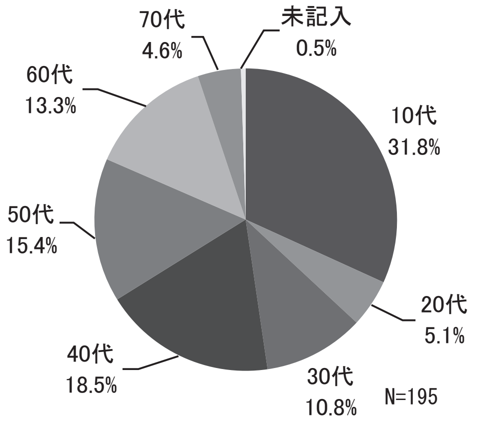
①アンケート回答者の性別

性別	人数	割合
男性	92 人	47.2%
女性	102 人	52.3%
未記入	1 人	0.5%
回答数	195 人	100.0%



②アンケート回答者の年齢

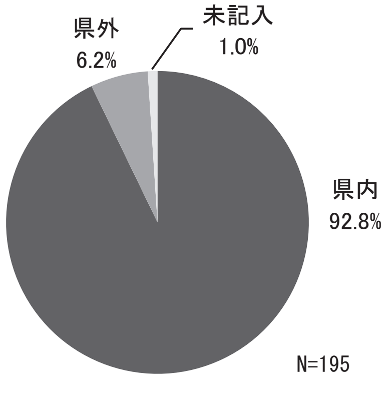
年齢層	人数	割合
10 歳代	62 人	31.8%
20 歳代	10 人	5.1%
30 歳代	21 人	10.8%
40 歳代	36 人	18.5%
50 歳代	30 人	15.4%
60 歳代	26 人	13.3%
70 歳代以上	9 人	4.6%
未記入	1 人	0.5%
回答数	195 人	100.0%



③アンケート回答者のお住まい

居住地	人数	割合
県内　※	181 人	92.8%
県外	12 人	6.2%
未記入	2 人	1.0%
回答数	195 人	100.0%

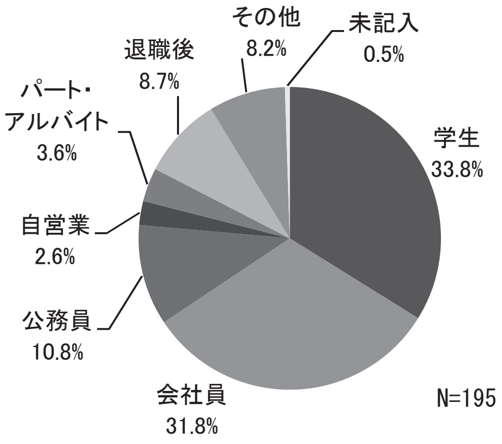
※県内のうち県北地域居住者の内訳（111）
… 日立市(33)、常陸太田市(15)、
高萩市(7)、北茨城市(27)、常陸大宮市(24)、
大子町(5)



問２　あなたの職業について教えてください。

職業	人数	割合
学生	66 人	33.8%
会社員	62 人	31.8%
公務員	21 人	10.8%
自営業	5 人	2.6%
パート・アルバイト	7 人	3.6%
退職後	17 人	8.7%
その他 ※	16 人	8.2%
未記入	1 人	0.5%
回答数	195 人	100.0%

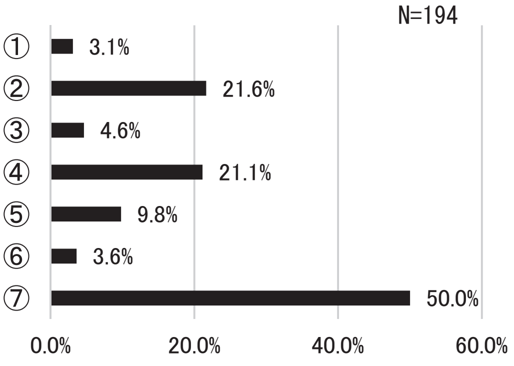
※その他 ･･･ 主婦(10)、団体職員(1)、医師(1) 等



問３　サポーター募集情報をどのようにしてお知りになりましたか(複数回答)。

情報入手手段	人数	割合
① 新聞	6 人	3.1%
② 芸術祭ホームページ	42 人	21.6%
③ 芸術祭フェイスブックページ	9 人	4.6%
④ 友人・知人から	41 人	21.1%
⑤ チラシ	19 人	9.8%
⑥ 行政広報紙	7 人	3.6%
⑦ その他 ※	97 人	50.0%

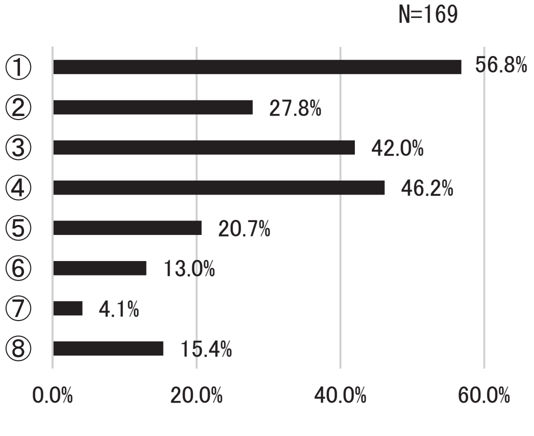
※その他 ･･･学校・部活動から(51)、 職場から(28) 等



問４　サポーターに登録しようと思った理由は何ですか(複数回答)。

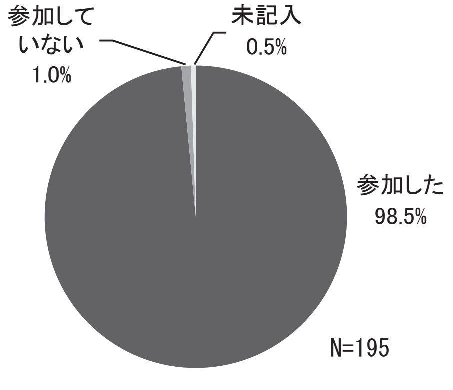
登録理由	人数	割合
① 茨城県北芸術祭に関心があった	96 人	56.8%
② 現代アートに関心があった	47 人	27.8%
③ ボランティア活動に関心があった	71 人	42.0%
④ 地域に貢献したかった	78 人	46.2%
⑤ 色々な人と交流したかった	35 人	20.7%
⑥ 友人・知人に誘われて	22 人	13.0%
⑦ 自分の特技を生かしたかった	7 人	4.1%
⑧ その他 ※	26 人	15.4%

※その他 ･･･ 部活動の一環として(4)、会社からの案内(6)、
自身のスキルなどを高めたかった(2)、
興味のあるアーティストの活動があった(1) 等



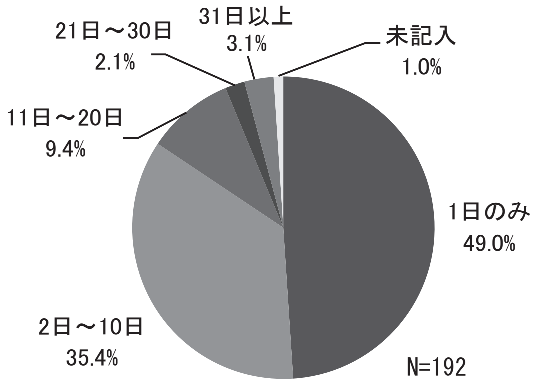
問５　会期前後及び会期中、サポーター活動に参加されましたか。

活動参加の有無	人数	割合
参加した	192 人	98.5%
参加していない	2 人	1.0%
未記入	1 人	0.5%
回答数	195 人	100.0%



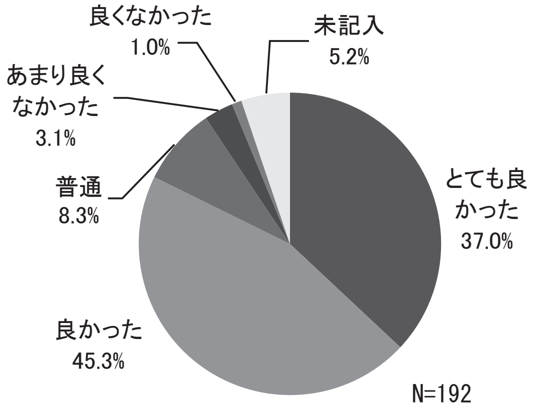
問６　（問５で「参加した」と答えた方）サポーター活動に何日くらい参加されましたか。

活動日数	人数	割合
1 日のみ	94 人	49.0%
2 日～10 日	68 人	35.4%
11 日～20 日	18 人	9.4%
21 日～30 日	4 人	2.1%
31 日以上	6 人	3.1%
未記入	2 人	1.0%
回答数	192 人	100.0%



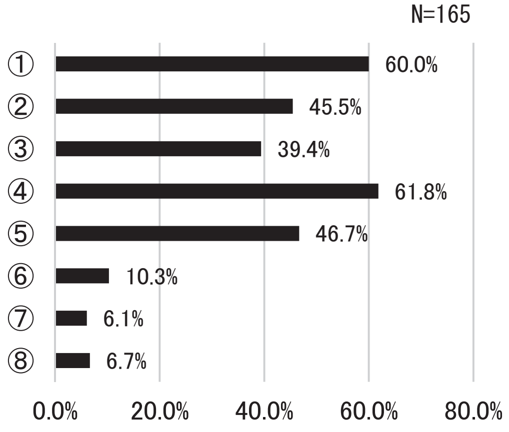
問７　（問５で「参加した」と答えた方）サポーター活動に参加されていかがでしたか。

参加しての感想	人数	割合
とても良かった	71 人	37.0%
良かった	87 人	45.3%
普通	16 人	8.3%
あまり良くなかった	6 人	3.1%
良くなかった	2 人	1.0%
未記入	10 人	5.2%
回答数	192 人	100.0%



問８　サポーター活動について、良かった点があれば教えてください（複数回答）。

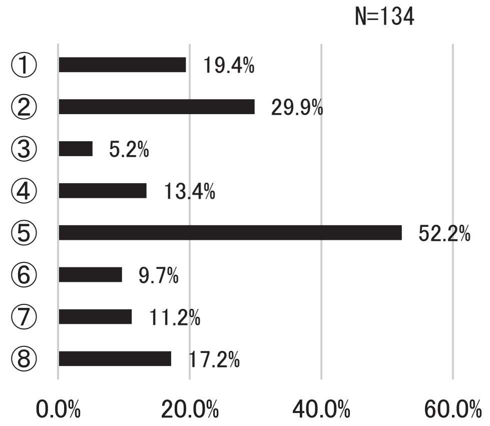
良かった点	人数	割合
①　アートについて知ることができた	99 人	60.0%
②　県北地域について知ることができた	75 人	45.5%
③　県北地域の活性化に貢献できた	65 人	39.4%
④　来場者と交流できた	102 人	61.8%
⑤　サポーター同士で交流できた	77 人	46.7%
⑥　自分の特技や能力を生かせた	17 人	10.3%
⑦　活動に対する報酬が十分だった	10 人	6.1%
⑧　その他　※	11 人	6.7%



※その他 … アーティストと交流できた(5)、作品を近くで観られた(2)、生活に張り合いが持てた(1) 等

問９　サポーター活動について、悪かった点があれば教えてください(複数回答)。

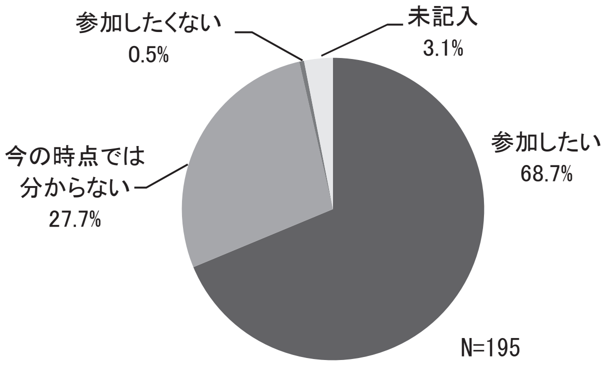
悪かった点	人数	割合
①　作品や企画の内容が難しかった	26 人	19.4%
②　会場までの交通手段が不便だった	40 人	29.9%
③　仕事量が多くて大変だった	7 人	5.2%
④　会場の環境が良くなかった	18 人	13.4%
⑤　活動に必要な説明や情報が不十分だった	70 人	52.2%
⑥　期待していた活動内容ではなかった	13 人	9.7%
⑦　活動に対する報酬が不十分だった	15 人	11.2%
⑧　その他 ※	23 人	17.2%



※その他 … 事務局とサポーターとの連絡体制が不十分(3)、現場のリーダーの指示が不十分・不統一(5)、休憩時間や休憩スペースの環境が良くなかった(1) 等

問 10　次回、芸術祭を開催するとした場合、サポーターとして芸術祭に参加したいと思いますか。

次回開催時の参加意向	人数	割合
参加したい	134 人	68.7%
今の時点では分からない	54 人	27.7%
参加したくない	1 人	0.5%
未記入	6 人	3.1%
回答数	195 人	100.0%



問 11　その他、ご意見・ご感想等がございましたら、ご自由にお書きください。(以下、回答より抜粋)

(好意的な意見)

・「瀬戸内国際芸術祭」や「大地の芸術祭」にボランティア参加していたので、地元で開催されたことはとても嬉しかったです。次回はもっと深く関われたらいいなと思っています。
・普段行くことはない地域が身近に感じられ、お客さんや他のサポーターとの交流も新鮮だった。注意書きを加えたりなど、自ら考え行動できるサポーターさんに学ぶことが多かった。
・作家さんと親しくなったり、自分が作ったものも芸術の一部となっていることにうれしさを感じました。
・現在都内に住んでいる卒業生が芸術祭開催をきっかけに廃校となった母校を訪ねたという人との出会いや、ずっと昔にここで教鞭をとっていた先生が、周りの景色が変わっていないとしみじみと懐かしがっていた光景(その方々との出会いと交流など)が印象的でした。
・県内外の様々なお客様たちやボランティア同士のコミュニケーションが楽しかったです。色々な方たちと触れ合うことで自分の幅がちょっとだけ広がったような、そんな気持ちになることができました。
・高校生ではなかなかできない貴重な経験になりました。学校との兼ね合いもあり、時間の確保が難しかったのですが、広い時間設定でいつでも出入りできる形式はとても助かりました。芸術に興味があり、この芸術祭で様々な触れ合いを通して、より強く将来この世界に関わる仕事がしたいなと思えるきっかけになりました。
・自分の街のことなので、関わりたい。それによって何らかの形で人の役に立てたならうれしい！結局、元の静かな商店街に戻ったが、集めようと思えば人を集めることができるとわかった。さびれる一方ではなく自分たちの努力次第だと思った。

・県南の遠方から、毎週末のようにサポーター活動に参加している人がいて、このような人がいてこそ、この芸術祭が成り立っているのだろうなと感じました。参加回数が増えるにつれて、この会場のことは私たちに任せてという感じで、積極的に活動していたことが印象に強く残っています。
・私はサポーター活動に 10 月半ばから参加しましたが、準備やプレイベントなどから参加していた方々は思い入れやサポーター同士の絆も強く感じました。なので、次回開催の際は最初から周りの友達も巻き込んで県北を盛り上げていきたいです。
・日頃、家にいることが多いのですが、県北アートの期間中は外に出て、沢山の方達と様々なお話ができて楽しい毎日でした。県外に住んでいる親戚や家族を招待して楽しい時間を過ごすことができました。繰り返し開催するなら又サポートしたいと思います。
・会期が進むにつれ、「この行事に関わる誰もが主人公」という雰囲気に包まれていったことに好感を持ちました。
・高校生サポーターが、高齢者のサポーターの方と交流できたのはよかったと思います。

（課題、改善・要望等）
・現場監督者が毎回違うのは、要領が悪いと思う。相当の時間が経ってからでも責任者が未経験者だと、ボランティアで入る側としては正直何かあったときに困ったと思う。
・初めてサポーター活動をするときはとても緊張しました。勝手が分からないサポーター同士が集まると不安です。組んだ相手の方がリーダー性があってよかったと思いました。
・より詳しい作品の解説が欲しかった。自身の下調べも不足していたが、お客さんの知的好奇心を満たすことができる受け答えがしたかった。
・作品につい触ろうとしてしまう現場（旧家和楽青少年の家（体育館））は、お客さんに注意ばかりしてしまい、つらかった。
・初日に参加した時は、作品の準備方法について誰も分からず、セッティングが終わらないうちにお客様が来てしまいました。その作品自体は、他の所でもすでに展示されていたものだっただけに、なぜきちんとマニュアルを作成し、皆に情報共有しなかったのか、甚だ疑問です。
・他のボランティアとの交流が少なかったのが少し残念。次回の事を考えると、交流の中から仲間を増やせればと思う。
・作品看視スタッフは、半日とか準備や片付けの時だけとか、フレキシブルな時間で出来ればいいのにと思いました。
・作品看視スタッフ向けの作品解説を用意して欲しかったです。作家さんの意図することとか、解説のポイントなどが分からず、来場者に間違ったことを話したかもと思ったこともありました。
・会場の環境がまったくわからず、一日中寒風の中にいて体調を崩してしまった。サポーターに対して集合場所や時間以外にもっと具体的に食事の場所とか会場ごとの仕事の内容とかの説明がほしかった。
・移動手段がほとんど個人的な車に頼る内容であり、次回の開催時は公共機関の充実を求めます。
・オープンが毎回バタバタ。開場時間を過ぎてもバタバタで来場者に「まだ開かないの？」と聞かれたが、（ボランティア以外のスタッフはセッティングに夢中で、受付には）ボランティア２人しかおらず、ボランティアだけで謝ったこともある。
・サポーター参加日程調整のメールが五月雨式に来ていたので、わかりにくいと言っているサポーターの方がおりました。システム化されていれば、参加者も取りまとめ担当者もラクができたかなと思いました。
・主催者は、サポーターは単なるボランティアではなくスタッフの一員（パートナー）だという意識・認識を持つことが大切であると思います。例えば、毎日のオープン前の準備や清掃・片付け等も一緒に共に行うことが、さらに素晴らしい芸術祭につながると思います。

２　作品鑑賞パスポート優待施設一覧

○　観光・レジャー(24 件)

施設	住所	特典
海づくしの湯 はぎ屋旅館	日立市水木町 1-1-15	日帰り入浴料 100 円引き（本人のみ、他サービス併用不可）
日立かみねレジャーランド	日立市宮田町 5-2-22	入園料無料
日立市角記念市民ギャラリー	日立市弁天町 1-3-11	茨城県北芸術祭応援事業[うみやまﾌｫﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ]200 名に特製しおりプレゼント
五浦観光ホテル	北茨城市大津町 722	日帰り入浴割引　大人 1,000 円→ 800 円 小人　 500 円→ 400 円（小学生）
あんこうの宿 まるみつ旅館	北茨城市平潟町 235	日帰り入浴代半額（500 円→ 250 円）
ふるさとセンター竜っちゃん乃湯	常陸太田市天下野町 1629	入浴料 100 円引き
SUNNY SUNDAY	常陸太田市東一町 2295-2	店内全商品 5%OFF
ごぜんやま温泉｢四季彩館｣	常陸大宮市長倉 407-2	ウエルカムドリンク(ゆずジュース)サービス
紙のさと 和紙資料館	常陸大宮市舟生 90	お買い物精算時に 10%割引き
美容室 クリップ	大子町頃藤 669-1	ヘッドスパ 500 円引き　通常 3,500 円→ 3,000 円（ヘッドスパ単品ご利用の場合）
奥久慈茶の里公園	大子町左貫 1920	和紙人形美術館入館料 50 円引き
多目的温泉プール フォレスパ大子	大子町浅川 2921	入場料 100 円引　大人 800 円→ 700 円 子供 500 円→ 400 円 幼児 300 円→ 200 円
袋田の滝トンネル	大子町袋田	入場料金割引　大人 300 円→ 200 円 子供 150 円→ 100 円 団体大人 150 円　子供 50 円
袋田温泉 関所の湯	大子町袋田 2642-7	入浴料金 100 円引き（大人のみ･5 名まで）
湯治の宿 ラジウム温浴 河鹿園	大子町袋田 2129	日帰り入浴された方にお菓子プレゼント
根本駐車場	大子町袋田 159	駐車料金 100 円引き　1 回 500 円→ 400 円
大子おやき学校	大子町槙野地 2469	おやき体験料 1 割引き
大子温泉 やみぞ	大子町矢田 524-2	日帰り入浴のお客様に、当館名入りタオルプレゼント
大子温泉保養センター 森林の温泉	大子町矢田 15-12	入浴料金 100 円引き　大人 700 円→ 600 円 子供 350 円→ 250 円
道の駅奥久慈だいご	大子町池田 2830-1	温泉入浴料 100 円引き　大人 500 円→ 400 円 子供 300 円→ 200 円
JA常陸大子町りんご部会	大子町池田 1267-1　JA 常陸大子営農経済センター	JA 常陸大子町りんご部会加盟のりんご園の入園料 100 円引き(対象店舗は、電話にてお問い合わせください。)
水戸御老公の湯	水戸市小吹町 2624-1	入浴入館料 200 円割引き
製陶ふくだ	笠間市下市毛 754	陶芸教室代金 10%割引き
茨城県フラワーパーク	石岡市下青柳 200	入園料を大人 740 円→ 600 円　小人 370 円→ 300 円

○　飲食(96件)

施設	住所	特典
ひたち南ドライブイン 一平鮨	日立市大和田町 2173	お食事 500 円以上お召し上がりのお客様に、回転寿司一平鮨板前おすすめの 1 皿サービス
蕎麦処 まち庵	日立市幸町 1-1-3	ソフトドリンク、グラスビール、ミニデザートのいずれか 1 つプレゼント
イタリア家庭料理 ベイカナーズ	日立市幸町 1-15-6	ソフトドリンク(コーヒーを含む)かハウスワイン 1 杯サービス
さくらカフェひたち	日立市幸町 1-15-9	ミニドリンク一杯サービス
じぇんとる麺	日立市幸町 2-6-12	ソフトドリンク一杯サービス
国民宿舎｢鵜の岬｣ レストランしおさい	日立市十王町伊師 640	昼食時パスポート 1 部につきソフトドリンク 1 本サービス(土・日・祝　除く)
Cafe. Cream	日立市千石町 1-11-21	ランチプレートのドリンクをお好きな飲物に変更できます
ステーキハウス 白耳蟻館	日立市千石町 2-7-7	お食事の方にアイスクリーム 1 つサービス
DigitalDish	日立市千石町 1-11-21	コーヒー 100 円引き
新富鮨	日立市多賀町 1-19-9	お会計時に 5%割引き(現金でのお会計のみ)
吉田正音楽記念館 展望カフェ	日立市宮田町 5-2-25	ケーキをご注文の方には、セットドリンク 1 杯サービスします
パティスリーましぇり	日立市本宮町 4-1-10	税抜き 2,000 円以上購入の方に、くまドレーヌ(ショコラ又はプレーン)をプレゼント

施設	住所	特典
やっこ鮨	高萩市秋山 890-14	粗品サービス
珈琲館 美留区	高萩市春日町 1-19	店内でお食事のお客様 10%割引き
和食 かさいな亭	高萩市春日町 2-49	飲み物注文の方に手作りお通しサービス
旨いとんかつ カツレツ亭	高萩市春日町 2-71	ご飲食の方にコーヒー又はオレンジジュースサービス
高萩「萩の茶屋」	高萩市上手綱 2337-1	お食事の方にソフトドリンクサービス
カフェレストラン ラ・フォレ	高萩市上手綱 430-3	食事された方に記念品プレゼント(先着 200 名)
蔦屋	高萩市下手綱 1493	お食事をご注文の方、ソフトドリンク又はバニラアイスをサービス
詩恵里館	高萩市高浜町 2-112-2	セットメニューご注文の方　コーヒー１杯サービス ランチセットはコーヒーもう１杯
たつごそば店	高萩市高浜町 3-9	そば・うどんの注文に限り 50 円引き(セットメニューはできません)
麺めん亭	高萩市東本町 2-4	セットメニュー及び定食注文の方、ソフトドリンク一杯サービス
(有)四季彩館	高萩市東本町 2-73-2	飲食された方にワンドリンクサービス
沖縄料理 喜音	高萩市本町 3-100	来店者各自にソフトドリンクと、飲食代金総額から 10%割引き
道しるべ	高萩市高戸 281-5	ﾊﾝﾊﾞｰｸﾞｾｯﾄ＋ﾄﾞﾘﾝｸを 1,000 円、ﾋﾞｰﾌｼﾁｭｰｾｯﾄ＋ﾄﾞﾘﾝｸを 1,200 円でご提供
和味	北茨城市磯原町磯原 1-181	飲みものサービス(ワンドリンク)
らーめん古潭 磯原店	北茨城市磯原町磯原 1-204 山二ビル１F	次回使える餃子無料券
カフェ・ミュゼ	北茨城市磯原町磯原 1215-3	1,000 円以上お召し上がりの方に記念品プレゼント
自然食レストラン パンプキン	北茨城市磯原町磯原 1-222	ソフトドリンクサービス
としまや月浜の湯	北茨城市磯原町磯原 200-3	ラウンジご利用の方 8%割引
北茨城市役所食堂 マリーンランチ	北茨城市磯原町磯原 1630	デザート一品サービス
秀寿司	北茨城市磯原町本町 1-3-1	ソフトドリンク１杯サービス
いそすし 磯鮨	北茨城市磯原町本町 3-3-1	焼魚(メヒカリの一夜干し)のサービス
レストラン マルサーラ	北茨城市大津町五浦 2-164	お食事された方へ手作りデザート１個プレゼント
食彩 太信	北茨城市大津町北町 2-5-18	ソフトドリンク一本サービス
カフェテリア カメリア 茨城県天心記念五浦美術館内	北茨城市大津町椿 2083	お食事されたお客様に限り、ドリンク 50 円引きサービス
やま都うどん	北茨城市中郷町下桜井 974	次回入店時の 300 円割引券プレゼント
おふくろ弁当 中郷本店	北茨城市中郷町下桜井 974	手作りみそ汁をお弁当個数分サービス
あんこう研究所	北茨城市平潟町 235	あんこうコラーゲンスープ１杯サービス(1 人につき 1 杯)
浜庄	北茨城市平潟町 1482-2	お食事代 50 円引き
西金砂そばの郷 そば工房	常陸太田市赤土町 2408	お食事代 50 円引き(パスポート１枚につき)
金砂庵	常陸太田市上宮河内町 321-1	お食事代 50 円引き(1 名)
ダイニング そばの実	常陸太田市大方町 1695-5	おそば注文の方、ちくわの天ぷらサービス
手打そば処しま祢	常陸太田市大里町 3852-1	麦茶サービス・にっきあめサービス・お食事のお客様に一品サービス
金砂そば	常陸太田市久米町 120-1	アイスサービス
TOKUSAN (道の駅ひたちおおた内)	常陸太田市下河合町 1016-1	次回お店で使えるサービス券プレゼント
西山の里 桃源	常陸太田市新宿町 576	ソフトクリーム 100 円引き、茶室晏如庵お抹茶(練菓子付)100 円引き
そば なか美	常陸太田市天神林町 870-151	ざるそばのみ 50 円引き
そば処 かねさん	常陸太田市中染町 2674	飲物サービス
古民家 和水	常陸太田市松平町 1461-2	梅ジュース無料
(有)カネヒロ 山桜直売所	常陸太田市大中町 3652-1	飲食していただいたお客様　手作りこんにゃくサービス
コミュニティカフェ バンホフ	常陸大宮市上町 932	ドリンク 50 円引き
よしだや	常陸大宮市金井 150	お食事代 200 円引き
割烹魚政	常陸大宮市高部 405-3	食後にコーヒーサービス

施設	住所	特典
(有)美和亭	常陸大宮市高部 4536	ワンドリンクサービス(ソフトドリンク)
わいずみ	常陸大宮市長倉 1085	お食事の方にデザートサービス
民宿 食事処 いせき家	常陸大宮市野口 1411-1	お食事の方にコーヒーサービス
想い出	常陸大宮市野口 2813-1	ソフトドリンクサービス
美和 ささの湯	常陸大宮市氷之沢 3139	お食事の方にゆずジュース一杯サービス
まるしんドライブイン	常陸大宮市舟生 1003	当店オリジナル乾麺味一番うどん１束プレゼント
割烹ちのね	常陸大宮市南町 289	ランチの際にデザートサービス
やまがたすこやかランド 三太の湯	常陸大宮市諸沢 5071	入湯された方へソフトドリンク１杯サービス
奥久慈膳所ゆうゆう	大子町芦野倉 171-1	天然アユ塩焼き又は天然アユ一夜干しサービス
大子温泉 やみぞ	大子町矢田 524-2	ランチご利用のお客様にソフトドリンク一杯サービス
永福	大子町池田 714	しゃも天ぷら通常 864 円を 700 円で提供
月待の滝もみじ苑	大子町川山 1369-1	ソバソフトクリーム 370 円のところ 300 円に割引き
大石家そば店	大子町川山 639-1 (大子町森林組合となり)	食事をされた方について、リンゴジュース又はりんごのサービス
宮田邸	大子町頃藤 4902	ドリップコーヒー 50 円引き
割烹千石	大子町大子 631	ソフトドリンクサービス
奥久慈しゃも料理 だいこん	大子町大子 671	飲食料金から 100 円引き
デリカショップ久慈屋	大子町大子 673	お弁当 20 円引き
daigo cafe	大子町大子 688	ソフトドリンク 100 円引
パン工房サンローラン	大子町大子 719	お会計時、ラスクをプレゼント
中華 大景	大子町大子 740-4	ラーメン・ギョーザセット 900 円→ 750 円 タン麺650円→600円
弥満喜	大子町大子 741-1	奥久慈茶のサービス
ゆばの里 三宝産業(株)	大子町塙 734	お食事代金 5%割引き(1 グループ 4 名まで)
滝味の宿 豊年万作	大子町袋田 169-3	レストランご利用で大人のみコーヒーサービス (11:00 ～ 14:00 まで)
北條館別館 オトナリ	大子町袋田 1325-2	うな丼、うな重オーダーの方にコーヒーサービス
みらんど袋田	大子町袋田 383-1	10%割引き
和風レストラン七曲り	大子町下野宮 3501	奥久慈しゃもの玉子プリンのデザートサービス
寿昌庵けん坊	大子町下野宮 2072-1	シャンパンサービス
奥久慈茶の里公園	大子町左貫 1920	レストランお食事 8%割引き
ベックスコーヒーショップ 水戸店	水戸駅（改札内）	お好きなドリンク 50 円引き
水戸京成ホテル	水戸市三の丸 1-4-73	「中国料理 景山」・「コーヒーショップ＆ ME」 ディナーコース注文の方にワンドリンクサービス
花亭	水戸市大工町 1-15-25	ウエルカムドリンクサービス
洋食 山口楼 庵	水戸市大工町 1-4-4	ウエルカムドリンクサービス
山口楼 本店	水戸市大工町 1-5-20	ウエルカム自家製梅酒サービス
水戸駅ビルエクセル(本館) ﾊﾞｰﾙ ｲﾀﾘｱｰﾉ ﾍﾞﾗ(6F/ｲﾀﾘｱﾝ)	水戸市宮町 1-1-1	お食事のお客様にソフトドリンク１杯サービス
水戸駅ビルエクセル(本館) 中国麺家(6F/中国拉麺・料理)	水戸市宮町 1-1-1	ご飲食(650 円以上)のお客様にソフトドリンク(中国茶除く) 1 杯サービス
水戸駅ビルエクセル(本館) 北のしまだ(6F/北海道料理)	水戸市宮町 1-1-1	お食事のお客様にデザート(わらび餅)サービス
水戸駅ビルエクセルみなみ つけめんTETSU壱の木戸(4F/ﾗｰﾒﾝ)	水戸市宮町 1-7-31	ラーメン１食に付き、大盛 or 味玉サービス
水戸駅ビルエクセルみなみ 大香港厨房(6F/中華料理)	水戸市宮町 1-7-31	お食事代 10% OFF（コース・飲み放題は除く）
水戸駅ビルエクセルみなみ ｲﾀﾘｱﾝﾊﾞｲｷﾝｸﾞﾊﾟﾊﾟｹﾞｰﾉ(6F/ﾊﾞｲｷﾝｸﾞ)	水戸市宮町 1-7-31	お食事代 5% OFF（6 名様まで）
出雲館 (常陸国出雲大社境内施設)	笠間市福原 2001	飲食料金 5%割引き
ちゃあしゅう屋 孫目店	ひたちなか市佐和山崎 2364-5	次回使えるサービス券などプレゼント
かぐや姫本店	那珂市飯田 1634-1	ドリンクサービスなど

○　お土産(62件)

施設	住所	特典
日立駅NewDays（コンビニエンス）	日立駅	お買上金額から5%割引き　※一部商品除く
運平堂本店(大みか店､多賀店､日立店)	日立市大みか町1-6-7	販売額より3%割引き
日立駅情報交流プラザぷらっとひたち	日立市幸町1-1-2	対象商品の3%割引き
イトーヨーカ堂　日立店	日立市幸町1-16-1	ｲﾄｰﾖｰｶﾄﾞｰお買い上げﾚｼｰﾄ700円(税込/以上)でｾﾌﾞﾝﾌﾟﾚﾐｱﾑ100円菓子ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄ
(株)宏和商工日立酒造工場直売所	日立市十王町友部104	酒類、食品、雑貨の販売代金3%割引き
森のパン工房	日立市千石町1-11-21	商品のご購入で飴やゼリーなどの駄菓子や焼菓子(クッキー)などプレゼント
かどや	日立市千石町1-11-21	お買い上げ価格より3%割引き
菓匠たけだ 田尻店	日立市田尻町5-14-3	ギフト商品3%割引き
菊水食品販店	日立市東大沼町4-29-11	商品1,000円以上10%OFF 商品2,000円以上20%OFF 商品3,000円以上30%OFF
Les Petites Mains	高萩市春日町2-25	店内商品お買い上げのお客様にクッキーお一つサービス
観光庭園味噌蔵 たつご味噌	高萩市上手綱75	1,000円以上お買い上げの方に粗品
オートガレージナスカ	高萩市高浜町3-9-2	オイル交換工賃サービス
fashion ナカヤ(ｲﾀﾘｱﾌｧｯｼｮﾝ)	高萩市本町1-22	全商品10%割引き
釜屋金物店	高萩市本町4-32-1	お買い上げの方に粗品プレゼント
永寿堂	高萩市安良川679	お買い上げ1,000円以上で5%割引
NO CONCEPT SHOP	北茨城市磯原町磯原2-25	2万円以上お買い上げの方に靴下プレゼント
タウンショップ 月の友	北茨城市磯原町本町2-3-30	県内産酒類10%割引き
洋装金沢	北茨城市大津町2607-4	手作り和風小物・お人形格安販売、店内商品お買い上げの方に粗品プレゼント
茨城県天心記念五浦美術館ミュージアムショップ	北茨城市大津町椿2083	常設ショップ、県北特別ショップでのグッズ5%引き(書類・カタログは除く)
ヤマザキショップ ハナカワうさみ	北茨城市華川町上小津田82-1	コーヒー1杯無料(店内いれたてコーヒー)
風月堂菓子舗	北茨城市平潟町472	1,000円以上お買い上げのお客様にプレゼント
てんごころ	北茨城市平潟町897	カリントまんじゅう1個サービス(1人につき1個)
亀印製菓 常陸太田店	常陸太田市金井町3627	2,000円以上のお買い物で5%割引き(除外品有り)
金砂郷食品(株) 納豆工房	常陸太田市高柿町1183-1	会員登録料無料
伊勢又米穀製粉(株)	常陸太田市中城町199-3	本社売店10%割引き
アンティークギャラリー花てまり	常陸太田市東二町2227	2,000円以上お買い上げでラスクプレゼント(要パスポート提示)
コミュニティカフェバンホフ	常陸大宮市上町932	方言手ぬぐい50円割引き
(有)軍司麺業	常陸大宮市野口1361	ラーメン10食入り50円割引き
舟納豆 丸真食品(株)	常陸大宮市山方477-1	舟納豆グッズプレゼント
根本酒造(株)	常陸大宮市山方630	2,000円以上お買い上げで粗品プレゼント
するがや 不二家	常陸大宮市抽ヶ台町904-12	マドレーヌ(1個)プレゼント
Patisserie ヒカリノ木	常陸大宮市抽ケ台町804-14	焼菓子1個プレゼント
(有)田中屋時計店	大子町大子649-2	1日ごと、先着10名様に飲物プレゼント
井坂本店(菓子店)	大子町大子671	全商品1割引き
やまぶん	大子町大子679	記念品サービス
吉見屋洋品店	大子町大子694	お買い上げ価格より5%割引き(除外品あり)
小崎陶器店	大子町大子734	500円以上お買い上げで記念品プレゼント
会津屋	大子町大子808-3	大子の風景写真一枚プレゼント
ゆばの里 三宝産業(株)	大子町塙734	お買上げ金額より5%割引き
酒蔵ギャラリー	大子町内大野1887	酒類10%割引き
滝味の宿 豊年万作	大子町袋田169-3	売店で1,000円以上お買い上げの方に5%割引き
奥久慈しゃも生産組合	大子町袋田3721	パスポート提示で100円引き

施設	住所	特典
お菓子の麻呂宇土	大子町池田 728	1,000 円以上お買い上げのお客様にお菓子 1 個プレゼント
(有)かねた園	大子町左貫 3029	お買い上げ代金から 10%割引き
奥久慈茶業組合	大子町左貫 2312	該当茶園の内容を奥久慈茶ＨＰに掲載
宮川製菓協業組合	大子町下野宮 1657	お買い上げ 1,000 円以上で饅頭、2000 円以上で氷華餅又は金性水プレゼント
京成百貨店	水戸市泉町 1-6-1	本館駐車場、水戸京成パーキングプラザご利用　2 時間無料
水戸ドライブイン ひたちの里	水戸市加倉井町宿後 415	お土産品 5% OFF（野菜売場・お土産品一部除外有）
鈴木洋傘店大工町店	水戸市大工町 2-6-29	スズキオリジナル傘 10%～ 20%割引き
Dress Bird	水戸市南町 2-1-56	2 万円以上お買い上げの方に靴下プレゼント
水戸駅ビルエクセルみなみ 長澤園(3F/お茶・海苔・茶器)	水戸市宮町 1-7-31	全品 5%割引き(割引商品は除く)
水戸駅ビルエクセルみなみ IBARAKIｽｲｰﾂ工房(3F/焼き菓子・ｽｲｰﾂ)	水戸市宮町 1-7-31	お菓子のきくちの商品をお買上 1,080 円以上でお菓子(「ほっしーも」or「茨城ラスク」どちらか 1 個)プレゼント
水戸駅ビルエクセルみなみ あさ川(3F/和菓子・焼き菓子)	水戸市宮町 1-7-31	「ひとくち羊羹(梅・塩）」のいずれか 1 個プレゼント
水戸駅ビルエクセルみなみ 幸田商店(3F/ホシイモ)	水戸市宮町 1-7-31	2,000 円以上お買い上げのお客さまに「からだきなこ」シリーズ(150 ｇ）1 点プレゼント
水戸駅ビルエクセルみなみ 天狗納豆總本家(3F/納豆)	水戸市宮町 1-7-31	全品 5%割引き(割引商品は除く)
天狗納豆(株)	水戸市柳町 1-13-13	わら納豆、そぼろ納豆、ほし納豆、パック納豆お持ち帰りに限り 15%割引
水戸駅NewDays (コンビニエンス)	水戸駅	お買い上げ金額から 5%割引き　※一部商品除く
いばらきいいもの（土産品）	水戸駅(改札内)	お買い上げ金額から 5%割引き　※一部商品除く
勝田駅NewDays (コンビニエンス)	勝田駅	お買い上げ金額から 5%割引き　※一部商品除く
全酒類 やまきち	ひたちなか市表町 3-5	2,000 円以上のお買い物で 10%割引き(お酒除く)
亀印製菓 那珂インター店	那珂市飯田 3371-1	2,000 円以上のお買い物で 5%割引き(除外品有り)
(株)鈴木ハーブ研究所	東海村村松 2461	水戸の納豆ローションを 5%引き

○　宿泊(27件)

施設	住所	特典
旅館 鈴木屋	日立市河原子町 3-1-7	ライト付ボールペンをプレゼント
海づくしの湯 はぎ屋旅館	日立市水木町 1-1-15	海藻かじめうどんプレゼント
高萩ホテルクレスト	高萩市春日町 2-25	ご宿泊者に当ホテル限定のクッキーセットをプレゼント
ニッ島観光ホテル	北茨城市磯原町磯原 2553	チェックアウト時に焼きおにぎりとペットボトル各自 1 本サービス
割烹旅館さらしな	北茨城市磯原町本町 3-3-22	ご宿泊のお客様にソフトドリンクサービス
まるたか観光旅館	北茨城市平潟町 243	ご宿泊の大人の方に日本酒又はジュース 1 本サービス
砥上屋旅館	北茨城市平潟町 141	宿泊は 2 名様から宿泊料金は 12,000 円(税別、入湯税別)から。宿泊料金からお一人様1,000円引き(お子様は対象外)
やまに郷作	北茨城市平潟町 273	平日 1,000 円引き(土曜、祝祭日前日を除く宿泊料金)
ペンション武士館	北茨城市平潟町 816-1	ソフトドリンクサービス
山田屋旅館	常陸太田市折橋町 1409	夕食時お一人様につきワンドリンク(ソフトドリンク又は酒 1 合)サービス
梅屋山荘	常陸大宮市諸沢 5060-1	ワンドリンクサービス
滝味の宿 豊年万作	大子町袋田 169-3	日帰り入浴を平日 500 円、土日祝 700 円(10:00 ～ 16:00 まで)
湯治の宿 ラジウム温浴 河鹿園	大子町袋田 2129	宿泊された方にお菓子プレゼント
北條館別館 オトナリ	大子町袋田 1325-2	宿泊の方に手作りジャムプレゼント
リバーサイド奥久慈 福寿荘	大子町池田 2694	お土産用さしみこんにゃく
丘の上のゲストハウス 「Daigo house」	大子町北田気 577-5	宿泊料金 5%割引き
大子温泉 やみぞ	大子町矢田 524-2	ご宿泊のお客様に、たき丸くんグッズプレゼント
大子広域公園オートキャンプ場グリンヴィラ	大子町矢田 15-1	宿泊利用者にさしみこんにゃくプレゼント
水戸京成ホテル	水戸市三の丸 1-4-73	正規宿泊料金(平日・日・祝日) 20%割引き

施設	住所	特典
三の丸ホテル	水戸市三の丸 2-1-1	宿泊者対象に常陸野ネストビールお一人様 1 本サービス
ホテルメッツ水戸	水戸市宮町 1-1-1	宿泊されたお客さまにミネラルウォーター 1 本プレゼント
潮騒の宿 丸徳旅館	ひたちなか市磯崎町 4318	あじが浦焼酎(芋又は麦) 1 杯サービス
みなと観光ホテル	ひたちなか市湊本町 18-25	宿泊料金 10%割引き
磯料理とワインの宿 春日ホテル	ひたちなか市湊本町 11-4	ソムリエ厳選グラスワインサービス
大洗ホテル	大洗町磯浜町 6881	1 泊 2 食付で利用の場合、大人の方にコーヒー券付
浜野屋	大洗町大貫町 78	大人にはソフトドリンク又は地酒 1 合、未成年者にはソフトドリンクをサービス
地方職員共済組合大洗保養所 オーシャンビュー大洗	大洗町東光台 8234-1	宿泊代金 1,000 円引き(シルバープラン、ゆったりプラン利用者は除く)

○ レンタカー(6 社 49 件)

＜ファーストレンタカー＞(特典:通常料金の 10%割引き)

ひたちなか店(ひたちなか市勝田中央 7-1)
赤塚店(水戸市赤塚 1-1975-4)

＜オリックスレンタカー＞(特典:基本料金 10%割引き(他割引併用不可))

日立店(日立市鮎川町 5-9-10)
ひたちなか昭和通り店(ひたちなか市笹野町 2-2-26)
水戸店(水戸市大工町 1-6-11)
水戸駅前店(水戸市宮町 2-7-2)
土浦駅前店(土浦市港町 1-7-6 Port1 ビル 1F)
つくば学園店(つくば市竹園 1-4-1)
牛久東口店(牛久市中央 5-14-10)
下館店(筑西市布川 1249-10)
古河店(古河市東本町 2-1-6)
守谷店(守谷市松ヶ丘 1-4-6)
鹿島店(鹿嶋市宮中 328-2)

＜ニッポンレンタカー＞(特典:通常の約 10%割引き(車種、利用時間数により若干前後あり))

日立駅前店(日立市平和町 1-1-5)
勝田駅東口店(ひたちなか市勝田中央 11-1)
水戸駅北口店(水戸市三の丸 2-5-31)
水戸駅南口店(水戸市城南 2-1-6)
石岡駅東口店(石岡市石岡 2-6-9)
土浦駅東口店(土浦市港町 1-2-11)
牛久駅店(牛久市牛久町 282)
取手駅東口店(取手市取手 2-1-1)
TX つくば駅前店(つくば市竹園 1-4-1 南パークビル 1F)
TX 守谷駅前店(守谷市中央 4-15-2)
古河駅前店(古河市東 1-10-22)
鹿島セントラルホテル店(神栖市大野原 4-7-1)

＜さくらレンタカー＞(特典:通常料金の 20%割引き(オプション、免責保証料、NOC は対象外))

土浦店(土浦市上高津近堂 407-1)

＜トヨタレンタリース茨城＞(特典:通常料金の 20%割引き)

日立駅前店(日立市平和町 1-1-11)
日立多賀店(日立市千石町 2-5-3)
那珂店(那珂市菅谷字杉原 5382-1)
勝田店(ひたちなか市東石川 1-11-1)
赤塚店(水戸市赤塚 1-2029-102)
水戸駅南店(水戸市城南 1-1-3)
水戸県庁前店(水戸市笠原町 978-25 茨城県開発公社ビル 1F)
茨城空港店(小美玉市与沢 1601-55 空港ターミナル 1F)
神栖店(神栖市大野原 4-11-32)
石岡駅前店(石岡市国府 1 -1891-1)
土浦西口店(土浦市桜町 1-8-12)
土浦荒川沖店(稲敷郡阿見町荒川本郷 1334-16)
つくば学園店(つくば市春日 2-25-3)
TX つくば駅前店(つくば市竹園 1-4-1 南 3 パークビル 1F)
牛久店(牛久市中央 4-21-25)
守谷店(守谷市けやき台 5-5-5)
取手店(取手市野々井 187-1)
筑西店(筑西市玉戸 992-11)
石下店(常総市新石下 1581)
古河駅前店(古河市東本町 1-80-1)

＜駅レンタカー＞(特典:通常料金 10%割引き＆トレン太くんステッカープレゼント(要予約))

水戸営業所(水戸市宮町 1-6-130)
勝田営業所(ひたちなか市勝田本町 1-11)
日立営業所(日立市幸町 1-1-1)

3　会場別参加アーティスト及び作品・プロジェクト一覧　詳細版

会場		番号	アーティスト	生年 出生地／在住地	作品･プロジェクト名	備考
日立市						
小貝ケ浜緑地	小貝ケ浜緑地	A-01	國安孝昌	1957 年北海道生まれ／茨城県在住	朝日立つ浜の産土神の御座（あさひたつはまのうぶすながみのみざ）	
	旧美容院	A-02	ヴェンザ・クリスト	1975 年インドネシア生まれ／在住	うつろ舟ミニ博物館	
うのしまヴィラ		A-03	AKI INOMATA	1983 年東京都生まれ／在住	やどかりに｢やど｣をわたしてみる — Border —	
日立駅		A-04	ダニエル・ビュレン	1938 年フランス生まれ／在住	回廊の中で:この場所のための4つの虹 —　KENPOKU ART 2016 のために	
		A-05	村上史明	1978 年兵庫県生まれ／茨城県在住	風景幻灯機	公募
日立シビックセンター	地階	A-06	米谷健 + ジュリア	2009 年オーストラリアにて活動開始／京都府在住	クリスタルパレス:万原子力発電国産業製作品大博覧会	
					3つの願い	
	ロビー	A-07	和田永	1987 年東京都生まれ／在住	日立電輪塔	
	天球劇場	A-08	河口洋一郎	1952 年種子島生まれ	グロース:テンドリル	
					ハイドロダイナミック:フィッコ（宇宙魚･FICCO）	
		A-09	榊原澄人	1980 年北海道生まれ／長野県在住	Solitarium	
		A-10	木本圭子	1958 年広島県生まれ／東京都在住	velvet order（柔らかい秩序）2016 summer night	
	屋外	A-11	テア・マキパー	1973 年フィンランド生まれ／フィンランド・ドイツ在住	ノアのバス	
日立市郷土博物館		A-12	ティファニー・チュン	1969 年ベトナム生まれ／ベトナム・米国在住	日立工場の建物間の何もない場所で､私は未開人と飢饉や戦争の犠牲者たちを織り込んだ詩を読む	
		A-13	イアン･カルロ･ハウシャン	1986 年フィリピン生まれ／在住	フィールド･クリスタル	
御岩神社		A-14	岡村美紀	1990 年奈良県生まれ／香川県在住	御岩山雲龍図	恒久設置
		A-15	森山茜	1983 年福岡県生まれ／スウェーデン在住	杜の蜃気楼	
日鉱記念館		A-16	タクシナー・ピピトゥクル	1973 年タイ生まれ／在住	Playable Sculpture（遊べる彫刻）	
常陸多賀駅前商店街	多賀パルコ	A-17	青崎伸孝	1977 年鹿児島県生まれ／米国在住	スマイリー･バッグ･ポートレート	
		A-18	中崎透	1976 年茨城県生まれ／在住	看板屋なかざき	
		A-19	和田永	1987 年東京都生まれ／在住	エレクトロニコス･ファンタスティコス! in 日立	
	旧銀行	A-20	力石咲	1982 年埼玉県生まれ／東京都在住	ニット･インベーダー　in 常陸多賀	
		A-21	藤浩志	1960 年鹿児島県生まれ／福岡県在住	ポリプラネットカンパニー	
		A-22	松本美枝子	1974 年茨城県生まれ／在住	山のまぼろし	
	花金	A-23	加藤増田齋藤岩沢（KMSI）	2015 年東京都にて活動開始	A Wonder Lasts but Nine Days —友子の噂—	ハッカソン
		A-24	松井靖果	1992 年茨城県生まれ／千葉県在住	この先、記憶の十字交差あり。	公募
	常陸多賀駅前商店街に点在	A-25	山本美希	1986 年富山県生まれ／茨城県在住	ヒタチタガ･コンクリート･マンガ･ベンチ･コレクション	恒久設置
高萩市						
穂積家住宅		B-01	サンドリーヌ・ルケ	1975 年フランス生まれ／ベトナム在住	紅毛先生の驚異の部屋	
		B-02	上野雄次	1967 年京都府生まれ／東京都在住	天を仰ぎ　地に立つ　者として	
		B-03	伊藤公象	1932 年石川県生まれ／茨城県在住	pearl blue の襞 —空へ･ソラから—	
		B-04	デビー・ハン	1969 年韓国生まれ／米国在住	ウェブ･オブ･ライフ	

会場		番号	アーティスト	生年 出生地／在住地	作品･プロジェクト名	備考
高戸海岸	前浜	B−05	イリヤ＆エミリア･カバコフ	イリヤ：1933 年、エミリア:1945 年旧ソ連（現ウクライナ）生まれ／米国在住	落ちてきた空	
		B−06	ニティパク・サムセン	1979 年タイ生まれ／英国在住	テトラパッド	
	小浜	B−07	スッシリー・プイオック	1976 年タイ生まれ／在住	ソウル･シェルター	
北茨城市						
茨城県天心記念五浦美術館		C−01	チームラボ（*は紫舟 + チームラボ）	2001 年活動開始	チームラボ 小さき無限に咲く花の、かそけき今を思うなりけり ※展覧会タイトル	
					小さきものの中にある無限の宇宙に咲く花々	
					境界のない群蝶	
					増殖する生命 II − A Whole Year per Hour, Dark	
					まほろば	
					Nirvana	
					世界はこんなにもやさしく､うつくしい*	
					生命は生命の力で生きている	
					空書 円相､無限相	
		C−02	ミトゥ・セン	1971 年インド生まれ／在住	ケノプシア（人のいない空間）	C−07 と合わせて 1 件
		—	チェ・ジョンファ	1961 年韓国生まれ／在住	Love Me	平成28年10月30日より公開
六角堂（茨城大学五浦美術文化研究所）		C−03	須田悦弘	1969 年山梨県生まれ／東京都在住	雑草	
		C−04	ジャン・ワン	1962 年中国生まれ／在住	Artificial Rock No. 109	
旧富士ケ丘小学校		C−05	柚木恵介	1978 年鹿児島県生まれ／東京都在住	物々交換プロジェクト	公募
		C−06	日比野克彦	1958 年岐阜県生まれ／東京都在住	HIBINO HOSPITAL（日比野美術研究室付属病院放送部)KENPOKU ART 2016 版「あの日、教室の窓から見ていた風景」	
		C−07	ミトゥ・セン	1971 年インド生まれ／在住	ケノプシア（人のいない空間）	C−02 と合わせて 1 件
		C−08	林剛人丸	1968 年北海道生まれ／茨城県在住	今ここにある宙	公募
ラジコンポート		C−09	ピーター・フェルメーシュ	1973 年ベルギー生まれ／在住	Untitled (kenpoku)	
常陸太田市						
竜神大吊橋		D−01	チェ・ジョンファ	1961 年韓国生まれ／在住	山海魚 LOVE	平成28年10月15日より公開
ふるさとセンター竜っちゃん乃湯		D−02	増田聡子	1961 年茨城県生まれ／在住	庭にて — 風と森 I	
水府地区松平町休耕地付近		D−03	井上信太	1967 年大阪府生まれ／京都府在住	「ART ZOO」:サファリパークプロジェクト in 常陸太田	
旧常陸太田市自然休養村管理センター		D−04	オロン＆イオナ＆マイク	—	ケアとコントロールのための容器	
		D−05	石田尚志	1972 年東京都生まれ／在住	旧展示室	
		D−06	岩崎秀雄 + metaPhorest	2007 年活動開始	aPrayer まだ見ぬ つくられしものたちの慰霊	
		D−07	三原聡一郎	1980 年東京都生まれ／京都府在住	空白のプロジェクト #3 — 大宇宙の片隅	
		D−08	ヴァイド・インフラ	2015 年結成	ヴァイド･インフラ	ハッカソン
		D−09	BCL	2004 年英国にて活動開始、東京都を拠点に活動	折り紙ミューテーション	
常陸太田市民交流センターパルティホール		D−10	國安孝昌	1957 年北海道生まれ／茨城県在住	常陸のおお田守る竜神	恒久設置
鯨ケ丘地域	常陸太田市郷土資料館梅津会館	D−11	ニパン・オラニウェー	1962 年タイ生まれ／在住	イ / バ / ラ / キ	
		D−12	深澤孝史	1984 年山梨県生まれ／北海道在住	常陸佐竹市	公募

会場		番号	アーティスト	生年 出生地／在住地	作品・プロジェクト名	備考
鯨ヶ丘地域	旧コウワ	D-13	北澤潤	1988年東京都生まれ／在住	リビングルーム鯨ヶ丘	
	常陸太田市郷土資料館梅津会館窓ほか	D-14	原高史	1968年東京都生まれ／在住	サインズ オブ メモリー 2016:鯨ヶ丘のピンクの窓	
	旧フランス料理店	D-15	SPREAD	2004年東京都にて活動開始	Life Stripe	
道の駅 ひたちおおた		D-16	内海聖史	1977年茨城県生まれ／在住	STAR.b	
常陸大宮市						
旧美和中学校		E-01	Sound of Tap Board	2015年東京都にて活動開始	Sound of Tap Board	ハッカソン
		E-02	落合陽一	1987年東京都生まれ／在住	コロイドディスプレイ モナドロジー 幽体の囁き	
		E-03	津田翔平	1986年東京都生まれ／茨城県在住	KYO-ZO	
		E-04	CALAR.ink	2015年結成	Achromatic World —いろのないせかい—	ハッカソン
		E-05	鈴木浩之 + 大木真人	2013年活動開始	だいちの星座 —いばらきけんぽく座—	公募
		E-06	イザベル・デジュー	チュニジア生まれ・フランス育ち／シンガポール在住	茨城インベントリウム	
		E-07	magma	2008年東京都にて活動開始	GREAT TEACHER WOODSTOCK	
		E-08	村上史明	1978年兵庫県生まれ／茨城県在住	風景幻灯機 Fly Me to the Earth	公募
		E-09	山本美希	1986年富山県生まれ／茨城県在住	『爆弾にリボン』の教室	
旧家和楽青少年の家		E-10	ザドック・ベン=デイヴィッド	1949年イエメン生まれ、同年イスラエルへ移住／英国在住	ブラックフィールド	
		E-11	ワン・テユ	1970年台湾生まれ／在住	No. 85	
		E-12	タワッシャイ・プンサワッ	1971年タイ生まれ／在住	イレギュラー・テトラヘドロン	
		E-13	マシュー・ジェンセン	1980年米国生まれ／在住	反芻—久慈川にて (S字) Reflecting on Kuji River, Irrigation Canal 1	
道の駅 常陸大宮 かわプラザ		E-14	塩谷良太	1978年東京都生まれ／愛知県在住	川床／寄り添う人々	恒久設置
石沢地区空き店舗	旧ゲームセンター	E-15	ミヒャエル・ボイトラー	1976年ドイツ生まれ／在住	ジョイカムの客	
	旧衣料品店	E-16	レ＝トゥア・ティエン	1964年ベトナム生まれ／在住	森の記憶	
		E-17	内海聖史	1977年茨城県生まれ／在住	moon satellite	
大子町						
奥久慈茶の里公園		F-01	東京藝術大学		藝大子アートプロジェクト 2016 漆芸交流展 in 大子 大子町の彫刻展	F-02、F-17と合わせて1件 漆芸 チーム 彫刻チーム
旧初原小学校		F-02	東京藝術大学		藝大子アートプロジェクト 2016 大子町の彫刻展	F-01、F-17と合わせて1件 彫刻チーム
旧上岡小学校		F-03	Composit	2013年フランスと日本にて活動開始	記憶装置	
		F-04	田中信太郎	1940年東京都生まれ／茨城県在住	沈黙の教会、あるいは沈黙の境界	
		F-05	茨城デザイン振興協議会	1993年設立	KENPOKU ART 2016 日渡の里プロジェクト「40人のクリエイターの40枚のポスター展」里山の人たちの暮らしがそこに在る。	公募
		F-06	ピウス・シギット・クンチョロー	1974年インドネシア生まれ／在住	嘘つきだった子ども、大子で真実に出会う	

会場	番号	アーティスト	生年 出生地／在住地	作品･プロジェクト名	備考
旧浅川温泉	F-07	妹島和世	1956 年茨城県生まれ／東京都在住	Spring	平成28年10月15日より公開
		落合陽一	1987 年東京都生まれ／在住	空気のせせらぎ	
大子温泉保養センター 森林の温泉（もりのいでゆ）	F-08	増田聡子	1961 年茨城県生まれ／在住	庭にて — 風と森Ⅱ	
常陸大子駅前商店街 麗潤館	F-09	木下真理子	茨城県生まれ／神奈川県在住	茶の本	
	F-10	secca	2013 年石川県にて活動開始	japan?	
	F-11	宮原克人	1970 年長野県生まれ／茨城県在住	Life Record —生成と生業—	公募
	F-12	エレナ・トゥタッチコワ	1984 年ロシア生まれ／東京都在住	森の音のゆくえを辿って	
	F-13	干渉する浮遊体	2015 年結成	干渉する浮遊体	ハッカソン
	F-14	木本圭子	1958 年広島県生まれ／東京都在住	velvet order(柔らかい秩序) 2016 autumn sunlight	
	F-15	BCL	2004 年英国にて活動開始、東京都を拠点に活動	折り紙ミューテーション	
常陸大子駅前商店街 地域おこし協力隊事務所	F-16	ソンミン・アン	1980 年シンガポール生まれ／ドイツ在住	大子 ロスト･アンド･ファウンド	
常陸大子駅前商店街 大子町文化福祉会館「まいん」ほか商店街内店舗等	F-17	東京藝術大学		藝大子アートプロジェクト 2016 「8 days in daigo」2016 Kindeco プロジェクト Kindeco 金工展	F-01、F-02と合わせて1件 油画チーム 金工チーム 金工チーム
袋田の滝（トンネル）	F-18	ジョン・ヘリョン	1977 年韓国生まれ／在住	連鎖的可能性—袋田の滝	平成29年1月29日まで展示期間を延長
全域					
上小川キャンプ場周辺、玉川村八田雷神山横穴墓群、日鉱記念館ほか	G-01	飴屋法水	1961 年山梨県生まれ／東京都在住	何処からの手紙	
	G-02	やくしまるえつこ	—	わたしは人類	テーマソング
日立シビックセンター、石沢地区空き店舗 < 旧ゲームセンター >、常陸太田市役所	G-03	ラファエル･ローゼンダール	1980 年オランダ生まれ／米国在住	from here to there (selected websites)	
	G-04	佐藤悠	1985 年三重県生まれ／茨城県在住	佐藤悠の KENPOKU SONGS	移動型

4　アートイベント・ワークショップ等一覧

■茨城県北芸術祭実行委員会が主催したもの

イベント名	藝大子アートプロジェクト	参加者数	740 人
開催日	平成 27 年 8 月 16 日(日)～9 月 15 日(火)	開催場所	・旧初原小学校、常陸大子駅前商店街等（大子町）
内容	アーティスト(教員・学生)たちが、専攻ごとに個性を活かした制作活動・展示を行った。また期間中には、大子町内の小中学校でワークショップも開催した。旧初原小で行われた発表会では、作品展示の他にバリ島の伝統儀礼に関する講演会や映像上映が行われ、ワヤン・クリッ(影絵芝居)も上演された。		

イベント名	アートが地域でできること	参加者数	33 人
開催日	平成 27 年 10 月 15 日(木)	開催場所	・アーカススタジオ（守谷市）
内容	平成 22 年にアーカスプロジェクトのレジデンスプログラムに参加したソンミン・アンの茨城再訪を機に、キュレーターの四方幸子がモデレーターとなり、トークを行った。前半はアンが近年行ったプロジェクトを紹介。後半のフリートークでは会場から多くの質問が飛び出す等、活発な意見交換が行われ、トーク終了後の交流会まで会場は大きな盛り上がりを見せた。		

イベント名	今、アートで何が起こっているのか	参加者数	35 人
開催日	平成 27 年 10 月 18 日(日)	開催場所	・穂積家住宅 萩の茶屋（高萩市）
内容	科学、アート、デザインの領域を超えた活動を続ける福原志保(BCL)は、最先端バイオテクノロジーと融合する作品を展開したいと語り、ヴェンザ・クリストは、メディアアートと農業、建築、教育等の幅広い分野で対話を重ねて融合させたプロジェクトを紹介し、県北でも地域コミュニティと協働した作品をつくりたいと語った。		

イベント名	会場見学会	参加者数	18 人
開催日	平成 27 年 11 月 14 日(土)	開催場所	・旧美和中学校　・高部宿　・鯨ヶ丘地域 ・常陸太田市郷土資料館梅津会館 ・日鉱記念館　・JR 日立駅周辺
内容	開催予定会場を見学するバスツアーを開催し、一般公募への応募を検討しているアーティスト等が参加した。非常に熱心にメモを取ったり、具体的な質問をする姿が印象的だった。		

イベント名	アフターリサーチミーティング	参加者数	10 人
開催日	平成 27 年 11 月 16 日(月)	開催場所	・茨城県常陸太田合同庁舎（常陸太田市）
内容	タワッシャイ・プンサワッとレ=トゥア・ティエンが、県北地域の視察を通して受けた地域の印象や感じたこと、お互いの活動に関して意見を交わすトークとディスカッションを行った。		

イベント名	ワークショップ＆アートトーク 「アートでむすぶ、アートでつなぐ」	参加者数	50 人
開催日	平成 27 年 12 月 6 日(日)	開催場所	・常陸大宮市文化センター ロゼホール 小ホール（常陸大宮市）
内容	力石咲「毛糸玉モンスターを作ろう！」、北澤潤「マイタウンマーケット発想法ー『もうひとつの町』のつくりかたー」のワークショップイベントを開催した。芸術と地域が関わることで起こる様々な現象をワークショップで体感し、その後のトークでは、地域で芸術活動を行うことについての核心に迫った。		

イベント名	アフターリサーチミーティング	参加者数	20人
開　催　日	平成27年12月15日(火)	開催場所	・茨城県庁11階共用会議室（水戸市）
内　　容			

同時期にリサーチのために県北地域を訪れていたタクシナー・ピピトゥクルとスッシリー・プイオックは、リサーチの結果を受けて、「人間と自然」をテーマに独自の視点から茨城県北における新たな発見と今後の展開について語るプレゼンテーションを行った。

イベント名	アートが開く ～日常から、そして日常へ～	参加者数	33人
開　催　日	平成28年2月21日(日)	開催場所	・常陸太田市総合福祉会館 会議室（常陸太田市）
内　　容			

科学者としての経歴を持ち、自然や科学をテーマに制作するイザベル・デジューは、県北の植物をテーマとした、誰もが科学者のような興味・関心が持てる作品を構想していると話した。また、架空の人物を構想し、その人物にまつわるインスタレーション作品を手がけるピウス・シギット・クンチョローは、県北地域の人々を巻き込むような作品を作りたいと語った。

イベント名	シンポジウム「アートというマジック 見えないものを見せる技」	参加者数	102人
開　催　日	平成28年3月5日(土)	開催場所	・日立シビックセンター 502号会議室（日立市）
内　　容			

落合陽一は、最先端テクノロジーを活用し、映像でも物質でもない新しいメディアをつくり出す試みを紹介した。イアン・カルロ・ハウシャンは、科学とアートを組み合わせたユーモラスな作品を紹介し、会場は和やかな雰囲気に包まれた。後半ではホセリナ・クルス氏を迎え、「今日のアートが、いかに不思議な発見に満ちているか？」を探るトークセッションを行った。

イベント名	《リビングルーム鯨ヶ丘》ワークショップ ー「リビングルーム」とは何なのかー	参加者数	28人
開　催　日	平成28年3月25日(金)	開催場所	・常陸太田市郷土資料館梅津会館（常陸太田市）
内　　容			

鯨ヶ丘地域での展開が決まった北澤潤によるプロジェクト「リビングルーム」の説明会を兼ねたワークショップを開催した。参加者は、国内外で展開されてきたプロジェクトの成り立ち、ストーリーに熱心に耳を傾けた。町内会や商店会の参加者をはじめ、県北地域の多くの方々と意見を交換し、お互いの理解を深めた。

イベント名	音と家電とアートの融合!? 再生の物語がいま、始まる!!!	参加者数	62人
開　催　日	平成28年5月14日(土)	開催場所	・日立シビックセンター 第2音楽室（日立市）
内　　容			

家電を楽器として再生するプロジェクト「エレクトロニコス・ファンタスティコス」について、和田永が、そのコンセプトからこれまでの軌跡を解説した。実際に楽器を使ったデモンストレーションも行い、オーディエンスも演奏に参加して楽しんだ。

イベント名	物々交換プロジェクト at KENPOKU	参加者数	463人
開　催　日 開催場所	北茨城市　平成28年7月19日(火)～7月25日(月) 高萩市　平成28年7月27日(水)～8月2日(火) 日立市　平成28年8月4日(木)～8月9日(火) 常陸太田市　平成28年8月11日(木・祝)～8月16日(火) 常陸大宮市　平成28年8月19日(金)～8月24日(水) 大子町　平成28年8月26日(金)～8月31日(水)、9月4日(日)		
内　　容			

柚木恵介は、7月から約2か月間、自作の屋台を引きながら、県北6市町を旅した。道端で声をかけたり、時にはお宅へ突撃訪問をしながら、そこで出会った人々と物々交換を繰り返し、人とモノの連鎖を記録していった。多くのメディアにも取り上げられ、地域の人に芸術祭を知ってもらうきっかけを作った。

イベント名	「小さなピンクの窓」アートトーク＆ワークショップ	参加者数	31人
開催日	平成28年7月23日(土)	開催場所	・旧亀宗ビル別館（常陸太田市）
内容			

原高史によるピンクの窓のプロジェクトやこれまでの作品についてのトークと「小さなピンクの窓」を作るワークショップを開催した。参加者それぞれの言葉と作家の絵を組み合わせ、ピンクの窓の新たなイメージが生み出された。作家が描いた絵に自由に色を塗り、対話を繰り返し、たくさんの作品が作られた。

イベント名	《サインズ オブ メモリー 2016：鯨ヶ丘のピンクの窓》 ワークショップ	参加者数	約80人
開催日	平成28年8月～9月(会期中複数回開催)	開催場所	・旧亀宗ビル別館（常陸太田市）
内容			

鯨ヶ丘のピンクの窓は、原高史と地域住民とが共同スペースで制作した。鮮やかな色彩とそこに住む人々の言葉が、懐かしくも新たなイメージを創り出すプロジェクト。鯨ヶ丘商店会や町内会のみなさんが、1枚1枚丁寧に作家が描いた絵に色を塗り文字を貼った。作家と住民が対話を繰り返し、圧巻の作品が作られた。

イベント名	「アーティストというアルゴリズム」 和田永×若林恵	参加者数	53人
開催日	平成28年8月2日(火)	開催場所	・FabCafe MTRL（東京都）
内容			

アーティストの眼差しから改めてアートの役割を問い直し、情報の捉え方を少しずつ紐解くためのトークシリーズ。茨城県北芸術祭からは和田永が参加し、小学生の頃に着想を得たという、芸術祭でも披露した「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」の原点について語った。

イベント名	「アーティストというアルゴリズム」 森山茜×林千晶×畑中章宏	参加者数	50人
開催日	平成28年8月6日(土)	開催場所	・FabCafe MTRL（東京都）
内容			

アーティストの眼差しから改めてアートの役割を問い直し、情報の捉え方を少しずつ紐解くためのトークシリーズ。茨城県北芸術祭からは森山茜が参加した。森山は、展示場所となった御岩神社について民俗学者の畑中章宏氏の視点を交えつつ、風の視覚化を狙ったという制作意図を語った。

イベント名	「だいちの星座 ―いばらきけんぽく座―」 人工衛星による地上絵の撮像	参加者数	438人
開催日 開催場所	平成28年8月11日(木・祝) 茨城大学日立キャンパス グラウンド（日立市） さくら宇宙公園（高萩市） 雨情の里スポーツ広場 多目的広場（北茨城市） 白羽スポーツ広場（常陸太田市） 旧美和中学校 グラウンド（常陸大宮市） 旧上岡小学校 グラウンド（大子町）		
内容			

人工衛星「だいち2号」を利用し、茨城県北6市町を結ぶ巨大な星座の地上絵「いばらきけんぽく座」を描くため、6月に説明会と電波反射器を製作するワークショップ、8月9日(火)には自分の考えた星座を電波反射板に描く、小学生向けのワークショップを行った。また8月11日(木・祝)には、製作した反射器と反射板を各会場に配置し、衛星から撮像した。400人以上の地域の方が参加し、印象深く壮大なプロジェクトになった。

イベント名	「アーティストというアルゴリズム」 石田尚志×畑中章宏×若林恵	参加者数	43人
開催日	平成28年8月23日(火)	開催場所	・FabCafe MTRL（東京都）
内容			

アーティストの眼差しから改めてアートの役割を問い直し、情報の捉え方を少しずつ紐解くためのトークシリーズ。茨城県北芸術祭からは石田尚志が参加した。石田の大ファンという民俗学者の畑中章宏氏が音楽や映画といった多角的な面から作品に迫り、石田は普段の制作スタイルや今回の制作秘話について語った。

イベント名	「アーティストというアルゴリズム」 飴屋法水×本谷有希子×林千晶	参 加 者 数	79 人
開　催　日	平成 28 年 8 月 29 日(月)	開 催 場 所 ・FabCafe MTRL（東京都）	
内　　容			

アーティストの眼差しから改めてアートの役割を問い直し、情報の捉え方を少しずつ紐解くためのトークシリーズ。茨城県北芸術祭からは飴屋法水が参加した。8 月に本谷有希子氏と共同制作した作品について、また県北芸術祭のために飴屋が行ったリサーチの様子や、ベールに包まれた今回の作品について語った。

イベント名	KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭 前夜祭	参 加 者 数	500 人
開　催　日	平成 28 年 9 月 16 日(金)	開 催 場 所 ・日立シビックセンター 新都市広場（日立市）	
内　　容			

茨城日産自動車株式会社提供の電気自動車を動力源として、ラファエル・ローゼンダールの映像作品《from here to there (selected websites)》を日立シビックセンターの大壁面で上映するとともに、キッチンカーを用いての地元グルメの販売、watowa inc.による DJ/VJ イベントを行うことで、芸術祭の始まりを美しい満月のもとで祝う前夜祭となった。

イベント名	スマイリー・バッグ・ポートレート	参 加 者 数	176 人
開　催　日 開 催 場 所	平成 28 年 9 月 16 日(金)　多賀パルコ前（日立市） 平成 28 年 9 月 17 日(土)　旧富士ケ丘小学校（北茨城市） 平成 28 年 9 月 18 日(日)　穂積家住宅（高萩市） 平成 28 年 9 月 19 日(月・祝)　旧美和中学校（常陸大宮市） 平成 28 年 9 月 21 日(水)　旧コウワ前（常陸太田市） 平成 28 年 9 月 22 日(木・祝)　大子町文化福祉会館「まいん」（大子町）		
内　　容			

巷に行き渡っているチープなスマイリーバッグに一人ひとりの似顔絵を描いていくプロジェクト。元は全て同じバッグのはずが、参加者それぞれのユニークさが刻み付けられ、この世にふたつとない作品が仕上がっていく。パフォーマンスは県北地域の 6 会場で実施され、毎回行列ができるほどの人気企画となった。

イベント名	やくしまるえつこ《わたしは人類》展示	参 加 者 数	300 人
開　催　日	平成 28 年 9 月 16 日(金)～9 月 30 日(金) 平成28年11月10日(木)～11月20日(日)	開 催 場 所 ・FabCafe Tokyo バイオラボ（東京都）	
内　　容			

「音源」と「遺伝子組換え微生物」の形で発表する作品《わたしは人類》の微生物と、《わたしは人類》の世界観とリンクするやくしまるの楽曲「ロンリープラネット」を染色体に組み込んだ微生物が展示された。

イベント名	常陸佐竹市役所 開庁式	参 加 者 数	100 人
開　催　日	平成 28 年 9 月 17 日(土)	開 催 場 所 ・鯨ヶ丘地域（常陸太田市）	
内　　容			

想像上の自治体・常陸佐竹市役所の開庁式を開催した。深澤孝史仮市長の挨拶に始まり、川又愼氏による「舞鶴城哀歌」の披露、市民の代表らによるテープカットが行われた。佐竹氏の象徴である毛虫をかたどった輪の中に、月に五本骨扇の羽を持つ蝶が描かれた市章も紹介された。常陸佐竹市民と来場者で賑わった。

イベント名	HIBINO HOSPITAL KENPOKU ART 2016 版 「あの日学びながら見ていた風景」	参 加 者 数	約 300 人
開　催　日	平成 28 年 9 月 17 日(土)～11 月 20 日(日)	開 催 場 所 ・旧富士ケ丘小学校（北茨城市）	
内　　容			

日比野克彦と学生 16 名は、3 日間の合宿を行いながら、廃校になった小学校の教室を舞台に、公開ワークショップを行った。3 つの教室いっぱいに広がったダンボールの作品に、会期中ここを訪れた人たちが、教室の窓から見えるその日の風景を色紙のチップを貼って描き出してゆき、季節のうつろいとともに作品も日々変化していった。

イベント名	藝大子アートプロジェクト2016 開会式	参 加 者 数	70人
開　催　日	平成28年9月18日(日)	開 催 場 所	・大子町文化福祉会館「まいん」（大子町）
内　　　容	東京藝術大学がタイ・シラパコーン大学、ベトナム美術大学を招聘し、油画、彫刻、漆芸、金工の各チームが大子町各地で実施する「藝大子アートプロジェクト」のオープンを祝い、開会式を行った。関係者による挨拶の後、各チーム及び招聘大学が活動内容を発表した。		

イベント名	夕方のニットインベージョン@常陸多賀	参 加 者 数	70人
開　催　日	平成28年9月18日(日)、10月9日(日)、11月5日(土)	開 催 場 所	・常陸多賀駅前商店街（日立市）
内　　　容	力石咲による《ニット・インベーダー in 常陸多賀》の作品制作に参加するワークショップ。参加者は作家お手製のニットスーツを着て共にニット・インベーダーとなり、街を毛糸で編みくるんでいく。初めての参加者でも作家から編み方のレクチャーを受けて編み始めていくと、どんどん上達し、個性的なインベージョンが行われた。		

イベント名	《小さきものの中にある無限の宇宙に咲く花々》特別鑑賞	参 加 者 数	671人
開　催　日	平成28年9月18日(日)、9月19日(月・祝)、9月22日(木・祝)、9月25日(日)、10月2日(日)、10月9日(日)、10月10日(月・祝)、10月16日(日)、10月23日(日)、10月30日(日)、11月3日(木・祝)、11月6日(日)、11月13日(日)、11月20日(日)	開 催 場 所	・茨城県天心記念五浦美術館（北茨城市）
内　　　容	チームラボ《小さきものの中にある無限の宇宙に咲く花々》にて、会期中の日曜と祝日、北茨城市の茶道団体の先生方がたてたお茶を体験するイベントを行った。手の中で散って行く花を鑑賞するひと時は忘れがたい思い出になったことであろう。		

イベント名	シンポジウム「うつろ舟ミニ博物館」	参 加 者 数	約10人
開　催　日	平成28年9月18日(日)	開 催 場 所	・旧美容院（小貝ヶ浜緑地）（日立市）
内　　　容	ヴェンザ・クリストが企画したトークセッション。極地建築家の村上祐資氏とアメリカ在住の宇宙研究者をゲストに招き、それぞれの普段の活動や研究を踏まえながら、宇宙を想像することや自分たちの分からないことを考えること、そしてうつろ舟はどこから来たのかということについて地域の方々と意見を交わした。		

イベント名	慰霊碑建立イベント(除幕式＋入魂の儀)	参 加 者 数	35人
開　催　日	平成28年9月22日(木・祝)	開 催 場 所	・金波寒月・折橋コミュニティステーション（常陸太田市）
内　　　容	プロジェクト内で製作された「発酵微生物」と県北産町屋石を素材とした「人工細胞」の慰霊碑が、金波寒月折橋コミュニティステーション内に芸術祭開催前に恒久設置された。イベントでは、神主のお祓いと関係者による玉串奉納の後、敷地内の元酒蔵を改造した空間で作家や発酵関係者、人工細胞研究者、芸術祭関係者が座談会を行った。		

イベント名	“UNIWENTÉ” The Ritual ウニウェンテ～儀式～	参 加 者 数	約200人
開　催　日	平成28年9月24日(土)	開 催 場 所	・日立シビックセンター 多用途ホール（日立市）
内　　　容	榊原澄人ともう一人の出演者によって行われた無料公開公演。自身の映像作品をバックにグラスや氷を用い、日常生活で行う一連の動作の繰り返しを行いながら、その中に儀式性を見出すようなパフォーマンスを行った。長時間にわたる公演のため、時間をおいて何回か見にくる鑑賞者もいた。		

イベント名	カレーキャラバン in 日立市	参加者数	約80人
開催日	平成28年9月30日(金)	開催場所	・常陸多賀駅前商店街（日立市）
内容	食で人々をつなぐカレーキャラバン。第１回目は、常陸多賀駅前商店街で開催した。SNSでカレー作りの様子を公開し、道行く人々に声をかけながら、キャラバン隊と人々がつながっていった。日立市のさかな「さくらだこ」をトッピングした「ひたちたがたこカレー」は、80食が１時間半で完食となった。		

イベント名	学校に泊って過ごすワークショップ “Now and Then, Here and There”	参加者数	50人
開催日	平成28年10月1日(土)〜10月2日(日)	開催場所	・旧富士ケ丘小学校（北茨城市）
内容	廃校になって間もない旧富士ケ丘小の体育館に泊まり、林剛人丸の作品を眺めながら、学校での出来事を思い出し、お互いの記憶を交感しあうワークショップを開催した。一般の参加者、筑波大学の学生、富士ケ丘の伝統的な郷土芸能「棒ささら」保存会のみなさんも参加くださり楽しく語り合った。		

イベント名	カレーキャラバン in 大子町	参加者数	約80人
開催日	平成28年10月8日(土)	開催場所	・大子町文化福祉会館「まいん」前（大子町）
内容	第2回目は常陸大子駅前商店街。あいにくの雨の中、キャラバン隊を探して近所の子どもたちが手伝いに来てくれた。商店街に作品を見に来た方もカレー作りに参加し、大量のタマネギを必死で刻んだ。大子町特産の奥久慈しゃも、こんにゃくやリンゴの入った「だいご Oh!しゃもカレー」ができる頃には長蛇の列ができた。		

イベント名	日渡の里プロジェクト	参加者数	約200人
開催日	オープニング：平成28年10月8日(土) ワークショップ： 平成28年10月9日(日)、10月15日(土)、10月22日(土) 交流会：平成28年10月10日(月・祝)	開催場所	・旧上岡小学校（大子町）
内容	ポスター展のモデルになった上岡地区および山田地区の方々の協力を得て、お米やぶどう飴等を芸術祭限定お土産品として販売した。けんちん汁と大子産「日本一のお米」のおにぎりが振舞われる交流会やリンゴやこんにゃくを使ったワークショップを実施した。いずれも地域の方と来場者の思い出に残るプロジェクトとなった。		

イベント名	《Achromatic World —いろのないせかい—》パフォーマンス	参加者数	573人
開催日	平成28年10月8日(土)、10月9日(日)、10月10日(月・祝)、10月15日(土)、10月16日(日)、11月3日(木・祝)、11月4日(金)、11月5日(土)、11月6日(日)、11月19日(土)、11月20日(日)	開催場所	・旧美和中学校（常陸大宮市）
内容	展示室入口が絵本の表紙となり、物語の世界に入り込む体験型ライブペインティングショー。参加者はさまざまな動物の役割を担って、チアキコハラと一緒に絵を完成させた。物語の展開とともに繰り広げられる驚きの仕掛けや演出。エンディングロールでは協力してくれたみなさんの紹介もあり、子どもから大人まで魅了された。		

イベント名	ワンモア！物々交換プロジェクト at KENPOKU！	参加者数	79人
開催日 開催場所	旧富士ケ丘小学校 3階展示場（北茨城市） 平成28年10月8日(土)、10月9日(日)、10月15日(土)、11月20日(日) 茨城県県北生涯学習センター（日立市） 平成28年10月10日(月・祝)		
内容	県北6市町ではたくさんの心に残る出会いがあった柚木恵介の物々交換。それらの記録と軌跡が展示されている旧富士ケ丘小学校でも物々交換プロジェクトは引き続き展開された。10月10日には茨城県県北生涯学習センターで開催された「生涯学習フェスティバル」にも出張する等、7〜8月の旅も合わせてプロジェクト全体で542人の方々との交換を達成した。		

イベント名	《リビングルーム鯨ヶ丘》関連プログラム	参加者数	約200人
開催日	平成28年10月9日(土)、10月22日(土)、10月29日(土)、11月5日(土)	開催場所	・リビングルーム鯨ヶ丘（旧コウワ）（常陸太田市）
内容			

リビングルーム鯨ヶ丘では、そこに集まった皆さんの企画で、たくさんのイベントが開催された。将棋大会、ハロウィン、有難亭良慈緒氏と好文亭梅朝氏をお迎えした落語会。茨城県立太田第一高等学校と茨城県立日立第一高等学校の演劇部による高校生演劇祭も行われた。多くの人の日常を共有し、多くの非日常が生まれた。

イベント名	《山海魚 LOVE》をつくろう！ワークショップ	参加者数	52人
開催日	平成28年10月15日(土)	開催場所	・竜神大吊橋（常陸太田市）
内容			

海と山の出会いを象徴するチェ・ジョンファの作品のお披露目にあわせ、家庭で不要になったレジ袋を持参いただき、参加者と一緒に作品制作を行った。

イベント名	常陸佐竹市の歌つくり	参加者数	25人
開催日	平成28年10月16日(日)	開催場所	・鯨ヶ丘地域（常陸太田市）
内容			

作曲家の西井夕紀子氏と佐竹市民、深澤孝史により1番から3番の歌詞が完成。5億年前のカンブリア紀の地層や採掘された石についての歌詞等、アイディアが次々に飛び交い、白熱した時間となった。西井氏により、記憶に残る素敵なメロディもつけられた。

イベント名	芸術祭スタッフと行く！ 東京発着ダイジェストツアー	参加者数	約100人
開催日	［きらめき海コース］平成28年10月22日(土)、11月3日(木・祝)、11月13日(日) ［じっくり山コース］平成28年10月29日(土)		
内容			

様々な作品をバスで効率よく鑑賞できる東京駅発着の日帰りツアーに、芸術祭のキュレーターやマネージャーも同乗し、お客様を案内した。作品のコンセプトや制作過程の様々な話題に触れながら、地域で展開する芸術祭の意義等の話をした。

イベント名	落合陽一のメディアアート体験講座 ～身近なものでメディア装置を作ってみよう～	参加者数	61人
開催日	平成28年10月23日(日)	開催場所	・旧美和中学校（常陸大宮市）
内容			

落合陽一から校庭や教室に展示中の作品の解説とメディア装置の仕組みについての講義を聞いた後に、実際に芸術祭参加作品である《モナドロジー》の装置をスマートフォン等、身の回りの物も使って制作した。暗室の中でライトを点滅させながら全員でシャボン玉を飛ばし、作品を五感で体験することのできた貴重なワークショップとなった。

イベント名	カレーキャラバン in 北茨城市	参加者数	約60人
開催日	平成28年10月29日(土)	開催場所	・旧富士ケ丘小学校（北茨城市）
内容			

第3回目は、旧富士ケ丘小学校での開催となった。作品鑑賞に来場したお客様が急遽予定を変更し助っ人になったり、わざわざ引き返して来てくれた方もいた。地元で水揚げされたアンコウの肝をふんだんに使った「丘あんこうカレー」はこれまでにない趣の贅沢な一品となった。

イベント名	みんなアーティスト チェ・ジョンファさんと翼のはえた動物をつくろう	参加者数	33人
開催日	平成28年10月30日(日)	開催場所	・茨城県天心記念五浦美術館 講座室（北茨城市）
内容			

《Love Me》のお披露目に合わせ、カラフルな粘土を使って参加者自身の干支に翼をつけた不思議な動物をつくるワークショップを行った。世界にひとつだけの思い思いの動物をつくり、大きなブタさんのまわりで作家と一緒に記念撮影。創作の楽しみを体験できるワークショップとなった。

イベント名	ラファエル・ローゼンダール作品上映 《from here to there (selected websites)》	参加者数	850人
開催日 開催場所	平成28年11月4日(金) 石沢地区空き店舗（旧ゲームセンター）（常陸大宮市） 平成28年11月5日(土) 常陸太田市役所 駐車場（常陸太田市）		
内容			

茨城日産自動車株式会社の協力を得、電気自動車から電源を取り、常陸大宮市石沢地区の旧ゲームセンターや常陸太田市役所建物外壁にラファエル・ローゼンダールの映像コンピレーション《from here to there (selected websites)》を投影した。ウェブサイト作品の広大で瞑想的な情景が、街の中に巨大な空間となって出現し、数百人にのぼる観客を魅了した。

イベント名	県北バイオ・ミーティング(KBM)	参加者数	80人
開催日	平成28年11月5日(土)	開催場所	・旧常陸太田市自然休養村管理センター（常陸太田市） ・里山ホテル ときわ路（常陸太田市）
内容			

アーティストと地域の植物研究者、発酵関係者に加え、地質学者、人工生物研究者で３つのトークセッションを行った。県北の地層や生態系、発酵文化、合成生物学と生態系というテーマで、アートと科学の枠組みを超えた意見が交わされ、昼には周辺の自然を巡るエクスカーションとときわ路特製の発酵食ランチを楽しんだ。

イベント名	カレーキャラバン in 常陸大宮市	参加者数	約80人
開催日	平成28年11月5日(土)	開催場所	・コミュニティカフェ バンホフ前（常陸大宮市）
内容			

JR常陸大宮駅近くのカフェの軒先をお借りしての第4回目は､この地域に住むご家族連れも参加しての賑やかなカレー作りとなった。この頃には常連客も生まれ、アート鑑賞とはひと味違ったお楽しみとなってきた。カレーキャラバン通算60回目に重なったため、芋煮で有名なご当地の里芋を使ったカレーは「CURRY No.60」と命名された。

イベント名	カレーキャラバン in 高萩市	参加者数	約80人
開催日	平成28年11月6日(日)	開催場所	・JR高萩駅前「虹の広場」（高萩市）
内容			

JR高萩駅前の通称「虹の広場」で展開された第5回目。近所の肉屋さんからの熱のこもったアドバイスや、そば屋さんが洗い場を提供してくださる等、キャラバン隊の人柄に触れた人々の輪が広がった。地元の味噌を取り入れた「レインボウ☆トリゴボウ☆明日へのキボウカレー」はおかわり希望者続出の一品となった。

イベント名	想像上の市の過去と未来をつなぐ祈願祭 常陸佐竹市祭	参加者数	約100人
開催日	平成28年11月12日(土)	開催場所	・常陸太田市郷土資料館梅津会館から若宮八幡宮まで（常陸太田市）
内容			

想像上の市の過去と未来をつなぐ祈願祭、常陸佐竹市祭が開催された。市民が作った神輿の巡行パレードと奉納からスタート。若宮八幡宮の和田宮司から佐竹力の源流について話があり、神事の後、天下野和華衆、茨城県立佐竹高等学校吹奏楽部による演奏も奉納された。5億年続く「佐竹力」を未来へとつなぐ、大きな一歩となった。

イベント名	ミトゥ・セン ドローイング作品譲渡	参加者数	350人
開催日	平成28年11月14日(月) ～11月17日(木)	開催場所	・茨城県天心記念五浦美術館（北茨城市）
内容			

ミトゥ・センの350点のドローイングは、インドの子どもたちを象徴する肖像画である。会期の最後に「養子縁組」として、無償で希望者に譲渡された。譲り受けた人々は、センが用意した登録用紙にあった「どれくらいの愛情を注ぎますか」等の質問に熱心に答えていた。4日間ですべての子どもが、日本の家々にもらわれていった。

イベント名	エレクトロニコス・ファンタスティコス！～日立通電篇～	参加者数	約500人
開催日	平成28年11月19日(土)	開催場所	・日立シビックセンター マーブルホール（日立市）
内容	和田永と地元サポーターによって結成されたNICOS LAB in HITACHI協業による、《エレクトロニコス・ファンタスティコス！ in 日立》集大成のコンサート。日立市に集まったメンバーだからこそ編み出された新たな電子楽器や演目も登場し、観客も演奏に参加することで会場一体となって、それぞれの気持ちが通電するイベントとなった。		

イベント名	カレーキャラバン in 常陸太田市	参加者数	80人
開催日	平成28年11月19日(土)	開催場所	・常陸太田市郷土資料館梅津会館前（常陸太田市）
内容	鯨ヶ丘の梅津会館前での最終回はキャラバンの集大成。雨にも負けず、これまで参戦してくれた助っ人たちが全員集合。ハッカソン次点の「食の円卓チーム」も現れて、テントの下は大賑わい。雨が上がった夕刻には、ディレクターチームも登場。根菜たっぷりの「土からありがと根～カレー」は、芸術祭の思い出とともに心と体を温めてくれた。		

イベント名	常陸佐竹市を語る会＆常陸佐竹市長選挙	参加者数	約80人
開催日	平成28年11月20日(日)	開催場所	・リビングルーム鯨ヶ丘(旧コウワ)（常陸太田市）
内容	佐竹氏研究会会長の冨山章一氏と劇作家の岸井大輔氏による、常陸佐竹市を語る会が行われた。実際の歴史に加え、ユーモア溢れるトークが繰り広げられた。深澤孝史仮市長と建築家の菊池政也氏による市長選も開催し、僅差で深澤が勝利。同月12日(土)には若宮八幡宮での祭事も行い、新たな歴史を歩み始めた。		

■茨城県北芸術祭実行委員会と他の団体が共催したもの

イベント名	HIBINO HOSPITAL vol.68 @北茨城市「忘れ物を探しに･･･」	参加者数	39人
共催	アーカスプロジェクト実行委員会、茨城県北芸術祭実行委員会		
開催日	平成28年2月6日(土)	開催場所	・北茨城市漁業歴史資料館 よう・そろー 伝承館（北茨城市）
内容	HIBINO HOSPITAL 68回目のワークショップを行った。大津港の浜を散策し、漂流物を忘れ物に見立てて拾い、他の参加者が拾ったものと組み合わせたりしながらスケッチした。そこに台詞を添えることで物語を紡ぎ出し、グループで１冊の本を生み出した。その後、色鉛筆を使って彩色し、グループごとに発表を行った。		

■他の団体等が主催したもの

イベント名	筑波大学芸術系芸術支援学研究室講義	参加者数	約100人
主催	筑波大学		
開催日	平成27年12月14日(月)	開催場所	・筑波大学体芸エリア5C棟5階508教室（つくば市）
内容	齊藤泰嘉氏の提案で、筑波大学芸術学系の学生を対象にレクチャーとサポーター参加への呼びかけを行った。最初に茨城県北芸術祭の開催概要をスタッフから説明、それに続いて、ホセリナ・クルス氏がアジアの現代美術、とりわけ映像表現に関して、スライドを使って具体的な作品を紹介しながら、アジア美術の潮流をレクチャーした。		

イベント名	いばらきアートプロジェクト円卓会議2016	参加者数	53人
主催	茨城県水戸生涯学習センター		
開催日	平成28年3月19日(土)	開催場所	・茨城県水戸生涯学習センター 大講座室（水戸市）
内容	小名浜本町通り芸術祭実行委員会(いわき市)「小名浜本町通り芸術祭」、公益財団法人水戸市芸術振興財団(水戸市)の「カフェ・イン・水戸」と「大友良英『アンサンブルズ2010－共振』」、雨引の里と彫刻実行委員会(桜川市)「雨引の里と彫刻」、茨城県北芸術祭実行委員会「茨城県北芸術祭」の各活動紹介のあと、各プロジェクトのビジョンや抱える課題を通して、地域とアート、そして茨城のアートの明日を考えるシンポジウムを行った。		

イベント名	アートトーク「茨城県北芸術祭の歩き方」	参加者数	50人
主催	茨城県つくば美術館		
開催日	平成28年6月11日(土)	開催場所	・茨城県つくば美術館（つくば市）
内容	「茨城県北芸術祭の歩き方」と題し、キュレーターの金澤韻が豊富な写真やスライドを見せながら、茨城県北芸術祭の特徴や見どころを徹底解説する講座を行った。		

イベント名	Local Design ストーリー再編集と自走するデザイン	参加者数	80人
主催	株式会社ロフトワーク		
開催日	平成28年7月25日(月)	開催場所	・渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール（東京都）
内容	「モノ、コト、ヒトの魅力を伝えるためのストーリーの再編集」と「長期的かつ地域が自走するための仕組み」を軸に、地域をデザインすることについて考えるセミナーに本芸術祭を取り上げていただいた。なぜ、どのようにプロジェクトが始動し、どのように進め、何をもって成功とするのか、ディスカッションを交えながら紹介した。		

イベント名	日経 地方創生フォーラム 官民連携と地域連携で実現する地方創生　～実装に入った地方創生 具体的事例から考える持続可能な経済循環～	参加者数	500人
主催	日本経済新聞社		
開催日	平成28年9月13日(火)	開催場所	・日経ホール（東京都）
内容	総合ディレクターの南條史生が地方創生フォーラムに登壇し、「文化の時代：芸術と地方創生」というテーマで講演を行った。「地域の人が新しいことに取り組む気運をつくり、新しい文化をつくることが地方創生ではないか。近代産業が縮小した現在、クリエイティブ産業への期待は大きい」と語った。		

イベント名	「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」を楽しもう！	参加者数	90人
主催	日立女性フォーラム		
開催日	平成28年9月24日(土)	開催場所	・日立武道館(旧共楽館)（日立市）
内容	日立女性フォーラムは人にやさしいまちづくりを目指す市民団体。バスツアーとともに、茨城県北芸術祭の学習会を自主的に企画してくれた。大正6年に日立鉱山で働く人々のための劇場として建てられ、現在は国の登録有形文化財となっている共楽館を会場に、キュレーターの金澤韻が県北地域の特徴と歴史的な背景を説明し、20作品ほどを紹介した。		

イベント名	茨城県弘道館アカデミー 県民大学講座「県北芸術祭と歴史散歩」	参加者数	93人
主催	茨城県県北生涯学習センター		
開催日 開催場所	平成28年9月28日(水)　日立市 平成28年10月5日(水)　大子町 平成28年10月21日(金)　茨城県天心記念五浦美術館（北茨城市） 平成28年10月28日(金)　常陸太田市		
内容	県民大学講座「県北芸術祭と歴史散歩」に、キュレーターとキュレトリアルスタッフがゲスト講師として参加した。県内各所からの参加者とともに、作品制作の過程や作品の捉え方、鑑賞の仕方等を県北の歴史を踏まえて学んだ。意見交換も盛んに行われ、有意義な時間となった。		

イベント名	第65回 1SS ミニトーク「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」	参加者数	約20人
主催	1SS		
開催日	平成28年10年1日(土)	開催場所	・SUNDAY（東京都）
内容			

コレクターの吉野誠一氏が運営するアートレストランで毎月第1土曜日に開催されている、アート関係者を中心に人々が緩く繋がることを目的とする「1st Saturday Salon」。作家、コレクター、アートファンやアート初心者など多種多様な方が参加する場で、茨城県北芸術祭の特徴と参加作品の一部をスライドで紹介、モデレーターの芦川朋子氏や来場者からの質問に答えた。

イベント名	小学校ワークショップ 「器づくりから楽しむ花生け教室」	参加者数	約200人
主催	高萩市		
開催日	平成28年10月3日(月)～10月4日(火)	開催場所	・高萩市内4小学校（高萩市）
内容			

花道家の上野雄次を講師として招き、高萩市内の全ての小学4年生を対象に、各校で生け花のワークショップを行った。子どもたちは高い集中力と創造性を持って、楽しそうに作品制作に挑んだ。花を生けることを通して、多様な感性を磨くようなアプローチを行った。芸術祭の会期中、その完成作品の写真は穂積家住宅で展示された。

イベント名	茨城県北芸術祭スタディーズ後編 ～芸術祭に行こう～	参加者数	23人
主催	茨城県水戸生涯学習センター		
開催日	平成28年10月14日(金)、10月21日(金)、10月28日(金)	開催場所	・茨城県水戸生涯学習センター（水戸市）
内容			

茨城県水戸生涯学習センターによって企画された芸術祭レクチャーとツアー。ツアーでは茨城県天心記念五浦美術館と六角堂、鯨ヶ丘地域と御岩神社を地域の観光スポットとともに巡った。水戸市からの参加者が多く、アート作品のみならず県北地域についても楽しく学んでもらえる機会となった。

※前編は7月に開催

イベント名	常陸大宮市制施行記念2016×茨城県北芸術祭コラボイベント	参加者数	約700人
主催	常陸大宮市		
開催日	平成28年10月16日(日)	開催場所	・道の駅 常陸大宮 かわプラザ（常陸大宮市）
内容			

常陸大宮市の市制施行記念日に当たるこの日、本芸術祭とのコラボレーションイベントが開催された。常陸大宮市出身のミュージシャンの演奏のほか、塩谷良太はアートについてのトークを、和田永は古い家電を蘇生させた楽器でパフォーマンスを行って会場を沸かせ、アメリカのテクノロジー情報サイトでも話題を呼んだ。

イベント名	トーク「まちにアートをインストールすると起きること」	参加者数	約20人
主催	アートマネジメントオフィスアホイ！		
開催日	平成28年10月22日(土)	開催場所	・八千代市市民ギャラリー（八千代市）
内容			

アートマネジメントオフィスアホイ！の企画で行われたシンポジウム「まちにアートをインストールすると起きること」にキュレーターの金澤韻が、ワコールアートセンターの大田佳栄氏とともに登壇し、茨城県北芸術祭の取り組みを中心に話した。

イベント名	小学生を対象とした作品見学	参加者数	約200人
主催	高萩市		
開催日	平成28年11月2日(水)	開催場所	・高戸海岸(前浜・小浜)（高萩市）
内容			

高萩市立東小学校の1～4年生を対象に、授業時間を活用し、高戸海岸(前浜)と高戸海岸(小浜)に点在している作品に触れてもらった。子どもたちの自由な見方を尊重しながら、制作に携わった芸術祭スタッフが、各作品の作家の意図や作品の成り立ち等を解説。子どもたちに質の高い創造性に触れる機会を提供した。

イベント名	メディアアートとフェスティバル	参加者数	25人
主　　催	文化庁メディア芸術祭20周年企画展実行委員会		
開　催　日	平成28年11月5日(土)	開催場所	・3331 Arts Chiyoda（東京都）
内　　容			
トークイベント「メディアアートとフェスティバル」にキュレーターの金澤韻が登壇し、茨城県北芸術祭の参加作品を紹介した。その後、他の登壇者、「あいちトリエンナーレ2016」キュレーターの服部浩之氏、アーティストのやんツー氏、モデレーターの大阪電気通信大学教授・原久子氏とともに、表題のテーマについてディスカッションした。			

イベント名	ラボの日 スペシャルトーク 「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」を知る！	参加者数	26人
主　　催	札幌国際芸術祭実行委員会事務局		
開　催　日	平成28年11月17日(木)	開催場所	・札幌市資料館1階SIAFラウンジ（札幌市）
内　　容			
札幌国際芸術祭(SIAF)の活動拠点「SIAFラボ」内スペースで開催されたトークで、キュレーターの四方幸子が茨城県北芸術祭を紹介した。展示作品やイベントの現場に関わった者ならではのエピソードを紹介することで、本芸術祭の特徴が浮き彫りとなった。会期終了間近で来場者数が伸び、熱気を帯びるKENPOKU ART 2016の状況を伝えるトークとなった。			

５　応援事業一覧

No.	申請団体名	事業名	実施期間
1	チーム aim＠ZERO	関東ディラリーシリーズ参加	平成28年4月24日(日)～11月20日(日)
2	ひたち国際大道芸実行委員会	第25回ひたち国際大道芸	平成28年5月14日(土)～5月15日(日)
3	いばらき子ども大学	いばらき子ども大学県北キャンパス	平成28年6月25日(土)～平成29年2月18日(土)
4	株式会社常陽銀行	常陽フォトコンテスト～地域の魅力再発見～	平成28年9月17日(土)～12月17日(土)
5	北沢ニジマスセンター	See, Mountains, Art Traut!	平成28年8月1日(月)～11月20日(日)
6	里山ホテル ときわ路	MOSS CAFÉ（モス・カフェ）	平成28年9月17日(土)～11月20日(日)
7	日立女性フォーラム	「KENPOKU ART 2016　茨城県北芸術祭」を学ぼう！	平成28年7月16日(土)･9月24日(土)･10月23日(日)
8	農家レストラン「みらんど袋田」	奥久慈の秋を愛でながらスローフードを召し上がれ「お袋の味」と「真中イタリアン」のコラボレーション	平成28年9月17日(土)～11月27日(日)
9	日立市生活環境部市民活動課	うみやまフォトプロジェクト	平成28年6月17日(金)～10月2日(日)
10	茨城県立歴史館	テーマ展「千波湖の歴史と自然－みんな、いのちはつながっている－」	平成28年8月6日(土)～9月25日(日)
11	高萩市観光協会	第46回高萩まつり	平成28年7月30日(土)～7月31日(日)
12	高萩市観光協会	平成28年度高萩市海水浴場	平成28年7月16日(土)～8月14日(日)
13	茨城県教育庁総務企画部生涯学習課	子どもいきいき自然体験フィールド 100選事業	平成28年7月～平成29年3月
14	茨城県つくば美術館	アートトーク「茨城県北芸術祭の歩き方」	平成28年6月11日(土)
15	吉田正記念事業推進委員会	吉田正音楽記念館奏でガーデンコンサート～吉田メロディーを継承するアーティストたち～	平成28年10月1日(土)
16	吉田正記念事業推進委員会	みんなで奏でよう　吉田メロディーコンサート	平成28年10月29日(土)
17	茨城県生活環境部生活文化課	茨城文化芸術創造・発信事業	平成28年7月2日(土)～10月19日(水)
18	茨城県企画部県北振興課	さとやまビジネスキャンプ2016　キックオフミーティング	平成28年6月26日(日)
19	茨城県企画部県北振興課	いばらき県北 外あそびフェス	平成28年10月1日(土)～10月2日(日)
20	日立市美術展覧会運営委員会	第52回日立市美術展覧会	平成28年9月10日(土)～9月18日(日)
21	北茨城市商工会	第28回雨情の里港まつり	平成28年11月6日(日)
22	茨城県企画部県北振興課	いばらきさとやまビジネスキャンプ2016 キックオフセミナー in 水戸	平成28年7月9日(土)
23	茨城県自然博物館	第67回企画展「外から運ばれて来た生き物たち－youはどうして日本へ？－」	平成28年10月8日(土)～平成29年1月29日(日)
24	西塩子の回り舞台保存会	「西塩子の回り舞台」第6回定期公演	平成28年10月15日(土)～10月16日(日)
25	(一社)常陸太田市観光物産協会	第3回常陸太田市フォトコンテスト	平成28年8月1日(月)～平成29年1月31日(火)
26	うのしまヴィラ／里山ホテル ときわ路	【県北芸術祭】海と山をつなぐ！周遊宿泊優待プロジェクト	平成28年9月17日(土)～11月20日(日)
27	うのしまヴィラ／里山ホテル ときわ路	海と山をつなぐウーヴィーちゃんモアイ像	平成28年9月1日(木)～11月20日(日)
28	茨城県植物園	茨城県植物園等における各種イベントの開催	平成28年7月～平成29年3月
29	茨城県議会公明党地域創生プロジェクト	アートでこの街を元気に！「茨城県北芸術祭講演会」	平成28年7月20日(水)･8月3日(水)
30	公益財団法人 日立市民科学文化財団	Hitachi Starlight Illumination 2016	平成28年11月19日(土)～12月25日(日)

No.	申請団体名	事業名	実施期間
31	公益財団法人 日立市民科学文化財団	第 26 回ひたち秋祭り～郷土芸能大祭	平成28年10月8日(土)～10月9日(日)
32	ひたちとアジアの文化交流をすすめる会	第 14 回ひたち国際文化まつり	平成28年11月13日(日) ※展示は11月8日～13日
33	ひたちジュニア弦楽合奏団	ひたちジュニア弦楽合奏団 第 24 回定期演奏会	平成28年11月20日(日)
34	平成 28 年度茨城県芸術祭実行委員会	平成 28 年度茨城県芸術祭	平成28年9月17日(土)～平成29年1月22日(日)
35	ひたち生き生き百年塾推進本部	百年塾フェスタ 2016	平成28年10月2日(日) 午前10時～午後4時
36	北茨城市商工観光課	第 5 回北茨城市ノルディックウォーキング	平成28年10月22日(土)～10月23日(日)
37	茨城県県北生涯学習センター	茨城県県北生涯学習センター提案講座「ふっとび　ぶっとび　現代アート」	平成28年10月22日(土)～12月10日(土)
38	茨城県県北生涯学習センター	茨城県弘道館アカデミー県民大学講座「県北芸術祭と歴史散歩」	平成28年9月28日(水)～11月2日(水)
39	高萩市立東小学校	砂の造形・ミニ	平成28年7月19日(火)･9月7日(水)
40	北茨城市民夏まつり実行委員会	第 9 回 北茨城市民夏まつり	平成28年8月21日(日) 午前10時00分～午後8時30分
41	常陸太田市教育委員会	常陸太田市指定文化財集中曝涼	平成28年10月15日(土)～10月16日(日)
42	茨城県県北生涯学習センター	平成 28 年度生涯学習フェスティバル	平成28年10月10日(月･祝)
43	常陸太田市西山研修所	西山秋キャンプ	①平成28年10月2日(土)～10月2日(日) ②平成28年10月29日(土)～10月30日(土)
44	丘の上のマルシェ実行委員会	丘の上のマルシェ	平成28年9月4日(日)
45	水戸クリエイティヴウィーク実行委員会	水戸クリエイティヴウィーク 2016	平成28年9月16日(金)～9月22日(木)
46	茨城大学	国際岡倉天心シンポジウム 2016	平成28年9月3日(土)～9月4日(日)
47	茨城県企画部県北振興課	平成 28 年度 教育・研修旅行等促進事業	平成28年8月～12月
48	茨城県農業協同組合中央会	食農教育サッカー漫画「がんばれ！ベジタブルイレブン」vol.16	平成28年9月上旬～
49	株式会社ジオフーズ	茨城県北ジオパーク弁当「ジオ丼」の販売	平成28年9月17日(土)～11月20日(日)
50	小倉屋食堂	茨城県北の恵み「海底火山うどん」	平成28年9月17日(土)～11月20日(日)
51	奥久慈茶業組合	奥久慈茶カフェめぐり	平成28年9月22日(木)～11月6日(日)
52	第 40 回記念 日立市産業祭実行委員会	第 40 回記念 日立市産業祭	平成28年11月12日(土)～11月13日(日)
53	ひたちアートプロジェクト～日立のまちに彩りを～	ひたちアートプロジェクト壁画制作事業～市民と企業のコラボレーション～	平成28年9月25日(日)
54	境町まちづくり推進課	県北芸術祭 2016 出展応援企画“内海聖史”絵画プラン	平成28年9月1日(水)～11月20日(日)
55	よかっぺまつりすすめる会	よかっぺまつり	平成28年9月10日(土)
56	高萩市観光協会	紅葉まつり	平成28年10月29日(土)～11月27日(日)
57	高萩市文化協会	高萩市文化祭	平成28年11月2日(水)～11月6日(日)
58	高萩市観光商工課	高萩！芸術婚活～アート作品に触れ同じ感性の異性との素敵な出会いを～	平成28年10月30日(日)
59	高萩市企画広報課	期間限定レストラン 高萩「萩の茶屋」	平成28年9月17日(土)～12月4日(日)
60	北茨城市	平成 28 年度 第 2 回 婚活サポート事業	平成28年10月15日(土)
61	東日本旅客鉄道株式会社水戸支社	茨城県北芸術祭開催に伴う日立市内高校生によるＪＲ駅『絵画展』	平成28年9月17日(土)～11月20日(日)

No.	申請団体名	事業名	実施期間
62	常陸太田市教育委員会文化課	第 58 回常陸太田市美術展覧会(一般の部)	平成28年11月2日(水)～11月6日(日)
63	日立市教育研究会 図画工作・美術科教育研究部	もじもじ絵文字 ぼくも、わたしもアーティスト	平成28年9月27日(火)～11月20日(日)
64	株式会社アトレ ボックスヒル取手	常磐線 120 周年記念！茨城への扉～常磐線を使って茨城に行こう～	平成28年9月17日(土)･9月24日(土)
65	茨城県北ジオパーク茨城県北ジオアート展実行委員会	茨城県北ジオアート展	平成28年9月17日(土)～11月20日(日)
66	奥久慈大子まつり実行委員会	第 25 回 奥久慈大子まつり	平成28年11月13日(日)
67	日立電鉄タクシー株式会社	タクシーで行く茨城県北芸術祭オススメ観光コース	平成28年9月17日(土)～11月20日(日)
68	東日本旅客鉄道株式会社水戸支社 水戸地区指導センター	県北芸術祭拠点駅におけるおもてなしポスターの展開	平成28年9月15日(木)～11月20日(日)
69	大子町観光協会	2016 大子来人～ダイゴライト～	平成28年11月3日(木･祝)～平成29年1月29日(日)
70	日立市青少年イベント企画部	ペットボトルキャップアート｢日立の四季｣	平成28年10月31日(月)～11月26日(土)
71	宮田邸	錦の美 光峯の織物美術展	平成28年9月24日(土)～11月20日(日)
72	ひたちぎんざもーる商店街	日立銀座二十三夜尊縁日｢トリックアート動物園｣	平成28年9月17日(金)～11月20日(日)
73	茨城県日中友好協会 青年委員会	アジア青年国際交流事業 2016 ASIAN BEAT FES (アジアンビートフェス) 2016	平成28年9月24日(土)
74	森と地域の調和を考える会	地域の魅力探索ツアー	平成28年11月5日(土)
75	日立市立久慈小学校	久慈小文化体験交流会	平成28年10月1日(土)
76	表千家茶道 佐々木社中 佐々木早苗	抹茶おもてなし	平成28年10月22日(土)･11月5日(土)
77	高萩市産業祭実行委員会	第 37 回高萩市産業祭	平成28年11月12日(土)～11月13日(日)
78	inweu	inweu 滝ライブ	平成28年11月3日(木･祝)
79	佐原地区産業文化祭実行委員会	第 32 回佐原地区産業文化祭	平成28年11月6日(日)

6　KENPOKU セレクション参加企業・店舗一覧　　　　【参加企業・店舗数　75 件】

参加企業･店舗	住所	主な商品	販売場所
運平堂本店	日立市大みか町 1-6-7	大みか饅頭 ほか	大みか本店､多賀店､日立店､ぷらっとひたち、かどや
グランバーズ	日立市大みか町 1-6-7	日本酒ゼリー、焼き菓子(クッキー、日立ギヤ)、チーズグラタン	ぷらっとひたち
(有)大髙かおる堂	日立市川尻町 5-16-10	ひたちぽてと、かおるどーなつ 等	大髙かおる堂本店､高萩店
(株)ジオフーズ	日立市川尻町 7-37-14	茨城県北ジオパーク弁当｢ジオ丼｣	道の駅ひたちおおた､さくらカフェひたち
大川屋	日立市久慈町 3-3-20	いわしごま漬、さんま桜干	大川屋
(一社)日立市観光物産協会	日立市幸町 1-1-2	市内土産品・物産(菓子、水産加工品、地酒)	ぷらっとひたち､かどや
イトーヨーカ堂 日立店	日立市幸町 1-16-1	大観のお酒、あさ川、亀印、常陸秋そば、ほしいも、八千代おこし	地下食品フロア､銘店売場
(株)宏和商工 日立酒造工場 直売所	日立市十王町友部 104	清酒、焼酎、リキュール(梅酒)	(株)宏和商工 日立酒造工場直売所
(株)菓匠たけだ	日立市田尻町 5-14-3	日立かすてら、しあわせ通信、カリッとあげまんじゅう	菓匠たけだ田尻店、鮎川店
(有)菊水食品	日立市東大沼町 4-29-11	納豆	菊水食品売店
合資会社 小川屋酒店	日立市弁天町 1-10-4	焼酎共楽各種、清酒常陸蔵	小川屋酒店
パティスリー ましぇり	日立市本宮町 4-1-10	円満かすていら、かみねシュー	パティスリー ましぇり
肉の登利要 高萩店	高萩市春日町 2-15	常陸牛特選ビーフカレー	肉の登利要 高萩店
Les Petites Mains	高萩市春日町 2-25	ケーキ、焼き菓子	Les Petites Mains
和食 かさいな亭	高萩市春日町 2-49	味噌ピーナツアイス	かさいな亭､高萩やすんでっ亭
菓子工房 たつご	高萩市上手綱 66	ロールケーキ	菓子工房 たつご
たつご味噌醸造(株)	高萩市上手綱 75	めしどろぼうさん	たつご味噌醸造(株)売店
fashion ナカヤ	高萩市本町 1-22	婦人服	fashion ナカヤ
煎餅屋 仙七	高萩市本町 2-6	ぬれやき煎餅	煎餅屋 仙七
(有)永寿堂	高萩市安良川 679	八千代おこし	永寿堂本店
左貫園	高萩市大和町 2-49	茶、のり、茶器	左貫園
秀寿司	北茨城市磯原町本町 1-3-1	アンコウの押し寿しのパック	秀寿司
タウンショップ 月の友	北茨城市磯原町本町 2-3-30	県内産清酒、焼酎	タウンショップ月の友
(株)まえけん	北茨城市大津町北町 2-5-18 太信ハイツ 102 号	あんちっぷ	食彩太信､北茨城市役所食堂 マリーン･ランチ
レストラン マルサーラ	北茨城市大津町五浦 2-164	牛すじ煮込み五浦風、手作りピクルス他	レストラン マルサーラ
アリス工房	北茨城市関本町福田 427	黒翡翠鳥の卵(鶏卵)	北茨城観光案内所
てんごころ	北茨城市平潟町 897	きんつば	てんごころ
茨城県天心記念五浦美術館 ミュージアムショップ	北茨城市大津町 2083	ポストカード、クリアファイル、マグネット、菓子	茨城県天心記念五浦美術館 ミュージアムショップ
金砂郷食品(株)	常陸太田市大里町 4137	納豆、焼き菓子	納豆工房
印籠焼本舗 光月堂	常陸太田市木崎二町 857-18	黄門様の印籠焼 竜神印籠焼	道の駅ひたちおおた、竜神大吊橋、桃源
木村屋菓子舗	常陸太田市天下野町 5543-10	ひな菊醤油パイ 黒蜜入かりんとうまんじゅう	自社店舗、道の駅ひたちおおた、竜神大吊橋売店

参加企業･店舗	住所	主な商品	販売場所
伊勢又米穀製粉(株)	常陸太田市中城町 199-3	常陸秋そば(乾麺、粉、冷凍生そば) そば米、そば茶	道の駅 ひたちおおた、桃源、伊勢又米穀製粉
大黒屋	常陸太田市東二町 2254	つり具、小間物	大黒屋
山林堂本店	常陸太田市東一町 2296	水府せんべい、西山荘、野辺の雪、たまごさん７種類、そばれーぬ、まどれーぬ	山林堂本店､イベント会場
あひるの工房 cafe	常陸太田市東三町 2153-3	茨城県の形のクッキー	あひるの工房cafe
アンティークギャラリー 花てまり	常陸太田市東二町 2227	手づくり和小物、ラスク(鯨ヶ丘ラスク物語)、もち(黄門さまの福々餅)	花てまり、 道の駅ひたちおおた
常陸発酵食品ネットワーク 合名会社山口	常陸太田市宮本町 331-9	県北アート＆地酒 茨城県北芸術祭開催記念セット	県北各地の道の駅､酒販店､スーパー､ホテル､旅館､飲食店
里山ホテル ときわ路	常陸太田市増井町 1800	木の里農園のニンジンジュース、 うっかりせんべいなど常陸太田の産品	里山ホテルのフロント及びロビー
(同)ポットラック フィールド里美	常陸太田市大菅町 18	アイスコーヒー	道の駅ひたちおおた､道の駅さとみ 等
SUNNY SUNDAY	常陸太田市東一町 2295-2	ステーショナリー(マスキングテープ)、雑貨品	SUNNY SUNDAY
コミュニティカフェ バンホフ	常陸大宮市上町 932	方言手ぬぐい 方言ステッカー	コミュニティカフェ バンホフ
ごぜんやま温泉 四季彩館	常陸大宮市長倉 407-2	ゆず・りんごサイダー、 ゆずジンジャエール、ゆずきれい	四季彩館､道の駅 常陸大宮 等
(有)軍司麺業	常陸大宮市野口 1361	ごぜんやまらーめん	(有)軍司麺業
根本酒造(株)	常陸大宮市山方 630	久慈の山、カミマル	根本酒造､道の駅(常陸大宮､奥久慈だいご) など
まるしんドライブイン	常陸大宮市舟生 1003	味一番うどん	まるしんドライブイン
Patisserie ヒカリノ木	常陸大宮市抽ケ台町 804-14	ケーキ、焼菓子	Patisserie ヒカリノ木
滝味の宿 豊年万作	大子町袋田 169-3	奥久慈りんごのアップルパイ	滝味の宿 豊年万作
奥久慈しゃも生産組合	大子町袋田 3721	奥久慈しゃも肉	奥久慈しゃも生産組合
リバーサイド奥久慈 福寿荘	大子町池田 2694	籠入り刺身こんにゃく、凍みこんにゃく	リバーサイド奥久慈 福寿荘
道の駅奥久慈だいご	大子町池田 2830-1	茶、こんにゃく	道の駅奥久慈だいご売店
大子製菓協業組合	大子町池田 728	奥久慈のチーズケーキ各種、久慈の清流、常陸大黒蒸し羊羹	直営店：お菓子の麻呂宇土
森山フォトシステムズ	大子町池田 2630	県内観光名所の写真	同店舗､大子町内観光施設
酒蔵ギャラリー	大子町大字内大野 1887	日本酒、リキュール	酒蔵ギャラリー
月待の滝もみじ苑	大子町川山 1369-1	オリジナル常陸秋そばかりんとう	月待の滝もみじ苑
奥久慈茶の里公園	大子町左貫 1920	茶、野菜、みやげ品	物産館
(有)かねた園	大子町左貫 3029	奥久慈茶	道の駅(常陸大宮､みわ)､ 物産センターかざぐるま
宮川製菓協業組合	大子町下野宮 1657	久慈川の氷華餅、八溝の金性水、 焼きドーナツ絆の和、きみにあんがちょ	宮川製菓協業組合､観光地各売店
糀や 菊池商店	大子町下野宮 765	手作り味噌、味噌漬等	道の駅奥久慈だいご
(株)家久長本店	大子町大子 248-1	大吟醸｢四度の瀧｣、純米酒｢霊水八溝｣	大子町一円
デリカショップ久慈屋	大子町大子 673	弁当	デリカショップ 久慈屋
やまぶん	大子町大子 679	ノート、レターセット、ファイル、画材	やまぶん
daigo cafe	大子町大子 688	奥久慈紅茶、 奥久慈りんごのアップルパイ	daigo cafe

参加企業･店舗	住所	主な商品	販売場所
パン工房 サンローラン	大子町大子 719	パン、おにぎり、ケーキ	パン工房サンローラン
一日カフェゆらぎ	大子町大子 730	アップルパイ	一日カフェゆらぎ
小崎陶器店	大子町大子 734	漆器、陶器、キッチン雑貨 など	小崎陶器店
ゆばの里 三宝産業(株)	大子町塙 734	ゆば	ゆばの里大子町本社売店
みらんど袋田	大子町袋田 383-1	コンニャク、弁当	みらんど袋田､道の駅奥久慈だいご
大子温泉保養センター森林の温泉	大子町矢田 15-12	茶、こんにゃく	森林の温泉売店
大子温泉やみぞ	大子町矢田 524-2	大子町で製造された土産用菓子類	大子温泉やみぞ ロビー売店スペース
奥久慈茶業組合	大子町左貫 2312	該当茶園の各種商品(煎茶等) 茶園により異なる(奥久慈茶ＨＰに内容掲載)	該当茶園の店頭
阿さ川製菓(株)	水戸市元石川町富士山 325-19	水戸の梅、のし梅、吉原殿中	五浦美術館､道の駅常陸大宮
亀じるし製菓(株)	水戸市見川町 2139-5	水戸の梅、のし梅、吉原殿中	亀じるし製菓 那珂ｲﾝﾀｰ店､常陸太田店 他
茨城大学	水戸市文京 2-1-1	五浦コヒー（サザコーヒーと共同開発）	サザコーヒー茨城大学店 他
(有)こうじや	大洗町磯浜町 3666-1	三浜たこめし、つけけんちん	大洗駅､大洗水族館､エクセルみなみ､道の駅(常陸大宮､さかい､かつら)､山方物産店
(株)鈴木ハーブ研究所	東海村村松 2461	パイナップル豆乳ローション、 水戸の納豆ローション	鈴木ハーブ研究所店頭

7　各種イベント・キャンペーン等を通じたPR活動の実績

期日	催事名（場所）
平成28年4月4日～10日	辰ノ口さくら祭り（常陸大宮市）
平成28年4月9日～10日	日立さくらまつり（日立市）
平成28年4月16日	青空市「高萩うまるしぇ」（高萩市）
平成28年4月24日	やすらぎの里さくら祭り（常陸大宮市）
平成28年4月29日～5月5日	笠間の陶炎祭（笠間市）
平成28年5月3日	博多どんたくまつり（福岡県）
平成28年5月5日	第27回竜神峡鯉のぼりまつり（常陸太田市）
平成28年5月14日～15日	第25回ひたち国際大道芸（日立市）
平成28年5月15日	川原の音楽会（常陸大宮市）
平成28年5月15日	神戸まつり（神戸市）
平成28年5月19日～22日	上海世界旅行博覧会(WTF2016)（中国）
平成28年5月20日～22日	いばらきスイートフェア（茨城県庁）
平成28年5月20日～21日	タイガースジェット公開イベント（神戸空港）
平成28年5月20日～21日	台北国際観光博覧会(TTE)（台湾）
平成28年5月21日～22日	常陸国YOSAKOI祭り（大子町）
平成28年5月21日～22日	全国餃子まつりinうつのみや（宇都宮市）
平成28年5月25日	北茨城市観光協会総会（北茨城市）
平成28年5月27日	常陸太田市文化団体連合会総会（常陸太田市）
平成28年6月1日	外務省飯倉公館でのレセプション（東京都港区）
平成28年6月16日～19日	香港国際旅行展示会（香港）
平成28年6月17日～19日	夏の観光キャンペーン（イオンモールつくば）
平成28年6月22日	日立市観光物産協会総会（日立市）
平成28年6月25日	一青窈 コンサート（日立市）
平成28年6月30日	茨城県人会連合会懇親会（東京都）
平成28年7月1日～3日	夏の観光キャンペーン（イオンレイクタウン）
平成28年7月1日	おもてなし観光週間街頭キャンペーン（JR水戸駅、大洗鹿島線新鉾田駅）
平成28年7月2日	日立一高OB会東京同窓会（東京都）
平成28年7月3日	第2回おもてなし県民大会（常陸太田市）
平成28年7月4日	おもてなし観光週間街頭キャンペーン（JR土浦駅、日立駅、下館駅）
平成28年7月16日～18日	2016スカイ･ビア＆YOSAKOI祭（北海道）
平成28年7月17日	ひたちサンドアートフェスティバル（日立市）
平成28年7月17日･20日	都市対抗野球（東京ドーム）
平成28年7月22日	常磐線利用促進街頭キャンペーン（高萩市）
平成28年7月22日･8月2日･4日	常陸太田市総合計画まちづくり懇談会（常陸太田市）
平成28年7月23日	茨城県北芸術祭キャンペーン（カシマスタジアム）
平成28年7月25日	茨城県北芸術祭PRキャラバン（栃木県）

期日	催事名（場所）
平成 28 年 7 月 28 日	茨城県北芸術祭 PR キャラバン（福島県）
平成 28 年 7 月 30 日～31 日	第 46 回高萩まつり（高萩市）
平成 28 年 8 月 6 日～7 日	第 39 回世田谷ふるさと区民まつり（東京都世田谷区）
平成 28 年 8 月 6 日～7 日	水戸黄門まつり サマードリームフェスタ（水戸市）
平成 28 年 8 月 11 日	2016 ハーバーランドの日（神戸市）
平成 28 年 8 月 17 日	北茨城市女性連盟役員会（北茨城市）
平成 28 年 8 月 21 日	第 9 回北茨城市民夏祭り（北茨城市）
平成 28 年 8 月 27 日	第 74 回国民体育大会・第 19 回全国障害者スポーツ大会常陸太田市実行委員会設立総会・第 1 回総会（常陸太田市）
平成 28 年 8 月 27 日～28 日	まつりつくば 2016（つくば市）
平成 28 年 9 月 3 日	第 17 回日立くるまフェア（笠松運動公園）
平成 28 年 9 月 4 日	丘の上のマルシェ（大子町）
平成 28 年 9 月 8 日	「気になるイバラキ」秋の観光キャンペーン（JR 品川駅）
平成 28 年 9 月 9 日～11 日	中国(広東)国際旅游産業博覧会 2016（中国）
平成 28 年 9 月 10 日	よかっぺまつり（常陸多賀駅前）
平成 28 年 9 月 10 日	チャイコフスキー記念 国立モスクワ音楽院 日露交歓コンサート 2016（常陸太田市）
平成 28 年 9 月 17 日～10 月 2 日	うみやまフォトプロジェクト（日立市）
平成 28 年 9 月 18 日	茨城県観光 PR in 友部 SA（友部サービスエリア）
平成 28 年 9 月 24 日	アジア青年国際交流事業～Asian Beat Fes 2016（日立市）
平成 28 年 10 月 1 日～31 日	茨城空港フェア in 川又書店水戸店（水戸市）
平成 28 年 10 月 1 日～2 日	沖縄旅フェスタ 2016（沖縄県）
平成 28 年 10 月 7 日～9 日	JR 駅からハイキング（日立市）
平成 28 年 10 月 8 日～9 日	ひたち秋祭り～郷土芸能大祭（日立市）
平成 28 年 10 月 16 日	空の日イベント（神戸市）
平成 28 年 10 月 22 日～23 日	ワクドキ ハロウィン アウトドアフェス 2016 in グリンヴィラ（大子町）
平成 28 年 11 月 1 日	あいさつ運動 駅前キャンペーン（高萩市）
平成 28 年 11 月 12 日～13 日	第 37 回高萩市産業祭（高萩市）
平成 28 年 11 月 13 日	奥久慈大子まつり（大子町）

8　メディア掲載実績

※以下の掲載実績は、事務局にて確認ができた芸術祭関連情報のうち、主なもの（WEB を除く）をとりまとめたものであり、全てのメディア情報を網羅したものではありません。

（順不同）

区分	媒体名等
新聞	・朝日新聞　・毎日新聞　・読売新聞　・産経新聞　・日本経済新聞 ・北海道新聞　・東奥日報　・福島民友　・茨城新聞　・常陽新聞 ・下野新聞　・埼玉新聞　・東京新聞　・熊本日日新聞　・交通新聞 ほか多数 ※連載記事 茨城新聞「自然との対話 県北芸術祭開幕へ」計 2 回（H28.9/16・9/17） 「茨城県北芸術祭 作品を見に行く」計 6 回（H28.9/21・9/28・10/5・10/12・10/19・10/26） 「『ケンポク』発信 県北芸術祭閉幕」計 3 回（H28.11/25～11/27） 東京新聞「茨城県北芸術祭 2016 作品紹介」計 10 回 （H28.9/26・9/29・10/1・10/5・10/8・10/12・10/19・10/20・10/27・10/28）
雑誌・フリーペーパー等	・美術の窓（平成 27 年 11 月号・平成 28 年 9～12 月号） ・美術手帖（平成 27 年 12 月号・平成 28 年 1 月号・8 月号・10 月号） ・月刊アートコレクターズ（平成 28 年 5 月号・8～9 月号） ・月刊ギャラリー（2016 Vol.7） ・商店建築（平成 28 年 9～12 月号） ・月刊 MdN（平成 28 年 9～10 月号） ・月刊美術（平成 28 年 10 月号～平成 29 年 1 月号） ・ランドネ（平成 28 年 10～12 月号） ・散歩の達人（平成 28 年 11 月号） ・旅行読売（平成 28 年 11 月号） ・月刊コロンブス（平成 28 年 9 月号・11 月号） ・T JAPAN（第 4 号・第 7 号） ・FIGARO japon（平成 28 年 3 月号・11 月号） ・Numero TOKYO（No.93・95・101・102） ・Art Collectors IN Asia（Vol.7） ・Discover Japan（平成 28 年 8 月号・10～11 月号） ・SPRiNG（平成 28 年 9～10 月号・12 月号） ・BRUTUS（No.836） ・Casa BRUTUS（No.197・200・201） ・CREA（平成 28 年 10～11 月号） ・Hanako（No.1115・1121・1122） ・OZ magazine（平成 28 年 10～11 月号） ・OZ TRIP（平成 28 年 10 月号） ほか多数 ※連載記事 美術の窓、月刊アートコレクターズ 特別連載企画 計 6 回（H28.5/20～7/25） 茨城朝日　KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭 計 13 回（H27.11/18～H28.10/19） 常陽藝文　SPOT ―海か、山か、芸術か？「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」今年 9 月開催 計 3 回（H28.4/1～8/1） よみうりタウンニュース 県北芸術祭 計 6 回（H28.9/22～11/17）

行政広報紙	・県政情報紙 ひばり（平成 28 年 1 月号・4～5 月号・7～11 月号） ・日立市報 ひたち（平成 28 年 2 月 20 日号・3 月 20 日号・4 月 20 日号・5 月 20 日号・7 月 5 日号・7 月 20 日号・8 月 20 日号・9 月 5 日号・9 月 20 日号・10 月 5 日号） ・広報 ひたちおおた（平成 28 年 4 月号・7～10 月号・12 月号） ・市報 たかはぎ（平成 28 年 5 月号・9 月号・11～12 月号） ・広報 きたいばらき（平成 28 年 8～10 月号） ・広報 常陸大宮（平成 28 年 4～12 月号） ・広報 だいご（平成 28 年 7 月号・10～11 月号） ・広報 いたこ（平成 28 年 8 月号）　・市報 なめがた（平成 28 年 8 月号） ・広報 とうかい（平成 28 年 8 月号） ・広報 さくらがわ おしらせ版（8/15）　・広報 かみす（平成 28 年 8 月 15 日号） ・広報 みと（平成 28 年 9 月 15 日号） ・栃木県政広報紙 とちぎ県民だより（平成 28 年 10 月号）
テレビ	・NHK　「ひるまえほっと」（H28.9/16・9/27） 「おはよう日本」（H28.9/21・10/28） ・NHK 水戸放送局　「茨城ニュース いば 6」 （H28.4/24・7/29・9/14・9/16・9/29・10/1・10/5・10/27） 「県域ニュース」（H28.6.11） 「いばっチャオ！」（H28.8/26） 「茨城ニュース 845」（H28.9/29） ・NHK Eテレ　「日曜美術館アートシーン」（H28.10/16） ・テレビ朝日　「羽鳥慎一モーニングショー」（H28.9/23） 「磯山さやかの旬刊！いばらき」（H28.10/7・10/14） ・テレビ東京　「NEWS アンサー」（H28.9/23） 「モーニングチャージ！」（H28.10/28） ・テレビ埼玉　「情報番組マチコミ」（H28.10/12・10/19） ・ケーブルテレビ JWAY　「デイリーひたち」 「ピックアップ情報」 「インフォメーションコーナー」 ・つくばケーブルテレビ ACCS「ウィークリーACCS」　ほか多数
ラジオ	・茨城放送　「ミツコ de リラックス」（H28.4/21・9/29） 「教えて！県政」（H28.9/12） 「（県北）芸術祭が人や地域をつなぐ」 （H28.9/30・10/7・10/14・10/21・10/28・11/4） 「スクーピーレポート」（10/12・10/19・11/11） 「HAPPY パンチ」（11/8） 「土曜王国（サタデイキングダム）」（H28.10/15） ・FM ひたち　「ハラペコキッズ」（H28.5/7・10/2・10/15・10/30・11/13） 「Ibaraki Amazing」（H28.8/26・10/7） 「日立の元気人」（H28.9/16・9/26・10/14・11/18） 「夕焼け小焼け after4」（11/11） ・たかはぎ FM　「イバラキアメージングランドスケープス」（H28.9/2） 「ママキッズらじお」（H28.10/19・11/2） ・FM ぱるるん　「Precious プレシャス 中継コーナー」（H28.10/26） ・FM うしくうれしく放送　「ひるラジ 854 輪 IN ひろば」（H28.10/20） ・ラジオ福島　「いわき情報ガイドブック」（H28.9/29）

9　芸術祭を組み込んだ旅行商品造成の状況

※芸術祭の展示会場をコースに含む旅行商品のうち、事務局で把握できたものを掲載。

旅行会社名	旅行商品名	発着エリア
株式会社ぽけかる倶楽部	高さ100ｍ！本州一長い吊り橋から眺める絶景＆真っ赤な絨毯コキア鑑賞バスツアー （出発日：平成28年10月7日～8日）	首都圏
	コキア＆袋田の滝＆竜神大吊橋鑑賞バスツアー　お弁当付き （出発日：平成28年10月8日）	首都圏
	花園渓谷絶景ハイキングとガラス玉作り体験＆太平洋に浮く絶景駅舎見学1泊2日バスツアー （出発日：平成28年10月9日）	首都圏
	日本三名瀑「袋田の滝」＆水戸光圀ゆかりの常陸太田で楽しむKENPOKU 芸術祭 2016 1泊2日バスツアー （出発日：平成28年10月22日）	首都圏
	日立ジオサイト 日本最古の地層＆日鉱記念館＆奇岩連なる堅破山散策バスツアー （出発日：平成28年10月22日）	首都圏
	炭坑夫たちが暮らした街・常盤炭田ジオサイト見学＆野口雨情記念館見学バスツアー （出発日：平成28年10月25日）	首都圏
	五浦海岸ジオサイト 岡倉天心・横山大観が愛した青い海「五浦海岸」ウォーキングバスツアー （出発日：平成28年10月27日、11月11日）	首都圏
	大宮段丘ジオサイト＆807年創建のパワースポット「鷲子山上神社」参拝バスツアー （出発日：平成28年10月29日）	首都圏
	紅葉のトンネル花貫渓谷＆長さ本州一の竜神大吊橋の紅葉＆袋田の滝鑑賞バスツアー （出発日：平成28年11月16日、19日）	首都圏
	日本三名瀑のひとつ！袋田の滝ジオサイト＆本州最大級の歩行者専用橋「竜神大吊橋」バスツアー （出発日：平成28年11月19日）	首都圏
	絶景眺望！紅葉の竜神大吊橋と常陸秋そば そば打ち体験 1泊2日バスツアー （出発日：平成28年11月19日）	首都圏
	紅葉のトンネル花貫渓谷＆指定文化財「穂積家住宅」とお屋敷通り散策バスツアー （出発日：平成28年11月20日）	首都圏
株式会社はとバス	茨城県北芸術祭と日本画体験にふれる旅 （出発日：平成28年10月22日）	首都圏
	常陸路紅葉三名所　花貫・竜神・袋田めぐり （出発日：平成28年11月3日～20日）	首都圏
クラブツーリズム株式会社	那珂湊で寿司食べ放題 関東の名瀑！錦秋の袋田の滝 （出発日：平成28年11月2日～18日）	首都圏
	茨城を代表する紅葉名所 日本三名瀑！袋田の滝と紅葉のトンネル花貫渓谷 （出発日：平成28年11月2日～20日）	首都圏
	那須温泉と常陸紅葉めぐり （出発日：平成28年11月3日～21日）	首都圏
	WEB限定 茨城秋の道の駅めぐりと常陸秋ソバ 朝採れ野菜や海産物のお買物 （出発日：平成28年11月8日～20日）	首都圏

旅行会社名	旅行商品名	発着エリア
クラブツーリズム株式会社	袋田の滝・花貫渓谷・龍門の滝・竜神大吊橋・紅の吊り橋　ホテルサンバレー那須2日間（募集型） （出発日：平成28年11月9日～20日）	首都圏
	女性限定一人旅 芸術ガイドがご案内 今年初開催！KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭 2日間 （出発日：平成28年11月12日）	首都圏
	紅に染まる袋田の滝・花貫渓谷・龍門の滝・竜神大吊橋・紅の吊橋　ホテルより望む絶景の那須の雲海　休暇村那須 （出発日：平成28年11月17日～18日）	首都圏
	ひとり旅 芸術ガイド同行で効率よくめぐる「茨城県北芸術祭」と福島２つの美術館 （出発日：平成28年11月18日～19日）	首都圏
クラブツーリズム株式会社首都圏第2バス旅行センター	奥久慈紅葉！袋田の滝 紅葉のトンネル花貫渓谷 （出発日：平成28年11月9日～28日）	首都圏
株式会社JTB	KENPOKU ART 2016 アートダイビング うのしまヴィラ宿泊 （出発日：平成28年11月5日）	首都圏
	KENPOKU ART 2016 アートダイビング 袋田温泉思い出浪漫館宿泊 （出発日：平成28年11月19日）	首都圏
読売旅行	紅葉の日本三名瀑！袋田の滝と竜神大吊橋 （出発日：平成28年11月5日～13日）	首都圏
株式会社グッドツーリスト	茨城2大紅葉と茨城名物を堪能！日帰りバスツアー （出発日：平成28年11月6日～17日）	首都圏
株式会社阪急交通社	日本三名瀑・関東最大級の吊り橋に生える紅葉めぐり （出発日：平成28年11月12日）	首都圏
十和田市現代美術館 パートナーズ事務局	スペシャルアートツアー 茨城県北芸術祭編 （出発日：平成28年11月16日）	青森
株式会社読売旅行仙台営業所	紅葉に染まる！袋田の滝・花貫渓谷と筑波山ロープウェイ紅葉空中散歩 2日間 （出発日：平成28年11月19日～23日）	仙台
河北新報トラベル	五感で満喫バスツアー 茨城の魅力再発見「袋田の滝」竜神大吊橋 つくば 2日間 （出発日：平成28年10月2日～3日）	仙台
株式会社阪急交通社 新潟支店	いばらき魅力発見！茨城県北芸術祭・筑波山と日本三名瀑「袋田の滝」・話題の銚子電鉄2日間 （出発日：平成28年9月17日～19日）	新潟
	いばらき魅力発見！茨城県北芸術祭・筑波山 紅に輝くコキア・秋桜と寿司食べ放題 （出発日：平成28年10月7日～11日）	新潟
	いばらき魅力発見！茨城県北芸術祭・筑波山 紅葉の袋田の滝・竜神大吊橋と大桶刺身12種盛 2日間 （出発日：平成28年11月17日～21日）	新潟
株式会社タビックスジャパン新潟支店	袋田の滝・竜神大吊橋とKENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭 日光・輪王寺「家康公御位牌初公開」 （出発日：平成28年10月25日～11月4日）	新潟
アルピコ長野トラベル株式会社	よかっぺ茨城 漫遊の旅 （出発日：平成28年9月5日～10月6日）	長野
クラブツーリズム株式会社北海道旅行センター	じっくり日光東照宮と会津・大内宿 筑波山、偕楽園、袋田の滝、竜神大吊橋 いばらき満喫の旅 （出発日：平成28年9月17日～11月23日）	札幌
株式会社阪急交通社	伊丹空港発着 茨城県北芸術祭と濃溝の滝 鋸山 袋田の滝 竜神峡・大吊橋 花貫渓谷 5大絶景をあるく 3日間 （出発日：平成28年11月9日、10日、14日、16日、17日）	大阪・兵庫

旅行会社名	旅行商品名	発着エリア
株式会社阪急交通社	神戸空港発着 茨城県北芸術祭と濃溝の滝 鋸山 袋田の滝 竜神峡・大吊橋 花貫渓谷 5大絶景をあるく 3日間 （出発日：平成28年11月14日）	兵庫
クラブツーリズム株式会社関西バス旅行センター	北関東知られざる名所や絶景スポット2日間 （出発日：平成28年9月8日、19日）	神戸
	茨城県北芸術祭と鬼怒川温泉 （出発日：平成28年11月1日～30日）	神戸
株式会社読売旅行神戸営業所	鬼怒川温泉と大谷資料館・日光東照宮2日間 （出発日：平成28年9月20日～26日）	神戸
	鬼怒川温泉と北関東紅葉6景めぐり2日間 （出発日：平成28年10月26日～11月10日）	神戸
沖縄ツーリスト株式会社	スカイマーク就航記念 北関東花の名所めぐり3日間 （出発日：平成28年10月3日～11日）	沖縄
株式会社国際旅行社	日光東照宮と袋田の滝 贅沢3日間の旅 （出発日：平成28年9月23日～10月15日）	沖縄
いばらきツアーオフィス	【よいとこプラン】KENPOKU ART 2016 ツーデープラン 海か、山か、芸術か？ 袋田温泉宿泊「山と芸術コース」 （出発日：平成28年10月12日）	水戸駅
	【よいとこプラン】KENPOKU ART 2016 ツーデープラン 海か、山か、芸術か？ 五浦温泉宿泊「海と芸術コース」 （出発日：平成28年10月26日）	日立駅
	【よいとこプラン】KENPOKU ART 2016 ワンデープラン ひたちのかたちと茨城県北芸術祭を楽しむ （出発日：平成28年9月25日）	日立駅
	【よいとこプラン】KENPOKU ART 2016 ワンデープラン 御岩神社とひたち秋祭り：郷土芸能大祭・茨城県北芸術祭を楽しむ （出発日：平成28年10月8日）	日立駅
	【よいとこプラン】KENPOKU ART 2016 ワンデープラン りんごでジャム作り体験＆茨城県北芸術祭を巡る秋の大子満喫ツアー （出発日：平成28年10月8日）	袋田駅／常陸大子駅
	【よいとこプラン】KENPOKU ART 2016 ワンデープラン 芸術の秋を満喫！常陸太田の茨城県北芸術祭を鑑賞するツアー （出発日：平成28年10月16日）	水戸駅
	【よいとこプラン】KENPOKU ART 2016 ワンデープラン 食・自然・芸術の秋をまるごと満喫!!北茨城陶芸体験ツアー （出発日：平成28年10月23日）	大津港駅／磯原駅

・上記のほか、県北臨海3市（日立市、高萩市、北茨城市）の事業として、受注型企画旅行5件が造成された。

10　視察・見学等の受入実績

区分	件数	主な団体名
行政関係視察	13	茨城県議会、日立市議会、常総市、北茨城市議会、中野区議会、白川市、目黒区、千葉県、文化庁、国際交流基金、アメリカ大使館　ほか
学校・教育関係	83	茨城県公立学校長、茨城県高等学校文化連盟、磯原郷英高校、大子清流高校、緑岡高校、笠間高校、東海高校、茨城東高校、鉾田第二高校、牛久栄進高校、取手松陽高校（美術科）、北茨城特別支援学校、大子特別支援学校、茨城学園、日立第一高校附属中学校、高萩市立君田中学校、高萩市立秋山小学校、高萩市立東小学校、北茨城市立中郷中学校、北茨城市立磯原中学校、北茨城市立華川中学校、北茨城市立常北中学校、北茨城市立関本小中学校、北茨城市立中郷第一小学校、北茨城市立中郷第二小学校、北茨城市立石岡小学校、北茨城市立精華小学校、北茨城市立明徳小学校、北茨城市立中妻小学校、北茨城市立華川小学校、北茨城市立関南小学校、北茨城市立大津小学校、北茨城市立平潟小学校、常陸太田市立水府中学校、常陸太田市立誉田小学校、常陸太田市立里美小学校、常陸太田市立太田進徳幼稚園、常陸大宮市立大宮中学校（アート部）、常陸大宮市立村田小学校、常陸大宮市立大宮小学校、常陸大宮市立大賀小学校、常陸大宮市立大宮北小学校、常陸大宮市立大宮西小学校、常陸大宮市立山方南小学校、常陸大宮市立美和小学校、大子町立だいご小学校、水戸市立第一中学校、水戸市立第四中学校、水戸市立第五中学校、水戸市立見川中学校、水戸市立内原中学校、笠間市立友部第二中学校、潮来市立延方小学校、かすみがうら市立志筑小学校、坂東市内小中学校、桜川市内中学校（美術部）、桜川市内小学校、境町立猿島小学校、境町立森戸小学校、学童保育園子コロっコロ、山方保育所、おがわ幼稚園　ほか
団体・グループ等	79	アーカスプロジェクト実行委員会、イメージアップ大賞実行委員会、ニュージーランド学生、茨城県報道責任者会・水戸支局長会、石岡市国府地区公民館、茨城新聞社政経懇話会、森ビル関係者、県北ブロック商工会職員協議会、ホノルルビエンナーレ財団、笠間市社会福祉協議会宍戸支部、阿見町社会福祉協議会、茨城県地域女性団体連絡会、茨城県人会、前田東区生涯学習研修、茨城県農林事務所長会議、日立女性フォーラム、北茨城市統計協会、日立市社会福祉協議会 地域支援センターゆうあい、郡山文化協会、明日の茨城を考える 女性フォーラム、日光市文化協会今市支部、中丸地区自治会農工商部会、桜川市ボランティア連絡会、岡倉天心偉績顕彰会、楢葉町・富岡町・大熊町・双葉町関係者、下館市立第六中学校同窓会、桜陰会茨城支部、JA 八王子合同研修、常総市公民館、笠間市公民館、友部町公民館　ほか

（順不同）

11　実施体制

茨城県北芸術祭実行委員会

会　長	橋本 昌 （茨城県知事）
副会長	小川 春樹 （日立市長）
	大久保 太一 （常陸太田市長）
	小田木 真代 （高萩市長）
	豊田 稔 （北茨城市長）
	三次 真一郎 （常陸大宮市長）
	綿引 久男 （大子町長）

委　員

関東運輸局長、茨城県商工会議所連合会会長、茨城県商工会連合会会長、茨城県中小企業団体中央会会長、（一社）茨城県経営者協会会長、茨城県農業協同組合中央会会長、（独）日本貿易振興機構茨城貿易情報センター所長、東京藝術大学美術学部長、筑波大学芸術系長、茨城大学五浦美術文化研究所長、茨城県高等学校文化連盟会長、（公財）いばらき文化振興財団理事長、（公財）茨城県国際交流協会理事長、茨城文化団体連合会長、（公財）日立市民科学文化財団理事長、茨城デザイン振興協議会会長、笠間日動美術館副館長、日本政府観光局（JNTO）理事、（一社）茨城県観光物産協会会長、（一社）茨城県旅行業協会会長、茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合理事長、東日本旅客鉄道（株）水戸支社長、（一社）茨城県バス協会会長、（一社）茨城県ハイヤー・タクシー協会会長、茨城県レンタカー協会会長、（株）茨城新聞社代表取締役社長、日本放送協会水戸放送局局長、（株）茨城放送代表取締役社長、（株）日立製作所電力システム社日立事業所副事業所長、東京ガス（株）茨城事業部長、ＪＸ金属（株）日立事業所長、（公社）日本青年会議所関東地区茨城ブロック協議会会長、茨城県商工会議所青年部連合会会長、茨城県商工会青年部連合会会長、茨城県中小企業青年中央会会長、（一社）茨城県経営者協会青年経営研究会会長

監　事

（株）常陽銀行取締役頭取、（株）筑波銀行代表取締役頭取

顧　問

茨城県議会議長、茨城県市長会長、茨城県町村会長

ディレクターチーム

総合ディレクター	南條 史生
キュレーター	四方 幸子
キュレーター	金澤 韻
クリエイティブディレクター	谷川 じゅんじ
コミュニケーションディレクター	林 千晶
オフィシャルデザイナー	岡本 健
ジェネラルマネージャー	桑原 康介

（平成28年11月20日現在）

茨城県北芸術祭実行委員会　組織図

総　会

以下の事項を審議し，決定する。
①芸術祭に係る基本的な計画
②規約の制定及び改正
③事業計画及び事業報告
④予算及び決算
⑤役員の選出
⑥幹事会への委任
⑦その他重要な事項

承認・委嘱 → 総合ディレクター

総合ディレクター

・事業企画を監督

選任・監督 → 企画スタッフ

企画スタッフ

委嘱 → 顧問

顧　問

・会長の相談に応じる
茨城県議会議長
茨城県市長会会長
茨城県町村会会長

＜役員＞
会長　：茨城県知事
副会長：日立市長
常陸太田市長
高萩市長
北茨城市長
常陸大宮市長
大子町長

幹　事　会

以下の事項を審議・決定し，
結果を総会に報告する。
①芸術祭の開催準備
（重要なものは除く）
②広報に関すること
③総会から委任された事項
④総会招集のいとまのない緊急事項
⑤その他会長が必要と認める事項

＜構成＞
幹事長：茨城県企画部長
幹事　：５市１町企画担当部長等

担当者連絡会議

専 門 部 会　＊任意

実行委員会の円滑な運営を図るため
必要に応じて設置

＜構成＞
部会長：幹事長が指名
部会員：幹事長が必要と認めた者

事務局
茨城県企画部県北振興課

事務局長　　：茨城県企画部県北振興監
事務局長代理：茨城県企画部県北振興課長
事務局次長　：茨城県企画部県北振興課副参事

KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭 総括報告書

編集発行　茨城県北芸術祭実行委員会

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978 番 6

（茨城県企画部県北振興課内）

TEL 029-301-2727

2017.5